

14. 2イ-789



200701472524

4111

41

昭和十三年六月開催

地方耕地課長會議要録

農林省農務局

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



14.21

789

地方耕地課長會議要錄

目次

寫真 有馬農林大臣訓示 會議場ノ一部

一、議事經過 一頁

一、出席者 五

一、農林大臣訓示 七

一、農務局長指示 八

一、耕地課長注意 二

一、諮問事項 一五

現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況並今後採ルヘキ方策如何

答申 一五

北海道 一五

青森縣 一六

岩手縣 一六

宮城縣 三

秋田縣 三

山形縣 三

福島縣 一五

茨城縣 一五

栃木縣 一五

群馬縣 一五

埼玉縣 一五

千葉縣 一五

目次

一

東京府	六	鳥取縣	二四
神奈川縣	六	島根縣	二七
新潟縣	七	岡山縣	二七
富山縣	七	廣島縣	二八
石川縣	八	山口縣	二八
福井縣	八	德島縣	二九
山梨縣	八	香川縣	二九
長野縣	八	愛媛縣	二九
岐阜縣	八	高知縣	二九
靜岡縣	八	福岡縣	二九
愛知縣	九	佐賀縣	二九
三重縣	九	長崎縣	二九
滋賀縣	九	熊本縣	二九
京都府	九	大分縣	二九
大阪府	九	宮崎縣	二九
兵庫縣	九	鹿兒島縣	二九
奈良縣	九	沖繩縣	二九
和歌山縣	九		

決議

一、協議事項決議

第一 事變下耕地事業ニ關スル所要物資ノ需給調整ニ付考慮スヘキ事項	一八六
第二 農村振興上耕地ニ關スル諸施設ノ綜合統制ニ關シ考慮スヘキ事項	一八六
第三 耕地整理事業ノ財務監督上特ニ考慮ヲ要スル事項	一八七

一、地方提出協議事項及決議

第四 河水統制調査計畫並之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項	一八六
第五 開墾助成事業ノ監督ニ關スル事項	一八九
第六 自作農地開發助成事業ノ促進ニ關スル事項	一八九
第七 時局ニ對應スヘキ開墾地移住及經營ニ關シ採ルヘキ事項	一九〇
第一 耕地整理ニ關スル事項	一九一
第二 開墾ニ關スル事項	一九一
第三 自作農耕地開發ニ關スル事項	一九一
第四 農産資源開發開墾事業ニ關スル事項	一九四
第五 開墾地移住及經營ニ關スル事項	一九四
第六 用排水幹線改良事業ニ關スル事項	一九八
第七 暗渠排水床締客土ニ關スル事項	二〇一
第八 農用公共施設改良事業ニ關スル事項	二〇五
第九 災害ニ關スル事項	二〇〇
第十 事業資金ニ關スル事項	二〇三
第十一 農用機械ニ關スル事項	二〇五
第十二 河水統制調査ニ關スル事項	二〇七
第十三 農業水利制度ニ關スル事項	二〇九
第十四 其ノ他ノ事項	二一〇



← 會議場ノ一部

有馬農林大臣訓示↓



↓ 部一ノ場議會



地方耕地課長會議要録

(昭和十三年六月)

議事經過

地方耕地課長會議ハ農林省ヨリ小濱農務局長、川原耕地課長以下係官列席シ各地方ヨリ耕地課長其ノ他關係官出席ノ上六月九日ヨリ十三日マテ東京市赤坂區溜池町三會堂内ニ於テ開催セラレ本省提出諮問事項、協議事項及地方提出協議事項ニ付慎重審議セリ本省提出諮問事項及協議事項ハ左ノ如シ

甲 諮問事項

現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況並今後採ルヘキ方策如何

乙 協議事項

- 第一 事變下耕地事業ニ關スル所要物資ノ需給調整ニ付考慮スヘキ事項
- 第二 農村振興上耕地ニ關スル諸施設ノ綜合統制ニ關シ考慮スヘキ事項
- 第三 耕地整理事業ノ財務監督上特ニ考慮ヲ要スル事項
- 第四 河水統制調査、計畫並之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項
- 第五 開墾助成事業ノ監督ニ關スル事項
- 第六 自作農地開發助成事業ノ促進ニ關スル事項
- 第七 時局ニ對應スヘキ開墾地移住及經營ニ關シ採ルヘキ事項

議事經過

第一日 (六月九日)

午前十時開會、小濱農務局長議長席ニ着キ開會ノ辭及指示アリテ川原耕地課長ノ耕地事業事務取扱ニ關スル注意並昨年度ノ本會議ニ於ケル決議事項ニ對シ經過報告アリタル後本省提出諮問事項「現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況並今後採ルヘキ方策如何」ニ付熊本縣ヨリ答申アリ、午前十一時有馬農林大臣ノ訓示アリテ引續キ秋田、新潟、静岡、鳥取ノ各縣ヨリ答申アリ正午休憩

午後一時半再會、午前ニ引續キ前記諮問事項ニ付香川、宮城、島根、茨城、群馬、愛知、宮崎ノ各縣ヨリ答申アリ次テ本省提出協議事項ニ入り第一「事變下耕地事業ニ關スル所要物資ノ需給調整ニ付考慮スヘキ事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ熊本、群馬、滋賀、茨城、岐阜ノ各縣ヨリ、第二「農村振興上耕地ニ關スル諸施設ノ綜合統制ニ關シ考慮スヘキ事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ群馬、徳島、石川、新潟、高知、山口ノ各縣ヨリ、第三「耕地整理事業ノ財務監督上特ニ考慮ヲ要スル事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ茨城、岐阜、宮崎、宮城ノ各縣ヨリ、第四「河水統制調査、計畫並之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ熊本、岡山、大分、群馬ノ各縣ヨリ夫々意見ノ陳述並質疑應答アリ午後五時散會セリ

第二日 (六月十日)

午前九時開會 小濱農務局長議長席ニ着キ昨日ニ引續キ本省提出協議事項第四「河水統制調査、計畫並之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ群馬、静岡、三重、山口、福井、徳島等ノ各縣ヨリ、第五「開墾助成事業ノ監督ニ關スル事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ鹿児島、宮城、群馬、愛知、茨城、三重等ノ各縣ヨリ、第六「自作農地開發助成事業ノ促進ニ關スル事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ富山縣ヨリ、第七「時局ニ對應スヘキ開墾地移住及經營ニ關シ採ルヘキ事項」ニ付係官ヨリ説明アリテ長野、三重、宮城等ノ各縣ヨリ夫々意見ノ陳述並質疑應答アリ午後零時半休憩、午後一時半再開、本省提出諮問事項、協議事項及地方提出協議事項ハ左ノ通第一乃至第六委

員會ニ附託シ直ニ委員會ヲ開キ夫々附託事項ニ付審議セリ

委員會附託事項及委員氏名

第一委員會

諮問事項 現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ今後採ルヘキ方策如何
地方提出協議事項 第六 用排水幹線改良事業ニ關スル事項
北海道 調所 武光 福島 石田 省吾 神奈川 芝池 眞吉
静岡 石井 家吉 滋賀 加藤 宏 鳥取 柳原 鹿松
香川 翠 黙 熊本 前川 純三

第二委員會

協議事項 第一 事變下耕地事業ニ關スル所要物資ノ需給調整ニ付考慮スヘキ事項
地方提出協議事項 第七 暗渠排水床締客土ニ關スル事項
同 第十一 農用機械ニ關スル事項
青森 秋山 齋太郎 茨城 中島 恩三 東京 山田 稔
岐阜 石川 房吉 京都 樺島 多賀助 島根 廣江 清
愛媛 小森 谷光三 宮崎 後藤 芳五郎

第三委員會

協議事項 第二 農村振興上耕地ニ關スル諸施設ノ綜合統制ニ關シ考慮スヘキ事項
地方提出協議事項 第一 耕地整理ニ關スル事項
同 第十四 其ノ他ノ事項
岩手 吉成 吉茶 栃木 水野 哲 富山 川村 長作
長野 穂坂 申彦 奈良 淵田 秋廣 岡山 宮本 憲象
高知 林直樹 大分 中島 保人

議事經過

第四委員會

- 協議事項 第三 耕地整理事業ノ財務監督上特ニ考慮ヲ要スル事項
- 同 第七 時局ニ對應スヘキ開墾地移住及經營ニ關シ探ルヘキ事項
- 地方提出協議事項 第五 開墾地移住及經營ニ關スル事項
- 同 第十 事業資金ニ關スル事項
- 宮城 宮本 邦彦 千葉 市橋 友次郎 新潟 坂部 重遠
- 山梨 木下 恒彦 和歌山 黒河内 茂樹 廣島 守能 邦人
- 福岡 松谷 勇治

第五委員會

- 協議事項 第四 河水統制調査計畫並之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項
- 地方提出協議事項 第八 農用公共施設改良事業ニ關スル事項
- 同 第九 災害ニ關スル事項
- 同 第十二 河水統制調査ニ關スル事項
- 同 第十三 農業水利制度ニ關スル事項
- 秋田 後藤 與治 埼玉 大庭 實 石川 大竹 憲成
- 愛知 佐藤 圭一 大阪 上村 英一 山口 清野 保
- 佐賀 上田 朝夫 鹿兒島 竹下 實治

第六委員會

- 協議事項 第五 開墾助成事業ノ監督ニ關スル事項
- 同 第六 自作農地開發助成事業ノ促進ニ關スル事項
- 地方提出協議事項 第二 開墾ニ關スル事項
- 同 第三 自作農耕地開發ニ關スル事項
- 同 第四 資源開發ニ關スル事項

- 山形 上條 林三郎 群馬 齋藤 美代司 福井 伊地 知四郎
- 三重 杉崎 靖 兵庫 野呂 勇之助 德島 吾郷 精造
- 長崎 山内 明雄 沖繩 吉田 忠衛

第三日 (六月十一日)

午前九時ヨリ前日ニ引續キ各委員會ヲ開會シ夫々附託事項ニ付審議セリ

第四日 (六月十三日)

午前十時半開會 小濱農務局長議長席ニ着キ十日午後以來各委員會審議ノ結果ニ付其ノ報告ヲ求メ第一委員長芝池眞吉、第二委員長樺島多賀助、第三委員長穗坂申彦、第四委員長市橋友次郎、第五委員長佐藤圭一、第六委員長野呂勇之助ヨリ夫々決議ノ報告アリ何レモ異議ナク可決セラレ最後ニ小濱農務局長閉會ノ挨拶ヲ述ヘ午後四時會議ヲ終了セリ

出席者

- | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 北海道 土地改良課長 道廳技師 調所 武光 群馬 耕地課長 地方技師 齋藤 美代司 | 青森 耕地課長 地方技師 秋山 鏘太郎 埼玉 耕地課長 地方農林技師 大庭 實 | 岩手 耕地課長(代理) 地方農林技師 吉成 吉榮 千葉 耕地課長 地方技師 市橋 友次郎 | 宮城 耕地課長 地方農林技師 宮本 邦彦 東京 整地課長 地方農林技師 山田 稔 | 秋田 耕地課長 地方技師 後藤 與治 神奈川 耕地課長 地方技師 芝池 眞吉 | 山形 耕地課長 地方農林技師 上條 林三郎 新潟 耕地課長 地方技師 坂部 重遠 | 福島 耕地課長 地方技師 石田 省吾 富山 耕地課長 地方技師 川村 長作 | 茨城 耕地課長 地方技師 中島 愿三 石川 耕地課長 地方技師 大竹 憲成 | 栃木 耕地課長 地方農林技師 水野 哲 福井 耕地課長 地方農林技師 伊地 知四郎 |
|---|---|--|--|--|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|

山梨	耕地課長	地方技師	木下恒彦	廣島	耕地課長	地方技師	守能邦人
長野	耕地課長	地方農林技師	穂坂申彦	山口	耕地課長	地方技師	清野保
岐阜	耕地課長	地方農林技師	石川房吉	徳島	耕地課長	地方農林技師	吾郷精造
静岡	耕地課長	地方技師	石井家吉	香川	耕地課長	地方農林技師	翠
愛知	耕地課長	地方技師	佐藤圭一	愛媛	耕地課長	地方農林技師	小森谷光三
三重	耕地課長	地方技師	杉崎靖	高知	耕地課長	地方技師	林直樹
滋賀	耕地課長	地方技師	加藤宏	福岡	耕地課長(代理)	地方農林技師	松谷勇治
京都	耕地課長	地方農林技師	樺島多賀助	佐賀	耕地課長	地方技師	上田朝夫
大阪	耕地課長	地方農林技師	上村英一	長崎	耕地課長	地方技師	山内明雄
兵庫	耕地課長	地方技師	野呂勇之助	熊本	耕地課長	地方技師	前川純三
奈良	耕地課長	地方農林技師	淵田秋廣	大分	耕地課長	地方技師	中島保人
和歌山	耕地課長	地方農林技師	黒河内茂樹	宮崎	耕地課長	地方技師	後藤芳五郎
鳥取	耕地課長	地方技師	柳原鹿松	鹿兒島	耕地課長(代理)	地方農林技師	竹下實治
島根	耕地課長(代理)	地方農林主事	廣江清	沖繩	耕地課長	地方技師	吉田忠衛
岡山	耕地課長	地方技師	宮本憲象				

尙此ノ外各地方ヨリ北海道地方農林技師中島淺五郎、青森縣地方農林技師松永一郎、岩手縣地方農林主事橋本辰男、宮城縣地方農林主事伊藤坦、地方農林技師大倉泰三、秋田縣地方農林技師永野清十郎、山形縣地方農林技師竹内源次、屬齋藤龜治、福島縣地方農林技師平石鍊二、茨城縣地方農林主事清水敬信、群馬縣農林主事補淺野健治、埼玉縣地方農林主事佐藤新太夫、地方農林技師古賀俊夫、東京府地方農林技師手島志郎、神奈川縣地方農林技師戸松海市、新潟縣地方農林主事富樫幸次郎、富山縣屬豐本清二、石川縣農林主事補北島吉太郎、農林技師津田豐太郎、福井縣屬林定、山梨縣地方農林技師原田直治、技師豐田巖、長野縣技師武田信千代、岐阜縣地方農林主事丹羽道胤、靜岡縣屬村

上齋一、愛知縣農林主事補波多野兼藏、三重縣地方農林技師中田芳三、農林技師森義朗、滋賀縣地方農林技師尾崎重徳、兵庫縣地方農林主事石井定藏、奈良縣地方農林技師加藤太郎、和歌山縣技師宇藤正雄、鳥取縣地方農林主事諺口至藏、島根縣農林主事補小數賀茂、岡山縣地方農林主事平岸卯之吉、廣島縣地方農林技師宮内義彦、屬堀井勳三、山口縣屬中田正作、徳島縣農林主事補岩田眞、香川縣地方農林技師芝崎成義、高知縣屬尾崎幾馬、福岡縣屬岩佐秀盛、佐賀縣屬溝口宗忠、長崎縣地方農林技師柴竹武男、熊本縣農林主事補山根武雄、宮崎縣地方農林技師近藤穂助、鹿兒島縣農林技師上園龜吉、沖繩縣技師小宮山靜藏、拓務省ヨリ事務官桂珠淳、屬三浦義郎、朝鮮總督府ヨリ技師小熊正虎、道技師姜琮武、屬金子一男、臺灣總督府ヨリ屬喜多末吉、技師宮地末彦、東京帝國大學ヨリ助教秋葉滿壽次、京都帝國大學ヨリ助教高月豐一、九州帝國大學ヨリ教授田町正譽、三重高等農林學校ヨリ教授河合隼人、日本勸業銀行ヨリ貸付課長吉田登一、玉井則衛其ノ他ノ出席アリタリ

農林大臣訓示

今回地方耕地課長會議ノ開催セラルルニ方リマシテ一言御挨拶ヲ申上ケ度イト思ヒマス
申ス迄モナク現下ノ時局ハ愈々重大デアリマシテ事變カ長期ニ亘ルニ從ヒ銃後ノ農村ト致シマシテハ益其ノ任務ノ重キヲ感スルノデアリマス殊ニ耕地事業ハ農業經營ノ根幹ヲ成シ非常時局ニ對應シテ農業生産力ノ確保増進、農産資源ノ充實ヲ圖ル上ニ於テ頗ル緊要ナル事業デアリマシテ其ノ使命ハ益大ナリト謂ハネハナリマセン
政府ハ農村ノ振興ヲ圖ル爲ニ多年耕地事業ノ獎勵ニ努メテ來タノデアリマス昭和十二年度ニ於テハ自作農耕地開發事業、用排水幹線改良事業、農用公共施設新設改良事業、暗渠排水及床締客土事業ノ五箇年計畫ニ着手シ又東北地方開墾國營ノ開始、災害耕地ノ復舊及應急事業ノ施行等相當施設ヲ講シタノデアリマス更ニ事變ノ勃發ニ際シマシテハ耕地ノ灌漑設備ノ不完全ノ爲給水ニ多大ノ努力ヲ要スルモノニ對シ移動式小型揚水機ノ共同施設ヲ爲サシメ以テ應召

農家勞力ノ不足ヲ補填スルト共ニ用水補給ノ完璧ヲ圖ルコトトナリ之カ助成金ヲ追加豫算トシテ計上致シタノテアリマス

昭和十三年度ニ於テモ之等ノ事業ヲ施行スルノ外新ニ銃後施設トシテノ開墾助成事業ヲ起シ又農産資源ヲ開發シ農産物ノ自給計畫ヲ圖リ以テ農村ノ振興ニ資スルト共ニ國際收支ノ改善ヲ圖リマスコトノ急務ナルニ鑑ミ國防上必要ナル酒精原料用農産物タル甘藷及馬鈴薯又ハ飼料作物、苧麻、茶等ノ増殖ヲ圖ル爲新ニ畑ノ開墾助成ニ關スル豫算ヲ計上スルニ至リマシタコトハ既ニ御承知ノ通テアリマス

斯ノ如ク耕地事業ハ目下我國農村ノ實情ニ鑑ミ寔ニ多事多端テアリマシテ之カ直接指導監督ノ任ニ當ラルル諸君ノ努力ニ俟タネハナラヌトコロカ甚タ多イノテアリマスカ更ニ今後時局ノ推移ニ伴ヒ日滿支經濟ノ綜合的計畫カ樹立セラレントシテ居ル秋ニ於テ斯業ニ關シ考究ヲ要スヘキ問題モ多クアルコトト思フノテアリマス

諸君ハ此ノ會議ニ際シテ十分意見ヲ開陳セラレ慎重審議ヲ遂ケテ以テ斯業ノ進展ニ寄與セラレムコトヲ希望スル次第デアリマス

農務局長指示

耕地事業ニ對スル方針ニ付テハ大臣ノ訓示アリタルヲ以テ予ハ此ノ機會ニ於テ聊カ細目ニ互リテ諸君ノ留意ヲ希望セムトス

一、耕地事業ノ指導監督ニ關スル件

耕地事業ノ指導監督ニ付テハ昨年ノ本會議ニ於テモ述ヘタル處ナルカ猶種々ノ不祥事件ヲ惹起シ指導監督上ノ立場ヲ損シ甚タ遺憾ニ堪ヘサルモノアリ斯クノ如キハ耕地事業ノ進展上障碍トナルトコロ尠カラサルヲ以テ今後ハ一層此ノ點ニ留意セラレ各自身ヲ持スルコト嚴ニシテ綱紀ノ肅正ヲ保チ適正ナル指導監督ヲ行ヒ斯業ノ運営ニ關シ萬全

ヲ期セラルル様特ニ希望スル次第ナリ

二、開墾助成ニ關スル件

開墾助成ハ地方ヨリノ要望甚タ切ナルモノアルニ拘ハラヌ其ノ事業ノ進捗ハ計畫ニ伴ハス徒ニ國庫ノ豫算ハ固定セラレ極メテ不合理ノ結果ヲ招來シ居レリ斯クノ如キハ本事業將來ノ進展ニ影響スル處頗ル大ナルモノアルヲ以テ實際ノ指導監督ノ衝ニ當ラルル各位ニ於テハ今後十分ノ督勵ヲ加ヘラレ且尙其ノ實績舉ラサル場合ハ斷乎事業ノ廢止ヲナサシメラレタシ本省ニ於テモ或ハ直接廢止處分ヲ執ル事アルヘキニ依リ豫メ了承ノ上事業者ニモ之ヲ周知セシメ置カレムコトヲ望ム

三、自作農地開發助成ニ關スル件

未墾地ノ開發ニ依ル自作農創設ノ趣旨並助成豫算ノ内容等ニ付テハ昨年十一月開催ノ自作農創設維持ニ關スル打合會ニ於ケル指示等ニ依リ各位ノ十分ニ了承シ居ラルトコト信スル次第ナルニ一般ニ府縣市町村等ノ團體カ事業ニ對スルノ熱意ノ乏シキ感アルハ甚タ遺憾トスル處ナリ過般公布セラレタル農地調整法モ近ク實施ヲ見ルニ至ルヘキカ同法中ニハ之等團體カ未墾地ヲ開發セントスル場合ニ於ケル土地收用又ハ使用ニ關スル規定アリ該施設ハ著シク強化セラレタル次第ナレハ各位ニ於テモ此ノ施設ヲ活用シテ事變下ニ於ケル農業生産力ノ擴充ト土地制度ノ改善ニ資セラレムコトヲ望ム

四、農産資源開發開墾助成ニ關スル件

農産資源開發開墾ニ付テハ既ニ助成金ノ割當ヲ濟シ居ルコトトテ地方ニ於ケル各位ハ着々實行ニ移シ居ラルルコトト思惟スルモ本件ハ戰時體制下ニ於ケル所要農産物ノ増殖ニ關スルモノニシテ極メテ重要ナル事項ナルヲ以テ之カ十分ノ効果ヲ擧ケ得ル様精々努力セラレタシ是ニ關シ特ニ各位ノ御考慮ヲ煩シタキハ農産關係ノ職員ト十分ニ連絡ヲ保チ事業ヲ進捗セシムルコト及本事業ノ性質ニ鑑ミテ多額ノ工事費ヲ投セシムル等ノコトナキ様留意セラレムコト

トヲ望ム

五、小型揚水機施設ニ關スル件

耕地ノ灌溉設備不完全ニシテ給水ニ多大ノ勞力ヲ要スルモノニ對シ移動式小型揚水機ノ共同施設ヲ爲サシメ以テ勞力ノ不足ヲ補填スルト共ニ用水補給ノ完備ヲ圖ルコトハ現下ノ時局ニ鑑ミ詢ニ喫緊ノコトト思料セラルルニ付昭和十二、十三年度農村應急施設トシテ豫算ヲ計上シ夫々地方ニ割當濟ナルモ本事業ハ其ノ性質ニ稽ヘ本年度灌溉ニ對シ十分本施設ヲ活用セシメ以テ所期ノ効果ヲ發揚セラレムコトヲ望ム

六、河水統制調査ニ關スル件

政府ハ昭和十二年度ヨリ農林、内務、逓信三省協同ノ下ニ本調査ヲ開始シタルコトハ既ニ昨年度ニ於テ申述タル處ナルカ本調査ハ國家資源トシテノ水ヲ最モ有効ニ利用開發スヘキ重大案件タルヲ以テ目下政府ノ豫算ハ僅少ナルモ力運用ヲ有効ナラシムル爲メ地方廳ニ於テモ當省ト緊密ナル連繫ヲ保チ其ノ施設、調査費等ニ付テモ十分ニ協力セラレムコトヲ望ム

七、農業水利制度ニ關スル件

近時各地ニ工場ノ新設又ハ擴張ヲ見新ニ工業用水ノ必要ヲ生シ又ハ汚毒水ノ排除ヲ伴フモノアリ之カ爲ニ農業水利トノ紛争ヲ誘起スルモノ尠カラサル狀況ニアリ而シテ之カ調停ニ當リテハ其ノ原因ヲ審査シテ權利關係ノ歸趨ヲ確認シ十分ナル技術的考慮ヲ加ヘ苟モ事件ノ再發ヲ見ルカ如キコト無キ様根本的解決ヲ期セラレタシ尙農業水利交渉事件ノ發生ニ當リテハ其ノ都度詳細ニ互リ當省ニ報告セラルル様勵行セラレムコトヲ望ム

八、耕地整理事業ノ債務整理ニ關スル件

耕地整理事業ノ債務整理ニ關シテハ昨年度ニ於テ補給金交付要項ヲ洒牒シタルカ本補給金ハ之ニ依リ事業者ノ負擔ヲ輕減シ債務整理ニ關シ相當効果ヲ齎シ得ヘキモノト信スルモ之ト同時ニ各地方ニ於テモ十分ナル指導監督ヲ加ヘラレ殊ニ殘工事ノ遂行、借入金ノ整理、經費ノ賦課徵收其ノ他財務ノ整理等ニ關シ常ニ周到ナル注意ヲ拂ハレ補給金ノ交付ト相俟テ債務整理計畫ノ實行上遺憾ナキヲ期シ以テ目的ノ達成ニ努メラレムコトヲ望ム

以上諸君ノ留意ヲ請フヘキ事項ノ要點ヲ陳述セリ惟フニ耕地事業ハ農業經營ノ根幹ヲ爲スモノニシテ現下非常時局ニ於テ農業生産力ノ確保増進ヲ圖リ農産資源ノ開發ヲ期スル等ノ見地ヨリ益施設ノ擴充、強化ヲ必要トスルモノニシテ之カ爲ニハ今後中央、地方協力シテ本事業ノ目的ヲ達成セシムヘキナリ從テ本會議ニ於テハ腹藏ナキ意見ヲ開陳セラレ十分ナル考究ヲ遂ケ以テ事業ノ發展ニ貢獻セラレムコトヲ望ム

耕地課長注意

一、耕地整理ニ關スル件

(一) 時局對策上費用ノ節約並工事材料ノ缺乏騰貴等ニ依リ設計書ノ變更相當多數アルモノト認メラルルモ若シ右カ内訓第五項ニ該當セサル爲報告ヲ省略セル場合ハ其ノ後ニ於テ同項該當ノ變更ヲナシタル場合ニ必ス其ノ旨附記報告スル様取扱ハレタキコト

(二) 内訓報告中添附漏或ハ誤記脱字等ノ爲取扱上支障尠カラサル場合アルヲ以テ騰寫ノ際ハ十分檢査シ發送ノ際ハ添附書類ト副申書ト同時ニ發送スル様取扱ハレタキコト

二、用排水幹線改良事業ニ關スル件

(一) 補助申請ヲナサントスル事業ニ付テハ豫メ十分ナル調査ヲ行ヒ適正ナル計畫書ヲ作製シ實施ニ當リ齟齬ナキ様一層努力セラレタキコト

(二) 補助ニ關スル打合書類ノ提出期限ニ付テハ屢々注意セル處ナルモ未タ勵行セラレサルモノアリ處理上支障尠カラサルヲ以テ尙一層注意セラレタキコト

耕地課長注意

- (三) 補助打合ノ設計書ニ付テハ近時物價ノ變動甚シキニ拘ラス舊設計書ヲ其ノ儘利用スル向アリ斯クテハ審議上支障多キヲ以テ事業費豫算ニ付テハ必ス十分検討ノ上提出セラレタキコト
 - (四) 補助ノ見込ノ旨通牒アリタル場合ハ遲滞ナク正規ノ申請書ヲ提出スル様一層注意セラレタキコト
- 三、農用公共施設新設改良事業ニ關スル件
- 農用公共施設新設改良事業國庫補助申請ニ當リテハ地區ノ選定順位ニ留意シ災害防除ノ施設トシテ適切有效ナルモノヲ優先的ニ認ムル様注意セラレタキコト
- 四、災害復舊施設ニ關スル件
- (一) 井堰ノ災害復舊事業施行ニ際シテハ往々急施ヲ要スル爲調査粗漏ニ流レ灌漑用水取入堰堤トシテハ甚シク不完全ナルモノアルヲ以テ設計上萬遺憾ナキヲ期セラレタキコト
 - (二) 災害復舊事業ハ其ノ性質上設計計畫ヲ急速ニ樹立スルノ要アル爲往々ニシテ工事ニ着手シタル後ニ於テ甚シキ計畫ノ變更ヲ要シ事業遂行上支障尠カラサルモノアリ右ハ可成當初ヨリ實地ニ即シタル計畫ヲ完成シ事業ノ進捗上齟齬ヲ來ササル様注意セラレタキコト
 - (三) 災害施設事業ニ關スル府縣設備費決算中ニハ從來往々ニシテ本省補助要項ニ抵觸スル支出アリテ之カ國庫助成金返還ヲ命スルニ至リタルモノアリ注意セラレタキコト
 - (四) 災害復舊助成要項又ハ農務局長通牒ニ依リ當該復舊事業中工事施行ニ關シ打合ヲ要スルモノニ付テハ必ス工事着手前ニ計畫書ヲ提出セラレ尙特ニ急施ヲ要シ打合ヲ爲ス暇ナキ場合ハ豫メ計畫内容ヲ提示セラレタキコト
- 五、開墾地移住獎勵ニ關スル件
- (一) 獎勵金交付指令認可申請書ノ書類作成ニ當リテハ前年度ノ例ヲ參酌シテ整備セラレ且年度末ニ迫ラサル様提出セラレタキコト

- (二) 開墾地移住民ニ對スル汽車、電車、自動車、汽船運賃割引證様式ハ曩ニ改正セラレタルモ舊様式ノモノハ當分有效ナルニ付之ヲ先ニ交付セラレタキコト
- 六、土地利用計畫ニ關スル件
- 土地利用計畫ハ最モ適當ナルモノヲ選ビ之カ計畫ニ着手スヘキハ勿論ナルモ新ニ計畫ヲ希望セラルルモノニ對シテハ出來得ル限り地方廳ニ於テモ本省技術員ト相互聯絡ヲ採リ必要ナル援助ヲ與ヘラレ以テ本計畫ノ完璧ヲ期セラレタキコト

七、農業水利改良計畫ニ關スル件

- (一) 本省ニ農業水利改良計畫ヲ申請スル地區中水力發電計畫ト相當關係アルモノハ詳細事情ヲ具シ進達セラレタキコト
- (二) 面積大ニシテ計畫又ハ受益目的ヲ異ニスル部分ヲ包含セル集團の大計畫地域ハ計畫着手及事業着手見込年度割、順序等一定ノ方針ヲ樹テ進達セラレタキコト
- (三) 申請ニ當リテハ測量調査班ノ派遣申請ト、單ニ技術官ノ踏査ヲ申請セラルル場合トヲ明白ニ記載セラレタキコト

八、河水統制調査ニ關スル件

- (一) 昭和十二年度設置セル觀測所ノ水位、雨量ノ觀測及流量ノ測定ハ將來本計畫ノ基礎的資料ナルヲ以テ十分監督セラレ其ノ正鵠ヲ期セラレタキコト
- (二) 灌漑用水取入量等ニ關スル資料ハ河水統制上至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ之カ取扱ニ關シテハ十分ナル注意ヲ拂ハレタキコト
- (三) 農業新水源トナルヘキ貯水豫定地ノ確保竝水系中重要地點ノ流量、氣象觀測ハ極メテ緊要事項タルヲ以テ各

府縣ニ於テ至急右地點ノ豫察ヲ行ヒ之ヲ報告セラレ以テ本省ニ於ケル貯水豫定地調査（ボーリング地形測量等ノ調査）及觀測所設置ニ遺憾ナキヲ期セラレタキコト

九、地下水利用竝地質調査ニ關スル件

地下水利用竝貯水池等ノ調査及設計ニ際シテハ地質ニ關スル調査ノ必要性ヲ加ヘツツアルヲ以テ實驗材料、標本等ノ研究ノミナラス現地ニ於ケル地質的條件ノ調査研究ヲ正確ナラシムル様一層留意セラレタキコト

十、耕地整理事業ノ債務整理ニ關スル件

(一) 債務整理補給金交付請求書ハ期限迄ニ遲滞ナク提出セラレタキコト

(二) 債務整理ヲ要スル事業ニ對シ道府縣等ニ於テ特別ナル施設ヲ講シタル時ハ其ノ詳細ヲ報告セラレタキコト

十一、失業救濟農山漁村臨時對策低利資金利子補給ニ關スル件

(一) 失業救濟農山漁村臨時對策事業助成金請求書竝助成金收支計算書提出時期甚シク遲延スルモノアリ文書處理上支障尠カラサルニ付十分注意セラレタキコト

(二) 繰上償還アリタル場合ハ遲滞ナク報告スルト共ニ速ニ預金部資金局ニ償還ノ手續セラレタキコト

諮問事項

現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況竝今後採ルヘキ方策如何

答申

北海道

現況

本道ニ於ケル耕地事業ノ現況ハ要施行面積ノ廣大ナルニ比シ其ノ申請面積著シク減少セルノ實狀ニ在リテ之カ原因ハ時局ノ影響ニ依リ物價竝勞銀ノ高騰、勞働力ノ不足等ニ基因スルモノニシテ生産擴充ヲ要スル現下ノ非常時局ニ處シ斯ノ如キ不振ノ現象ヲ見ルニ至リタルハ甚ク遺憾トスルトコロナリ

今後採ルヘキ方策

本道耕地事業ノ現況ニ鑑ミ今後採ルヘキ方策ハ

一、應召軍人遺家族ノ事業ニ對シテハ負擔緩和ノ方法トシテ特例補助ノ途ヲ設ケ且ツ事業ノ設計、指導監督ヲ國庫ニ於テ之ヲ爲スコト

二、小用排水及小設備事業ニ對シ五割以上ノ補助ヲ爲スコト

三、暗渠排水用コンクリート管製造器ヲ貸付シ勞力ノ不足ヲ補フコト

四、災害防止施設事業ヲ急速實施セシメ農業經營ノ安全ヲ圖ルト共ニ其ノ事業費ニ對シ八割以上ヲ補助スルコト

五、災害復舊事業ニ對シ八割以上ノ補助ヲ爲スコト

青森縣

事變下本縣耕地事業ノ現狀ハ勞力諸材料ノ昂騰基因シ事業實施ニ尠カラサル支障ヲ及ホシ居ルモノト被認ルルモ本事業タルヤ銃後生産確保ノ上ニ於テ其ノ根幹タル地位ヲ占ムルモノナルニ鑑ミ縣下農民ハ協力一致相互補助ノ精神ヲ發揮シ以テ非常時艱克服事業ノ遂行ヲ期シツツアリ

爾テ本縣農村ハ近年打續ク災害ノ爲疲弊困憊其ノ極ニ達シ加之前記事變ノ影響亦一層大ナルヘキモノアランモ右ニ付テハ格段ノ指導督勵ヲ爲シ以テ當面ノ事業執行ニ支障ナキヲ期スルト共ニ戰時體制下ニ對處シ耕地事業ノ目的ヲ再確認シ左記事業ノ實施促進ヲ計ラントス

一、農產資源開發補助成事業

時局ニ鑑ミ燃料酒精ノ原料タル農產物(馬鈴薯)ノ増産ニ依リ燃料國策ニ對應シ又飼料作物、苧麻等ノ増産ニ依リ事變下產業ノ擴充強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ニシテ是等農作物栽培ノ爲ノ開墾事業ヲ獎勵スル政府ノ趣旨ニ則リ本事業ノ實施獎勵ヲ爲スハ本縣ノ如キ三萬五千町歩ノ未開發開墾適地ヲ有スル地方ニ於ケル農產資源開發上竝農業經營改善上寄與スルトコロ寔ニ大ナルヘキモノアリト被認ルルヲ以テ右開墾適地中二千七百町歩ニ付相當國庫助成ヲ得本年度ヨリ五箇年間ニ亘リ施行セントス

二、國有林開放ニ依ル開墾助成事業

本縣ハ三面海ヲ廻シ近年打續ク不漁ニ因リ疲弊困憊其ノ極ニ在ル漁村ニシテ農タランコトヲ希求スル者續出シ居ル現狀ニ於テ地形上國有林ノ開放ヲ得ルニ非サレハ開墾適地ナキ漁村更生ノ爲ニスル開墾事業ヲ興シ相當國庫助成ヲ得事變下是等漁村經營ノ資ニ供セントスルモノナリ而シテ本縣漁村ニシテ此ノ希望ヲ有スルモノ五郡十七箇町村、其ノ漁業組合數三十三、漁家戶數六千六百九十四戶ヲ算シ而モ開墾適地トシテハ軒先ニ隣接スル國有林野ノ開放ヲ

俟ツ外他ニ適當ノ地ナキ狀態ニシテ右町村內國有林野ハ合計十三萬七千四百四十四町歩ヲ算ス而シテ是等漁家ヲシテ半農半漁タラシムルニハ少クトモ一戸當七反歩ノ畑地ヲ與フルノ要アルニ鑑ミレハ右國有林野ノ內速ニ適宜拂下又ハ貸付ノ途ヲ講スルノ要アルモノ四千六百八十五町歩ヲ要ス即チ右所要地積ノ積極的開放ヲ得時局下漁村更生ノ爲昭和十四年度ヨリ五箇年間ニ於テ毎年度九百三十七町余歩宛ノ開墾事業ヲ施行セントス

三、用排水幹線改良事業

本縣既耕地ノ形態ハ甚タ原始的ニシテ而モ毎年度各種災害ニ遭遇シ爲ニ農業水利上不利不便多大ナルモノアリ而シテ本縣水田地積六萬九千町歩ノ內本事業既施行及目下施行中ニ係ルモノヲ合シ約二萬二千町歩ニ過キス特殊事情下ニアル本縣農民トシテ事變下幾多ノ困難ヲモ克服シテ災害對策事業トシテ益本事業ノ重要性ヲ再認識シ今後一層本事業ノ施行ヲ獎勵セントス

四、雪害復舊耕地事業

本年ハ稀有ノ多雪量ニシテ其ノ耕地關係被害額ハ目下調査判明セルモノノミニテモ五百餘萬圓ニ達シ右ノ內急速復舊ノ要アルモノノ事業費ニ於テ約三百四十餘萬圓ヲ要ス然ルニ本縣農村ハ打續ク冷水害ノ爲其ノ窮乏極メテ甚シク自力ヲ以テシテハ到底之カ復舊ヲ爲ス能ハス縣亦近年財政頓ニ逼迫シ適切ノ復舊計畫ヲ樹立シ得サル實狀ナルヲ以テ銃後農村生活安定ノタメ高率ノ國庫助成ヲ得復舊計畫ノ實施ヲ爲サントス

五、農用公共施設改良、暗渠排水床締及客土事業

災害特ニ冷害對策トシテ最モ效果的ニシテ恒久的ナル此等事業ノ實施促進ヲ計リ以テ地方農民ノ要望ニ應セントス

六、集團農耕地開發事業

本縣ニハ未開發集團農耕地甚タ多ク既往ノ實績ニ鑑ミ縣營又ハ公共團體營ヲ以テ之カ開墾ヲ行ヒ併せて優秀ナル移住者ヲ招致シ以テ合理的農業經營ヲ行ハシメ農業經營ノ實證的示範タラシメ以テ前記農產資源開發事業ヲ促進ス

ルハ極メテ時宜ニ適スルモノト被認ルルヲ以テ本事業ノ實施ヲ計ラントス

岩手縣

現況

本縣ニ於ケル耕地事業ニ對シテハ响キニ樹立セル五箇年計畫ニ基キ主トシテ各種災害防止ヲ目的トスル用排水幹線改良、農用公共施設改良、暗渠排水、客土、床締ノ諸事業並耕地ノ不足ヲ補フト共ニ自作農扶殖ヲ目的トスル開墾事業ノ指導獎勵ニ努メタル結果近年頗ニ進展シ從テ農村亦幾分振興ノ曙光ヲ認メ得ルニ至レリ

然ルニ昨年七月支那事變勃發以來非常時局ニ際會シ勞力、物資ノ關係上幾分事業施行上影響ヲ來シタル向アルヤニ見受ケラレタルモ努メテ土工ヲ主トスル事業ノ施行ニ意ヲ注キ斯業ニ對スル諸材料ノ不足、騰貴ノ影響ヲ免カラシメタル結果順調ニ進捗シ昨年度即チ戰時體制下ニ入りシモ施行セル耕地事業ハ左記ノ通ニシテ何等時局ノ爲ニ依ル事業施行ノ退歩困難ヲ認メス却テ時局柄生産勞力ノ節約並農產物生産ノ擴充強化ヲ圖ルノ必要上斯業ノ認識ヲ深カラシムルニ至リ其ノ要望ヲ爲スモノ近時益多キヲ加フルニ至レリ

事業名	地區數	施行面積又ハ關係面積	事業費支出額	附記
一、災害防止耕地事業	五	關係面積 四、六五〇・五町	一七五、八七五円	昭和十二年度ヨリ二箇年繼續事業
用排水幹線改良事業	二	同 三、六六八・四	二、七七七	
農用公共施設改良事業	三	同 六九八・七	五〇、三五〇	
暗渠排水、床締客土事業	六	同 三三三・四	一三、七四〇	
一、災害復舊耕地事業	空	同 二、四三三・六	六、五六〇	

事業名	地區數	施行面積又ハ關係面積	事業費支出額	附記
一、開墾事業	二	開墾畑田 一四七・四	五四、七九八	昭和十一年度ヨリ三箇年繼續事業
開墾助成事業	七	開墾畑田 一四七・四	二八八、〇五二	
集團農耕地開發事業	四	開墾畑田 一四七・四	二五六、七四七	
計	一三	關係面積 七、〇八三・一 開墾畑田 一四七・四	七六一、二九五	

今後採ルヘキ方策

昨年度ヨリノ本縣耕地事業ノ趨勢ヲ見ルニ
耕地擴張事業ニ付テハ 農村振興ノ爲自作農ノ創設ニヨル未墾地開發事業、農產資源ノ開發ヲ目的トスル中小開墾、飼料作物ノ栽培ヲ目的トスル中小開墾ノ施行
耕地改良事業ニ於テハ 生産勞力、各種公共施設ノ維持費節約ヲ圖ルト共ニ災害ヲ未然ニ防止スルニ効果最モ顯著ナル用排水幹線改良事業、農用公共施設改良事業ノ即時施行並生産擴充ヲ計ルト共ニ尙災害防止ノ目的ヲモ達シ得ル暗渠排水、床締客土事業ノ即時施行
ヲ要望スルモノ多キヲ加ヘ是等ノ多クハ共同作業ニ依リ勞力不足ノ調節ヲ圖ラントスル傾向アルニ鑑ミ非常時局下ニ於ケル本縣耕地事業ノ對策トシテ左記ノ如キ方策ノ下ニ斯業ノ進展ヲ期シ以テ時局ニ對應セシムルト共ニ本縣振興計畫ノ施行ニ遺憾ナカラシメントス

一、耕地改良事業

(一) 生産ノ擴充、生産勞力ノ節約、公共施設ノ維持管理費ノ遞減ヲ計ルト共ニ災害ヲ未然ニ防止シ得ル用排水幹線改良事業、公共施設事業、暗渠排水、床締、客土事業ヲ主トシ是等事業ノ内一二箇年内ニ於テ急速ニ完了セシ

メ得ル規模ノ小ナルモノヲ施行セシム

(二) 右事業ノ内努メテ勞力ヲ多數使用シ得ル事業ヲ施行セシメ農閑期ニ共同又ハ勤勞奉仕等ニヨリ勞力ノ調節ヲ計ラシム

(三) 其ノ他ノ事業ニシテ緊急已ムヲ得サル事業ハ縣内所要物資ノ調節ヲ十分考慮シ事業遂行ノ見透シツキタルモノヲ施行セシム

二、耕地擴張事業

(一) 自作農創設、農產資源ノ開發、飼料作物栽培ヲ目的トスル中小開墾ノ内短期間ニ完了シ得ル事業ニシテ開墾終了後直ニ相當成績ヲ擧ケ得ル事業ヲ普通のニ施行セシメ銃後産業ノ擴充強化ヲ計ラシム

(二) 勞力ハ出來得ル限り農閑期ヲ利用シ地方中堅青年層ノ共同作業ニ依ラシメ他面開墾事業ニ依リ勤勞精神ノ培養ニ努メシム

(三) 既開墾地ニシテ移住戸數不足ノ地區ニ對シ急速ニ移住者ヲ招致セシメ農業經營ノ安定ヲ期セシムルト共ニ開墾地ノ機能ヲ十分發揚セシメ以テ生産ノ擴充強化ヲ圖ル

三、其ノ他

(一) 各種事業共資金ノ借入ヲ最少限度ニ止メシメ以テ事變下金融統制ノ實ヲ圖ラシム

(二) 各種事業ノ財務經理ニ關シ再檢討ヲ爲シ償還計畫ノ樹テ直シ又ハ歳入出入ノ整理節約等ヲ計ラシメ各自ノ負擔ヲ輕減セシメ非常時ニ於ケル私的經濟ノ緩和ヲ計ラシム

(三) 耕地整理組合等ノ如キ共同事業ニ於テハ各員相互扶助ノ精神ヲ喚起セシメ事業ノ施行、農業經營、金融關係等ノ諸般ノ事項ニ關シ圓滑ニ之カ達成ヲ計ラシム

宮城縣

現況

本縣下耕地總面積ハ田畑合計十五萬四千七百四十町餘歩ナルモ耕地ハ概シテ灌溉排水ノ狀態不良ナルカ爲農產物ノ減收尠カラサルノミナラス道路ノ配置亦不完全ナルヲ以テ交通運搬ニ支障多ク從テ生産費ヲ要スルコト多大ナルモノアリ加之氣候不順ナルト河川ノ狀態不良ナルモノ多キヲ以テ頻年水害、旱害、雪害、潮害及冷害等各種ノ災害ヲ蒙リ農作物ノ被害甚シク之カ救済ハ農村振興上緊要ノ事項ナリ

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十九年以來極力指導獎勵ニ努メタル結果逐次發展シ昭和十三年二月末日現在ニ於テ耕地整理組合設立又ハ施行認可ヲ受ケタル地區數七百十五箇所、總地積七萬二千四百六十八町步、此ノ事業費豫算總額一千九百四十四萬七百四十五圓ニ達シ全國ノ首位ヲ占メ其ノ成績概シテ良好ナルヲ以テ今後益發展ノ趨勢ニ在リ今其ノ進捗狀況ヲ示セハ左ノ如シ

種別	總地區數	總地積	整理費豫算總額
組合設立(施行)認可	七一五	七二、四六八町	一九、四四〇、七四五
工事完了	五五八	五〇、〇二二	
換地處分認可	四三八	四一、九一七	
事業終了	二七八	二六、五三六	

用排水幹線改良事業ハ大正十四年度以來國庫ノ助成ヲ受ケ施行ノ結果逐次進展シ現在縣營トシテ施行スルモノ總計二十箇所、受益地積總計二萬七千三百二十二町步ニシテ此事業費總額六百八十四萬五千四百餘圓ニ達シ其ノ效果頗ル良好ナルヲ以テ之カ急速施行ヲ要望スルモノ逐年増加ノ趨勢ナリ

開墾助成事業ハ大正八年六月開墾助成法施行以來漸次發展シ昭和十三年二月末日現在ニ於テ開墾助成承認地區數九十四箇所、開田開畑總地積五千八百六十八町步、其ノ事業費總額六百六萬七千五百五十四圓ニ達シ其ノ成績概シテ良好ナルモ間々經營困難ナルモノアリ目下之カ整理改善ニ努メツツアリ

而シテ本縣ハ冬期氣候寒冷ニシテ積雪多キモ開墾適地タル原野ハ概シテ地味良好ナルノミナラス工事費一般ニ低廉ナルヲ以テ之カ開發ヲ希望スル者多キ狀況ナリ殊ニ最近人口ノ増加ニ伴ヒ農家一戸當耕地面積擴充ノ必要上中小開墾ヲ希望スル者漸次増加シ又自作農創設維持ノ爲未墾地ヲ購入シ之ヲ開墾セントスルモノ亦相當増加ノ趨勢ナリ

縣營集團農耕地開發事業ハ昭和十一年度ヨリ同十三年度迄三箇年繼續事業トシテ總事業費豫算三十九萬圓ヲ以テ加美郡小野田村鹿原、栗原郡玉澤村蟹澤及刈田郡宮村遠刈田上ノ原ノ三箇所ニ開始シ縣下農村ヨリ素質優良ナル移住者八十餘名ヲ招致シ畑地經營ニ依ル自作農創設ニ努メ、目下開墾作業及農業經營ニ努メ著々新興農村建設ノ爲努力シツツアリ又管下登米郡新田村外二箇村地籍伊豆沼ハ水面積一千三百餘町步ヲ有スルモ漁獲尠キニ反シ之ヲ干拓スルトキハ一千餘町步ノ水田ヲ得現下時局ニ際シ自作農創設ヲ圖ルニ便宜ナルモ之カ開拓費用ハ多額ヲ要シ關係町村ノ資力ニ依リ施行困難ナルヲ以テ之ヲ國營トシテ施行スヘク關係町村等ニ於テ極力之カ達成ニ努メツツアリ

農用公共施設新設改良事業ハ昭和十二年度以來之ニ著手シ現在縣營ヲ以テ遠田郡沼部村外三箇所、事業費總額七萬九千圓ヲ以テ施行中ニ屬シ又暗渠排水床締及客土事業ハ同シク昭和十二年度ヨリ著手シ縣營ヲ以テ黒川郡鶴巢村下草外二字地區外六箇所ニ施行中ナルノミナラス縣下各地ニ於テ補助事業トシテ之ヲ施行シ其ノ成績良好ナリ

昭和十年度以降施行中ノ水害耕地復舊事業、雪害耕地復舊事業及特殊地方耕地事業モ昭和十二年度ヲ以テ終了ヲ告ケ被害耕地及公共施設ノ復舊ヲ完了シ窮乏地方農民ニ勞銀ヲ與ヘ且ツ農産ノ増加ヲ來シ成績良好ナリ又現下非常時局對策トシテ施行中ノ小形揚水機ノ助成、農産資源開發開墾助成、軍需工場其ノ他潰地補充ヲ目的トスル開墾助成モ昭和十三年度ヨリ之カ實行ニ著手シ銃後農村ノ生活安定ニ努メツツアリ

耕地整理地賃貸價格配賦調査及指導ハ國庫ノ助成ヲ受ケ前年度以來縣下各地ニ事務協議會ヲ開キ相互事務ノ連絡ヲ圖リ且之カ調査指導ニ力ヲ致シ當業者ノ便益ヲ圖リツツアリ

今後採ルヘキ方策

一、耕地改良事業

本縣下耕地整理施行見込地ハ最近ノ調査ニ依レハ田畑合計三萬六千餘町步ヲ有シ之カ改良ハ農村振興上必要ナル事項ナルヲ以テ從來ノ施設ヲ擴充強化シ測量設計、工事監督、事務指導等ヲ行ヒ且耕地整理補助金ヲ交付シ尙現下事業變ノ爲農村勞力特ニ馬匹缺乏ニ鑑ミ農道ノ新設、改良ヲ行ヒ農用車ノ通行ニ資シ勞力ノ節約ヲ圖ラシメントス暗渠排水施行見込地ハ凡ソ三萬五千町步ニ及ヒ之カ施行ハ生産ノ増加及冷害防止等ノ爲最モ重要ナル施設ナルヲ以テ縣費ヲ以テ之カ幹線調査ヲ施行シ尙比較的大規模ノ事業ハ國庫ノ助成ヲ得縣營ヲ以テ之ヲ施行シ其ノ模範ヲ示シ當業者ノ參考ニ資シ小規模ノ事業ハ工費補助金ヲ交付シテ之カ施行ヲ獎勵セントス

二、用排水幹線改良事業

本縣下用排水幹線改良見込地ハ現在約三十二箇所、受益地積總計三萬四千餘町步アリ之カ實施ハ現下農村振興上最モ必要ノ施設ナルヲ以テ國庫ノ助成ヲ得一層之カ促進ヲ圖リ銃後農村ノ安定ニ資セントス

三、耕地擴張事業

本縣下ニ於ケル耕地擴張見込地ハ田畑合計約一萬七千餘町步アリ殊ニ近年北上川及迫川等仙北地方ニ於ケル大河川

ノ改修ト共ニ同河川沿岸地方荒蕪地ノ良美田圃ト化スルモノ漸次増加スルト加之近年農家一戸當耕作面積減少ノ傾向ニ鑑ミ之カ擴充ヲ圖ル爲中小開墾ヲ企圖スル者續出スル傾向ニ在ルヲ以テ國庫ノ助成ヲ得縣營開墾ヲ行ヒ尙當業者ニ對シ測量設計、工事監督、事務指導等ヲ行ヒ且開墾地移住家屋補助金ヲ交付シ之カ勸奨ヲ圖ラントス

現下事變ノ爲軍用施設又ハ軍需工場等ノ潰地補充ノ爲新ニ耕地ヲ開發セントスル者ニ對シテハ本年度ヨリ開墾助成金ノ交付ヲ受ケ之カ開發ヲ行ハシメ又酒精原料及飼料作物等ヲ栽培スル爲開墾事業ヲ施行スル者ニ對シテハ國庫ノ助成ヲ受ケ補助金ヲ交付セントス

又自作農創設維持ノ重要ナルニ鑑ミ昭和十二年度以降政府ノ施設ニ對應シ未墾地開發ニ依ル自作農創設維持ヲ行フ爲國庫ノ助成ヲ受ケ低利資金ノ貸付、開墾事業費及移住家屋並共同建造物築造費ニ對シ相當助成金ヲ交付シ統後農村ノ強化ヲ圖ラントス

四、集團農耕地開發事業

本縣下開墾見込地中二百町歩以上ノ集團地ハ約二十八箇所、其ノ總地積一萬餘町歩アリ之カ開發ヲ行ヒ畑地經營ノ範ヲ示スト共ニ自作農ノ創設ヲ圖ルハ農村振興上必要ナル施設ナルヲ以テ昭和十一年度以來縣下三箇所ニ之ヲ施行シ本年度ハ全部ノ移住者ヲ招致シ開墾事業ノ大半ヲ終了スル見込ナルヲ以テ今後ハ益畑地農業經營ニ全力ヲ盡シ所期ノ目的達成ニ努メントス

五、國營開墾事業

東北振興耕地事業ノ施行ハ東北振興ノ爲且現下非常時局ニ際シ統後農村ノ安定ヲ期スル爲最モ必要ナル事項ナルヲ以テ縣財政ノ許ス限り逐次之カ實行ヲ圖ラントス而シテ本縣下登米郡新田村外二箇村地籍ニ位スル伊豆沼ハ水面積一千數百町歩ヲ有スルモ漁獲尠ク其ノ收益寡少ナルニ反シ之ヲ干拓シテ耕地ト爲ストキハ凡ソ一千餘町歩ノ水田ヲ造成シ自作農創設維持ヲ圖ルヲ得ヘク農村振興上最モ必要ノ事項ナルモ其ノ事業費多額ヲ要シ到底關係地方町村ニ

於テ實行至難ナルヲ以テ國營ヲ以テ之カ實施ヲ圖ラン爲其ノ促進ニ努メントス

秋田縣

現況

本縣ニ於ケル耕地事業ノ現勢ヲ見ルニ總地積十四萬三千六百四十八町歩、内田十一萬五千三百五十三町歩、畑二萬八千二百九十五町歩ニシテ將來開發シ得ヘキ耕地擴張見込地ハ凡九萬町歩ニ達ス而シテ政府ノ獎勵施設ト相俟テ耕地ニ對スル用排水設備ノ改善開墾事業、暗渠排水事業及災害復舊等ノ事業ハ逐年進展シ來タリ殊ニ近年農村振興ノ根本策トシテ東北振興施設ニ伴フ各種補助事業ノ途開カレタル結果之カ實施ヲ要望スル者續出シ將來發展ノ趨勢ニアリ殊ニ田澤疏水國營開墾事業ニ伴フ二千五百町歩ノ開田計畫ハ本年度ヨリ六箇年繼續事業トシテ施行セラレニ至レリ之カ完成ハ本縣開墾事業ニ一紀元ヲ劃スルモノト謂フヘシ

然レトモ昨夏支那事變勃發以來勞力ノ不足、諸材料ノ高騰ハ引イテ諸事業ノ進捗ニ障礙ヲ來タシ之カ打開促進ニ腐心ヲ要スル次第ナリ今耕地事業ノ主ナルモノニ付現況ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十九年其ノ端ヲ發シ爾來逐年發展ヲ見ルニ至レルモ中途經濟界不振ノ爲古田整理事業着手ヲ躊躇スル傾向アリタルモ昨年來米價ノ騰貴ニ伴ヒ幾分施業ノ氣運ニ向ヒツツアリ昭和十三年三月末現在ニ於ケル狀況ヲ示セハ左ノ如シ

種別	地區數	面積	費用
耕地整理施行認可	六五四	三八、九七〇・七	一五、五二五、八八〇

工 事 完 了	四三三	二七、六六八・二
換 地 處 分 認 可	三八六	二五、七〇二・一
事 業 終 了	一五二	一五、二一九・一

其ノ事業ノ内容ヲ見ルニ従前ノ普通整理ハ收支ノ關係上漸次減少シ古田ノ用水補給設備及開墾ヲ主ナルモノトス
二、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル開墾事業ハ大正八年六月開墾助成法施行以來頓ニ勃興シ時局匡救事業等ニ依リ施行シタルモノヲ加フ
レハ其ノ地積三千九百八十町歩ニシテ内開田三千四十九町歩、開畑九百三十一町歩ニ達シ其ノ成績概ネ良好ナリ近
時縣ノ農產物資源擴充方針、土地價格、米價ノ高騰ニ依リ開墾事業ヲ企圖スルモノ續出ノ趨勢ニアリ
三、縣營用排水幹線改良事業

縣下ニ於ケル用排水改良事業ハ大正十四年齊内川筋農業水利改良事業ニ着手以來其ノ成績極メテ良好ニシテ尙今後
速急施行ヲ希望スルモノ甚タ多シ其ノ大要左ノ如シ
事業完了セルモノ

事業名	事業費豫算	工事期間	工事ノ種類	受益面積
齊内川筋用水改良事業	四二〇、〇〇〇 <small>円</small>	至自昭大 同同和正	排水改良	一、三〇〇 <small>町</small>
平鹿堰用水改良事業	五一一、三〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造	一、三〇四
第一期七瀧用水改良事業	二二四、八〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造	一、五五三
新城川用水改良事業	三四三、〇〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造及 用水幹線改良	二、一六三

事業施行中ノモノ

白雪川用水改良事業	二七一、九三六	至自昭大 同同和正	同	九四三
馬場目川用水改良事業	二六〇、一〇〇	至自昭大 同同和正	同	一、三九〇
金澤西根村外三箇村 用水改良事業	二六五、〇〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造及 用水幹線改良	一、一七八
第一期高松川 用水改良事業	一六五、〇〇〇	至自昭大 同同和正	用水改良	一、一九三
西馬音内村外二箇村 用水改良事業	四七、〇〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造	六八二
子吉村用水改良事業	五〇、五〇〇	至自昭大 同同和正	同	五一四
植田村外二箇村 用水改良事業	七〇、〇〇〇	至自昭大 同同和正	地下水利用	七二二
山城堰用水改良事業	一一〇、〇〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造	五七五
第二玉川用水改良事業	五〇、〇〇〇	至自昭大 同同和正	堰堤及水路新設	一、五〇七
西目村外二箇村 用水改良事業	五〇、〇〇〇	至自昭大 同同和正	溜池築造	八〇〇
皆瀬川筋用水改良事業	一五〇、〇〇〇	至自昭大 同同和正	同	一、八八〇
計	二、九八八、六三六			一七、七〇四

事業名	事業費豫算	工事期間	工事ノ種類	受益面積
第二期七瀧用水改良事業	三八四、六一〇 <small>円</small>	至自昭大 同同和正	溜池築造	一、五五三

五、東北振興施設事業

農用公共施設、暗渠排水、床縮、客土

昭和十二年度より實施セラレタル農用公共施設、暗渠排水、床縮、客土事業ハ農村經濟更生上其ノ農民ノ生活安定ニ最モ喫緊ノ事業ナル爲希望スル者續出スルノ狀況ニシテ特ニ暗渠排水ニアリテハ肥効ヲ十分ナラシムルト同時ニ冷害ヲ防止シ增收確實ナルヲ以テコレカ施行ヲ希望スルモノ多シ事業ノ概要左ノ如シ

種目	昭和十一年度迄ニ施行ノ分		昭和十二年		昭和十三年	
	施行面積	事業費	施行面積	事業費	施行面積	事業費
農用公共施設	1,055.6町	1,055,600円	77,000町	1,672,700円	1,748,850町	1,748,850円
縣管事業	232.0	232,000	15,952	3,927	3,927	3,927
暗渠排水	824.6	824,600	61,049	1,441,170	1,529,908	1,529,908
床縮	76.0	760,000	75,950	7,098	1,945,000	1,945,000
客土	276.0	2,760,000	24,000	3,720,000	8,445,000	8,445,000
計	2,914.2	5,396,200	243,951	11,842,800	24,672,858	24,672,858

六、集團農耕地開發事業

東北地方農村ノ現狀ニ鑑ミ昭和十一年度より實施セラレタル北秋田郡大野臺及南秋田郡湯西村兩縣營集團農耕地開發事業ハ其ノ後着々事業進行中ニシテ何レモ約七割ノ進捗程度ヲ示シ移住民ニ對シテハ縣ノ機關ヲ擧ケテ指導誘掖

ニ努メ新耕地ノ經營並開發工事ニ從事セシメツツアリ其ノ成果ニ至リテハ蓋シ期シテ待ツヘキモノアリト信ス計畫ノ大要左ノ如シ

地區名	面積		積	移住者戸數	工事着手完了豫定年月日	事業費
	開田	開畑				
大野臺	45.6町	245.3町	290.9町	92	昭和11.11.26	360,750円
湯西村	25.7町	100.0町	125.7町	40	同 11.11.1	181,000
計	71.3町	345.3町	416.6町	132	同 11.11.3	541,750

七、田澤疏水開墾事業

本縣玉川ノ沿岸ニ所在スル四千町歩ノ地域ハ開田ニ適スルモ用水ナキ爲原野或ハ山林ノ儘放任セララルル状態ナリシカ今般東北振興電力株式會社田澤湖利用發電ト關聯シ政府ニ於テ國營ヲ以テ四百五十個ノ水ヲ取入レ主要水路ヲ開墾セララルコトナリ昭和十二年度より事業ヲ開始セラレタルヲ以テコレニ隨伴シ縣及耕地整理組合ハ昭和十三年度より六箇年繼續事業トシテ二千五百町歩ノ開田ヲ行ヒ四百戸ノ模範的自作農家ヲ創設スルコトナリ既ニ關係全地區十耕地整理組合ノ設立ヲ見縣ハ本年五月より事務所ヲ開設シテ目下工事着手準備中ナリ事業費豫算左ノ如シ

科	目	豫算總額	國	營	縣	營	耕地整理組合營
工事費		3,042,000円	1,050,000円	1,044,600円			947,400円

自作農移住施設費	四〇〇、〇〇〇 ^円		四〇〇、〇〇〇 ^円	
素地買収費	三二七、六〇〇		三二七、六〇〇	
事務費	五四七、五一〇	一七七、二五四	二七〇、二〇〇	一〇〇、〇五六
經營指導費	三〇、〇〇〇		三〇、〇〇〇	
計	四、三四七、一一〇	一、二二七、二五四	二、〇七二、四〇〇	一、〇四七、四五六

八、自作農創設未墾地開發事業

未墾地ヲ開發シテ自作農地ヲ創設シ農家生活ノ安定ヲ計ルト共ニ生産力ノ維持擴充ニ資スルハ現下ノ時局ニ對處シ緊喫ノ事項ニ屬スルハ言フ俟タズ本縣ニ於テハ昭和十二年度ヨリ三箇年繼續トシテ南秋田郡天王村、大久保町ニ亘ル池沼ヲ干拓シ二百五十町歩ノ開田ヲ行ヒ以テ自作農地ノ創設ヲ計ルコトトナリ本年二月ヨリ工事ニ着手シ目下鋭意コレカ進行ニ努メツツアリ昭和十三年度以降ニ於テモ町村又ハ個人ニシテ自作農創設ヲ目的トスル未墾地開發事業ヲ企圖スルモノ續出ノ状態ニアリ

九、移動式小型揚水機事業

本年度初テノ試ミナレトモ事變下ノ人力補填ニ最適ニシテ實施ノ成績ハ良好ナリ
事業費ノ年度割ハ次ノ如シ

昭和十二年度	七	四、二〇〇 ^円
同 十三年度	四	二、六〇〇
計	一一	六、八〇〇

今後採ルヘキ方策

前述ノ如ク耕地事業ハ益發展ノ域ニ達セリ而シテ本事業ハ産業開發上最モ重要ナルノミナラス今時ノ事變ニ際シ銑後農民ノ生活安定、農産資源ノ開發、不足勞力ノ補充等ノ爲左記事項ニ付一層ノ努力ヲ拂ヒ以テ事業ノ堅實ナル發達ヲ期セントス

一、耕地整理事業

昭和八年以來ノ本事業ノ施行成績ハ左表ノ如クニシテ昭和十年度以來施行面積極度ニ減少シ其ノ後モ減少ノ一途ヲ辿リ特ニ普通整理ニアリテハ不振ノ状態ニアルヲ以テ十分獎勵ノ下ニ本事業ノ發展ヲ計ラントス

年 度	箇所數	施行面積
昭和八年度	四六	一、三八六 ^町
同 九年度	四一	一、〇二〇
同 十年度	二二	二五六
同 十一年度	二一	五一〇
同 十二年度	一〇	一七四

二、用排水及農用公共施設事業

本縣ハ水田面積十一萬五千町歩ニ達スルモ概ネ永ク舊慣ノ儘放置セラレ灌漑排水ノ耕地施設ハ未タソノ緒ニ付キタルニ過キス三百町歩以上ノ集團地ニシテ緊急改良ヲ迫ラレタルモノノミニテモ四十六箇所、二萬三千九百七十二町歩、コノ中五百町歩ニ滿タサルモノ三十箇所、一萬八百六十九町歩ニ達ス
之等ハ何レモ多少ノ改良ヲ加フルニヨリ維持管理費ノ輕減、災害ノ防止、耕作勞力ノ節減ヲ招來シ現下ノ銑後農村ニ對シ最モ適切ナル效果ヲ擧ゲ得ルモノナリ

故ニコノ中特ニ勞力ノ節約ヲ圖ル事業ニシテ且ツ最モ速ニ工事ヲ竣ハルヘキ地區ヲ選ヒ大ナルハ用排水幹線改良事業ニヨリ、小ナルハ農用公共施設ニヨリ施行セントス

即チ昭和十三年度ヨリノ十箇年計畫ニヨリ五百町歩以上ノ縣營用排水幹線改良事業ニヨルモノハ毎年三箇所、五千二百町歩、五百町歩以下ハ農用公共施設其ノ他ニヨリ毎年十箇所、二千町歩ノ豫定ニテ施行ノ豫定ナリ

三、自作農創設開發事業

本縣ニ於ケル農家戸數ハ九萬五千戸ニシテ内一町歩以下耕作ノ農家ハ四萬五千戸ニ及フ近時益物價ハ騰貴シ種々負擔ノ増加ニ依リ生計ハ愈々困窮ノ度ヲ加フル實情ニアルヲ以テコレニ對シ自作農創設未墾地開發事業トシテ九千町歩ヲ十箇年ニ造成スル計畫ノ下ニコレカ實現ヲ期スル方針ナリ

四、資源開發開墾事業

本縣ニ於テハ開墾ニ依リ一千五十萬貫ノ馬鈴薯ヲ生産シ無水酒精ノ原料ヲ供給スル目標ノ下ニコレニ要スル三千町歩ノ開墾ヲ十箇年ニ施行スル計畫ヲ樹テコレカ實現ヲ計ル方針ナリ

五、暗渠排水並床締客土事業

縣下ノ暗渠排水ヲ必要トスル面積ハ約二萬町歩ニシテ一團地トシテ施行可能ノ面積ハ六千五百四十二町歩ナリ縣下産米ヲ暗渠排水ニヨリテ其ノ總産額ノ二割五分增收スルノ大綱ノ下ニ集團地六千二百四十二町歩ノ中三千二百町歩ヲ縣營事業ニテ五箇年繼續事業トシテ工事完了セシメ、残りヲ十箇年計畫ニテ補助事業トシテ公共團體ニ施行セシメル方針ナリ

床締、客土事業ニ關シテハ地元農民ニ於テ十分其ノ效果ヲ知ラサルニ依リ町村農會ヲ通シテ十分其ノ效果ヲ知ラシムルタメ農閑期ヲ利用シテ研究會ヲ開催シ技術上ノ指導獎勵ヲナサントス

山形縣

現況

本縣ハ奥羽、出羽及越後ノ諸山脈ニ屬スル連峯全面ヲ蔽ヒ此ノ間ニ幾多ノ縱谷ヲ形成シ耕地亦此ノ間ニ介在ス然レハ氣候ノ不順其ノ他天災ノ襲來スルコト再々ニシテ古來災害ヲ蒙ラサルコト甚タ稀ナリ蓋シ之等自然現象ニシテ如何トモ爲ス能ハスト雖耕地或ハ耕地ニ對スル施設ノ不備、不良ニ起因スルコロノモノ尠ナシトセス然シテ之等災害ニ對シテハ速カニ復舊ヲナシ生産力ノ維持ヲ圖ルハ勿論ナルモ進テ之等災害ヲ未然ニ防除スルタメ灌溉排水ノ諸施設ノ整備、改善ヲ行フノ要アルモノ尠ナカラサル現況ナリ

更ニ又本縣ハ冬期積雪深ク農業上土地利用ニ支障ヲ來スコト極メテ大ナルモノアリ而モ一戸當平均耕作反別一町四反歩ニ過キス且一町歩未滿ノ耕作農家ハ全農家戸數ノ五十三%ニ達スル現況ニシテ到底農業經營ノ安定ヲ期スルコト困難ナリ依テ之カ擴充ヲ要望スル者年々増加スル現況ナリ各種事業ニ付概説スレハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

本縣ニ於テハ明治三十二年耕地整理法發布以來指導獎勵ニ努メタル結果現在迄ノ事業地區數三百五十一、其ノ面積四萬八百町步餘ニ達シ其ノ狀況左ノ如シ

種別	地區數	面積
耕地整理施行認可	三五一	四〇、八〇〇町
工事完了	一九九	二八、二一三
換地處分認可	一八八	二七、一六八
事業終了	一二六	二二、三七九

二、開墾事業

山形縣

(一) 開墾助成事業

由來東北地方ノ特殊事情ヨリシテ農家一戸當ノ耕作反別一町四反歩ヲ以テシテハ農業經營ノ安定ヲ期シ難ク而モ從來ノ實績ニ徴スルニ擴張面積モ漸ク潰地面積ヲ補フニ過スシテ一戸當ノ耕作反別ノ増加ヲ來スニ至ラサルニ今次時局ニ關聯シ潰地面積ハ益増加ノ情勢ニアリ又一方縣内ニ於テ地方的ニ見ルトキハ尙食糧ニ不足ヲ告クル町村ハ縣下町村數ノ二割ニ達スルノ現状ナリ

(二) 集團農耕地開發事業

本事業ハ昭和十一年六月農林省通牒東北地方集團農耕地開發事業助成要項ニ基キ畑地經營ヲ主トスル自作農ノ模範部落ヲ創設スル目的ヲ以テ二地區ヲ選定シ昭和十一年度ヨリ昭和十三年度ニ至ル三箇年ノ繼續事業トシテ企畫セルモノニシテ開墾工事ハ主トシテ移住者ノ勞力ニ依リ之ヲ行ヒ目下着々計畫事業ノ達成ニ努力中ナリ
今次事業ニ際シ指導者ヲ始メ兩地區ヨリ各々數名ノ應召者アリタルモ殘留移住者ハ一致結束シテ事業ノ達成ニ努力シ應召者ノ留守宅ニハ全員勞力ヲ奉仕シテ銃後ノ務メヲ遺憾ナク果シツツアリ

(三) 自作農耕地開發事業

本縣ニ於ケル農家總戸數十萬戸ノ内三十三%ハ小作者、四十四%ハ自小作者ニシテ耕作反別一町步未滿ノ農家戸數ハ五十三%ヲ占ムル現況ナリ而シテ本縣ニ於テハ開發シ得ヘキ面積尙六萬九千餘町步アリ之カ開發ニ依リ斯ル小農ニ土地ヲ所有セシメ又一方耕作面積ノ擴充ヲ計リ以テ銃後農村ノ安定ヲ期スルハ極メテ緊要ナリ
縣ニ於テモ昭和十二年度ヨリ之カ開發ヲ圖ルヘク努力中ナリ

三、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ目下施行中ノモノ四箇所、受益面積二千九百九十町步、此ノ事業費百三十一萬七千圓ナリ

本事業ハ固ヨリ耕地改良ノ根幹ニシテ現下非常時局ニ當リ銃後農村ノ農業經營ノ安定ヲ期セシムル點ヨリ見ルモ速ニ施工ヲ要スルモ目下ノ物價ノ昂騰並勞力狀態持續スルニ於テハ豫定計畫全部ノ進捗ヲ圖ルニ尠ナカラサル苦心ヲ要スヘシ

四、暗渠排水竝床締客土事業

本縣ニ於テ既ニ施工セシ暗渠排水面積ハ明治四十一年以降本年度迄ニ三千百一町步ニ達シ其ノ内縣營ニ依ル面積ハ六百五十二町步餘ニシテ目下銳意施行中ナリ

然ルニ本縣田面積九萬八千六百七十五町步ノ内、暗渠排水ヲ必要トスル面積ハ實ニ五萬四千七百町步ニ及ヒ其ノ約五分七厘弱ヲ施行セシノミニテ尙五萬一千五百九十九町步ヲ殘シ前途遼遠ナリト云ハサルヘカラス從來ノ實績ニ徴スレハ反當平均一斗五升乃至八斗程度ノ增收ヲ得而モ反當三人内外ノ勞力ノ節約ヲ爲シ得ルコト明ラカニシテ其ノ效果甚ク顯著ナルモノアリ

次ニ床締事業ハ昨年度ヨリ施行中ノモノニシテ事業費一萬八千二百圓尙客土事業モ同様昨年度ヨリ施行中ニシテ事業費三萬四千二百圓ニシテ何レモ良好ナル成績ヲ擧ケツツアリ

五、農用公共施設

本縣ニ於テハ年々甚シキ雪害、水害ヲ蒙リ之カ復舊容易ナラサルモノアリ加フルニ近時農村ノ不況著シキニ從ヒ且ツ事變下米作維持ノ益必要ナル秋之等災害ヲ未然ニ防止シ農村經濟ノ安定ヲ計ルヘントノ要望翕然タルモノアリ然シテ昭和十二年度ニ於テ農用公共施設トシテ事業費七萬三千圓(面積一千八百町步餘)ノ事業實施セラレタル結果ハ災害ノ防止ニ資スルコト大ナルモノアリタリ

六、災害復舊事業

東北地方ニ於ケル耕地關係各種災害ノ頻發ハ地方農村ニ甚大ナル損害ヲ與ヘ農村疲弊ノ一大原因ヲナセリ

最近ノ例ヲ見ルニ昭和九年ノ冷害、昭和十一年ノ雪害、昭和十二年ノ水害ト打續ク災害ハ農村經濟ヲシテ極度ニ困憊ナラシメタリ

縣ハ直ニ之ニ對シ復舊對策ヲ樹立シ政府ノ助成ヲ得目下之等災害復舊工事ヲ遂行中ナリ
然ルニ亦モ本年ニ於テ雪害ヲ蒙リ主要農作物ノ被害二百二十二萬二千圓ニ達シ耕地關係ノ被害額百七十二萬五千餘圓ニ及ヒ農村人心ニ多大ノ不安ト苦痛ヲ與ヘタリ

時局下銃後農村ノ不安ト疲弊ヲ速カニ除クハ極メテ喫緊ノ要務ニシテ之カ復舊ハ即時遂行ノ要アリト雖刻下ノ地方農村ノ實情ヲ以テシテハ到底自力ニテ爲シ得サルトコロナリ仍テ縣ニ於テハ直ニ復舊計畫ヲ樹テ目下政府ニ對シ助成ヲ申請中ナリ

本縣ノ如キ雪國ニ在リテハ他ノ諸府縣ニ比シ耕地ノ利用率極メテ低ク一度災害ヲ蒙ルニ於テハ農村ノ受クル影響タルヤ一層甚大ナルモノアリ

七、時局對策耕地事業

(一) 農産資源開發開墾事業

本事業ニ付テハ時局ニ鑑ミ之カ適當ナル普及進展ヲ圖リ以テ國策遂行ニ資セントス

本縣ニ於ケル農産資源開發開墾ニ對スル縣下ノ要望ハ四百四十二町歩ニ及ヒ之ニ對シ昭和十三年度ニ於テ一萬六千八百圓ノ助成割當ヲ得目下事業着手準備中ナリ

(二) 小型揚水機

應召農家ノ勞力不足ヲ補フ爲ノ小型揚水機ノ共同施設ニ對シ昭和十二年度ニ於テ三千圓、同十三年度二千四百圓ノ事業費ノ配當ヲ受ケ目下之カ施設ノ指導ヲ爲シツツアリ

八、河水統制

近時各種事業ノ複雜化ニ伴ヒ水利問題ハ益幅輻シ之カ統制調和ヲ圖ルハ重要ナル事項トス茲ニ於テ縣ハ農業水利ニ關シ銳意調査ヲ遂ケントスルモ事各方面ニ亘リ且ツ縣ノミノ力ニテハ甚ク困難ナル情況ナリ

今後採ルヘキ方策

耕地擴張改良事業タルヤ農業經營ノ根幹タルハ今更論ヲ俟タサル處ニシテ本縣ニ於テモ常ニ之カ進捗發展ニ力ヲ致シツツアリト雖刻下非常時局下ニ於テハ資源ノ充實ヲ計ル爲生産ノ維持ハ固ヨリ更ニ其ノ擴充ヲ期セサルヘカラス殊ニ銃後農村生活ノ安定ヲ計リ應召勇士ヲシテ後顧ノ憂ナカラシムルハ最モ緊急ナル事項ナリトス

更ニ現下ノ農村ノ状態ヲ見ルニ事變ニ關聯シ應召將士ハ勿論各種軍需工場ニ對スル従業員ノ應募、馬匹ノ徵發等ニ基因シ農業勞力ノ減少セル今日之カ對策トシテ農業經營組織ノ合理化ニヨリ勞力ノ節約ト調整ノ方途ヲ講スルト共ニ一面燃料資源ノ増産或ハ飼料及纖維作物ノ栽培獎勵ニ呼應シ以テ國策ノ遂行ニ資シ銃後農村經濟ノ安定ヲ期スルハ刻下喫緊要務タルヲ信ス以上ノ見地ヨリ耕地事業トシテ今後採ルヘキ方策ヲ舉クルハ左ノ如シ

一、土地改良事業ノ促進

用排水幹線改良事業ハ耕地ニ對スル水利設備ヲ改善シ水害旱害ヲ除却シ農耕ノ安全ト生産ノ維持擴充ノ根本的事業ナルニ不拘本縣ニ於テハ未タ實施ヲ見タルモノ少キヲ以テ之カ促進ヲ計ルト共ニ本縣ノ實情ニ鑑ミ暗渠排水工事ヲ普及徹底セシメ農業經營ノ基礎タル耕地ノ改良ヲ行ヒ之ニ依リ從來徒費セル農家勞力ヲ節約シ他面生産ノ維持ト増殖ヲ期シ以テ時局下ノ農業生産上遺憾ナカラシメントス

二、開墾事業ノ獎勵

現況ニ於テ述ヘタル如ク本縣農家ノ耕作面積ハ其ノ利用價值ヨリ見ルトキハ到底農業經營ノ安定ヲ期スルコト困難ナルヲ以テ之カ調整ヲ計ルトメ開墾事業ハ今後益獎勵セサルヘカラスト雖現下ノ實情ニ見ルトキハ山間農村ニシテ食糧ノ未タ自給シ得サルモノ少ナカラス故ニ之等地方ニ對シ速カニ食糧自給ヲ目標トシテノ開墾ヲ獎勵シ銃後ニ於

ケル農家ノ生活安定ト小作問題ニ基因スル紛糾ヲ解消シ農村ノ明朗化ヲ期スルノ必要アリ殊ニ最近時局ノ影響ニ依リ各種軍需關係ノ工場敷地其ノ他ノ施設ニ依リ耕地ノ潰廢スルモノ尠ナカラサルヲ以テ之カ補充ノ爲必要ナル開墾ヲ達成セシメ生産ノ維持ヲ圖ラントス更ニ國防資源開發ヲ目的トスル開墾事業ハ開墾適地ヲ相當有スル本縣ニ於テハ最モ適切ナル事項ナルヲ以テ速カニ之カ獎勵實施ヲナサントス

三、災害復舊並防止施設事業ノ達成

東北地方ニ於テハ連年各種災害ニ遭遇シ其ノ被害甚大ナルハ前述ノ如クニシテ毎年之カ復舊ニ巨額ノ經費ヲ投シツツアリ特ニ今次事變下ニ於テハ生産ノ維持、農村生活ノ安定上之カ復舊ハ一刻モ放置シ能ハサルモノアリ故ニ此ノ際國庫ノ助成ヲ得テ其ノ復舊ヲ督勵シ農耕上遺憾無キヲ期セントス更ニ過去ノ災害ノ影響ノ甚大ナルニ鑑ミ積極的ニ之カ防止ノ施設ヲナスハ最モ緊要ナリト認ムルヲ以テ廣ク農用公共施設ノ實施達成ヲ計ラントス

福島縣

現況

- 一、工用材料並人夫賃騰貴シ既定計畫ニ基ク豫算ニテハ實施困難ト認メラルル事業アリ
- 二、工用材料ノ供給不足及輸送不圓滑ノ爲豫定ノ期間内ニ竣功困難ト認メラルル事業アリ
- 三、時局ニ關聯シテ勃興シタル各種工業及鑛山業等ノ爲耕地ノ潰廢セルモノアリ其ノ直接ノ原因ニ基クモノト認メラルルモノノミヲ計上スレハ次表ノ通トス

潰地ノ狀況 (昭和十三年四月末現在)

位 置	既 設		分 積	今 後		分 積
	田	畑		田	畑	
信夫郡杉妻村	一・二七		一・二七	八・三三		八・三三
同 郡吉井田村	〇・一三		〇・一三			〇・二〇
同 郡佐倉村						〇・九三
伊達郡川俣町	〇・一八		〇・一八	一・六七		八・三四
安積郡富久山町	二・三八		二・三八	三・〇〇		三・〇〇
北會津郡一箕村	〇・一二		〇・一二	一・〇〇		一・〇〇
大沼郡高田町		〇・五〇	〇・五〇			
石城郡江名町	〇・〇七		〇・〇七			
同 郡小名濱町	〇・六〇		五・九〇			
同 郡磐崎村	〇・五〇		〇・五〇			
同 郡湯本町	一・六〇		一・六〇			
同 郡内郷村	〇・八〇		〇・八〇			
同 郡赤井村	〇・七〇		〇・七〇			
相馬郡中村町	〇・〇七		〇・〇七			
郡 山 市	六・一八		六・一八			
計	三六・一〇	五・九五	四二・〇五	一四・九三	六・八七	二一・八〇
合 計	田	五二・〇三	畑	一一・八二	田畑	六三・八五

四、地方廳職員中多數ノ應召者アリ指導監督機關ニ缺陷ヲ生シ其ノ徹底ヲ期スルコト困難ナル場合アリ

五、本縣ニ於ケル農産資源開發計畫ハ次表ノ通ナルモ五月十九日附一三農第六四四〇號農務局長通牒ニ依ル本件開墾助成金ノ割當額ニテハ第一年度分ノ計畫ヲ辛シテ實行シ得ル程度ニ過スシテ其ノ後ノ四箇年分ハ助成金ノ交付ナキニ於テハ實行困難ト認メラル

農産資源開發用作物ノ作付計畫

作物種類	現況		増産計 (増反面積)				
	作付面積	反當收量	昭三年度	同十四年度	同十五年度	同十六年度	同十七年度
玉蜀黍	一、二七・九町	一・一五三	一五〇・〇町	一〇〇・〇町	一〇〇・〇町	一〇〇・〇町	一五〇・〇町
苧麻	五三・四町	六〇〇〇	三六・七町	一一・三町	一〇・〇町	一〇・〇町	五〇・〇町
菜種	八七・三町	一・一四三	昭和六年ヨリ十箇年計畫ニテ二、〇〇〇町歩ヲ増反セシメントス				
馬鈴薯	四九・一六町	二・五〇〇	但シ田ノ二毛作ニ依ルモノトス(現在進捗五〇〇町歩)				
大豆	二五・三三二町	〇・二二	東北興業會社ノ工場設置未定ニ付具體的計畫ナシ				
小豆	〇・八三三町	二・七三三	現在作付ノ内一四〇町歩分宛毎年新品種ニ變更セシメントス				
大豆	〇・八三三町	二・七三三	新品種ヲ配給セムトス				

六、以上ノ外本縣耕地事業ノ實績ヲ示セハ次表ノ通トス

耕地整理事業ノ現況 (昭和十三年一月現在)

區	分	地	區	數	面	積
工	事	完	中	二三五		四、五九八町
工	事	完	了	二、一一九		四一、四〇二町
換	地	處	分	一、二五二		三一、四四〇町
換	地	處	完	四四九		一五、八五九町

同	換	地	處	分	未	了	計
同	換	地	處	分	未	了	計
八〇三	八六七	三五	二、三八九			一五、五八一町	
						九、九六二町	
						二、四八七町	
						四八、四八七町	

用排水幹線改良事業ノ現況 (昭和十三年五月現在)

一、事業完了シタルモノ

事業名	種別	主たる工事	受益面積	事業費	事業年度	摘要
雙葉谷農業水利改良事業	用排水改良	取入口及幹線水路ノ變更築	九六五町	二五六、八七八・五一円	自昭和六年年度	
金房村外二箇村	改良	用水路改修	五七二	八二、三七八・五九	自同六年年度	
關平村外二箇村	同	用水路及溜池ノ新設	八六五	二四五、六二六・二八	自同三年年度	
大川筋第一期	同	新用水路ノ新設	八四〇	一八二、五〇五・九三	自同四年年度	
富岡町外二箇村	同	溜池新設	五一九	一七四、九〇一・八一	自同七年年度	
安積疏水第一期	同	用水路ノ改修	五、七二六	一五九、九七〇・八八	自同七年年度	時局匡救農業土木事業
磐城小川江筋(第一期)	同	用水路ノ改修	一、三三一	一〇一、二八二・六一	自同八年年度	
長瀬川堰	同	用水路ノ改修	七〇五	一五四、九八一・〇九	自同九年年度	
同安積疏水第二期	同	用水路ノ改修	(五、七二六)	五八、一三〇・三五	自同十年年度	

種別	昭和十一年度		同十一年度		合計	
	箇所數	決算額	箇所數	決算額	箇所數	決算額
中小開墾	二四	一五、四八 ^円	一九	一〇、五九 ^円	四三	二六、〇八 ^円
用排水改良	四三	四〇、八四九	五三	三五、六五五	九六	七六、五〇四
暗渠排水	一三三	五、四七九	九四	三、三六〇	二二七	九、八三九
小設備	一五四	一四六、〇〇元	一三〇	一〇五、四一五	二八四	二五一、四一四
計	三五三	二二一、八一五	二九六	一八六、〇四〇	六四九	四〇七、八五五
					畑田	二六、七五〇 ^円
					畑田	一五、三九三
					畑田	二、〇〇、七二二
					畑田	二、一、七四〇
					畑田	四、六八三、六二九
					畑田	七、二九〇、四三三

昭和十一年度特殊地方耕地事業調

種別	昭和十一年度		同十一年度		合計	
	箇所數	決算額	箇所數	決算額	箇所數	決算額
小用排水及小設備	四一	一八二、九九〇 ^円	一七	三三、九三三	五八	二一六、九二三
暗渠排水	一七	三三、九三三	一七	三三、九三三	三三	六七、八六六
計	五八	二一六、九二三	三三	六七、八六六	九一	二八四、七九九
					畑田	四、二四九、五〇〇
					畑田	一二八、二一〇〇
					畑田	四、三七七、七一〇〇

昭和十一年度雪害復舊耕地事業調

種別	箇所數		決算額	
	箇所數	決算額	箇所數	決算額
公共施設復舊補助工事	一五七	一七二、一一二 ^円	一五七	一七二、一一二 ^円
計	一五七	一七二、一一二 ^円	一五七	一七二、一一二 ^円

今後採ルヘキ方策

- 一、現況(一)、(二)ニ對シテハ設計變更、事業年度延長等ヲ認ムル方針ヲ採ルコト
- 二、現況(三)ニ對シテハ特ニ之ニ代ルヘキ新耕地ヲ開發補充ヲ圖ルヲ急務ト認ム
- 三、現況(四)ニ對シテハ目下差置難キ事項ニ對シテハ極力徹底ヲ期シ努力スルモ事後ノ整理等ニ關スル事務ニシテ若干遲延スルモ大ナル支障ヲ來ササル程度ノモノニ對シテハ處理ノ延期ヲ認メラレ度之ニ對シテハ國庫ヨリ助成金ヲ交付シ事務ヲ完結セシムルヲ適當ト認ム
- 四、現況(五)ニ對シテハ昭和十四年度以降ニ於テモ本件ノ目的達成ニ至ル迄助成金ノ交付ヲ繼續スヘキモノト認ム
- 五、國家資源ノ開發及電力國家管理ノ影響ニ對處スル爲河水統制網ノ擴充ノ強化ヲ行ヒ以テ農業用水ノ運營ヲ計リ利用價值ヲ十分發揚セシムルコト

茨城縣

現況

本縣ノ東北部ハ阿武隈山脈ノ餘勢ヲ受ケ概シテ山岳重疊スト雖西南方ニ至ルニ從ヒ漸次廣潤トナリ所謂關東平野ノ一部ヲナス此ノ平野ハ臺地部ト低地部トニ分タレ畑地ハ主トシテ臺地部ニ水田ハ低地部ニ在リテ其ノ面積田九萬六千三百五十七町九反步、畑十二萬四千七百六十町步、計二十二萬一千百七十七町九反步ニシテ土地總面積ノ三割五分ヲ占ム全面積ノ三分ノ一強ノ耕地ヲ包擁スト雖尙各所ニ山林原野ノ開發、沼澤ノ埋立、干拓或ハ地目變換等ニ依ル開墾見込面積三萬餘町步ヲ有ス而シテ既耕地中臺地部ハ灌溉水ニ乏シク旱害ヲ被リ低地部ニアリテハ排水不良ニシテ且ツ水害地多ク水田ノ反當收量ノ如キモ平均二石四合ニ過キスシテ之カ改良上用排水路ノ變更廢置、溜池、揚水機、農道ノ改修新設、區劃ノ整正等耕地改良事業ノ必要見込面積五萬五千八百町步アリ

本縣ハ明治三十四年以來耕地擴張改良事業ノ指導獎勵ノ爲諸般ノ施設規程ヲ設ケ鋭意斯業ノ發達普及ニ努メタル結果

時ニ經濟界等ノ影響ニ依リ消長アリシト雖漸次良好ナル成績ヲ收メ本年四月末ニ於ケル耕地整理施行認可面積三萬七千四百二十三町八反步、地區數三百六十二地區ニシテ内工事完了面積一萬四千四百十七町步、地區數百五十七地區、換地處分認可面積一萬三千九百七十七町九反步、百四十二地區、事業完了面積九千九百四十六町四反步、六十二地區ニシテ又開墾助成出願面積四千五百六十八町九反步、百六十二地區、既ニ工事終了セルモノ四千二百二十二町三反步、百三十八地區、内一地區ハ縣營開墾地ニシテ其ノ面積六十六町步アリ目下助成出願中ノモノ三百九十七町一反步、九地區ニ及ヘリ尙開墾地移住家屋建築獎勵金交付ハ二百六十三戸、共同建造物一棟ナリ、用排水幹線改良事業ハ目下工事中ノ新利根川沿岸農業水利改良事業（關係面積五千八百六十七町步）飯沼川沿岸農業水利改良事業（關係面積二千二百町步）小野川村外二箇村農業水利改良事業（關係面積五百一十一町步）砂沼農業水利改良事業（關係面積一千九百町步）ニシテ既ニ完了セルモノ巴川沿岸農業水利改良事業外五事業（關係面積一萬五百六十三町四反步）ニシテ本年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ施行スヘキ山川沼農業水利改良事業（關係面積六百六十町步）破竹川沿岸農業水利改良事業（一千六百七十町步）ハ目下本省ニ補助申請中ニ屬ス

更ニ本縣ハ既成田中六萬四千町步ハ濕田地ニシテ之カ改良ノ必要ヲ認メ昭和四年暗渠排水獎勵規程ヲ設ケ獎勵中ニシテ既ニ實施セルモノ一千三百二十三箇所、此ノ面積一千四百三十三町步ニ達シ平均反當收量三割増加ノ好成績ニシテ其ノ效果ノ顯著ナルコト一般ニ認識セラレツツアリ

農村不況救済及其ノ他災害救済事業トシテ昭和七年度以降六百三十五萬八千八百餘圓ノ農業土木事業ヲ起シタリト雖未タ尙別記ノ如ク六千八百九十一萬二千餘圓ノ事業施行ノ見込アルノ現況ナリ

事業別	箇所數	事業費
用排水幹線改良	四五	一六、〇一〇、〇〇〇 <small>四</small>

事業別	箇所數	事業費
小用排水改良	一、三一六	二、八五四、一八三
小設備事業	三、四六一	三、七〇四、一九〇
暗渠排水	三、〇三五	一、七一、五一〇
開墾助成	一五二	三九、〇一〇、三二〇
小開墾	三、七四七	一、二四二、〇九〇
小耕地整理	一二四	四、三七九、七八六
計	一一、八八〇	六八、九一二、〇七九

本縣ノ耕地事業ハ年ト共ニ好調ヲ示セルモ最近區劃整理事業ハ稍々減少ノ状態ニアリコレ畢竟局部的ノ事業施行ニテハ割合ニ效果少キニ基因セルモノ多シ故ニ將來耕地事業遂行上先ツ大區域ニ亘リ根本的ニ用排水幹線等ノ設備確立ハ最も喫緊トスルトコロニシテ即チ臺地部耕地ノ如キ用水不足シ旱害ヲ被リ收穫モ亦確定セサル箇所ニハ用水ノ施設ヲ要シ低地部ノ如キ濕潤ニシテ水害地ニハ排水幹線ヲ完備スヘキモノニシテ農業水利改良事業ノ實施ハ刻下ノ急務ニシテ目下夫々計畫中ナリ

尙完成セル農業水利改良事業地域及實施中ノ農業水利改良事業完成ノ曉ニハ必然的ニ其ノ區域内ニ於テ第二次的ノ用排水改良事業又ハ耕地整理事業相伴ヒテ施行セラルヘシ

本縣ハ各所ニ廣汎ナル山林、原野、湖沼アリテ其ノ收益ハ農家經濟ノ一部ヲナセルモ最近人口ノ増加並經濟界ノ變動ニ依リ木材、薪炭材ノ生産ヨリモ農産増殖特ニ酒精原料、茶、苧麻等ハ一層有利ニシテ且ツ之カ増産ハ國策トシテ獎勵セル爲山林原野ノ開畑一層増加シ又湖沼ノ干拓ヲ企圖スルモノモ頓ニ増加ノ傾向ニアリ

前記ノ如キ數萬町步ノ過濕地ハ排水幹線ノ改良ト共ニ暗渠排水工事ノ要アリテ暗渠排水ノ補助規程制定以來日尙淺シト雖其ノ效果著シキヲ以テ年々施行者増加スルノ趨勢ニアリ

今後採ルヘキ方策

前記ノ如キ現況ニ鑑ミ斯業ノ促進達成ヲ計ル爲既往ノ方針ヲ踏襲スルノ外時勢ノ進運ニ順應シ政府ノ方針ニ從ヒ指導獎勵ノ施設ヲ一層完備スルト共ニ今次事變ノ關係施設ノ爲耕地ノ潰地トナリタルモノ相當面積ニ達スルヲ以テ是等耕地ヲ失ヒタルモノノ爲山林開發ニ一段ノ努力ヲ致スハ勿論前記ノ如キ六千八百九十一萬二千七十九圓ノ農業土木事業ノ實施ニ依リテ農村更生ニ資スルト共ニ長期交戦ニ對應スル爲生産物ノ確保増進ト資源開發ニ邁進シ以テ銃後ノ護ニ萬全ヲ期セントス

栃木縣

現況

一、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ昭和五年以來實施シ之カ竣功ノ實績ヲ見ルニ水害、旱害ヲ防除シ水利紛争ヲ解消セリ爲ニ農業經營ハ安定シ努力ヲ節減シ農村ニ平和ヲ招來スル等至大ノ效果ヲ齎シツツ有ルヲ以テ本事業ノ要望益多キヲ加フルニ至レリ

事業概要左ノ如シ

事業箇所數	一三箇所	内	完了	九箇所
			工事中	四箇所
事業區域面積	一三、九二四町步			
事業費	二、二六四、七〇〇圓 (平均一町步當一六二・六五)			

二、暗渠排水事業

本縣ニ於ケル濕田面積一萬四千百餘町步中暗渠排水ヲ施行シタルモノ

地區數	八六七	本年施行豫定	一〇
地積	一、四五六町步	本年施行豫定	六二町步
工事費	三〇五、八五〇・九〇	本年施行豫定	一五、八八〇圓
補助金	一四九、七一八・四五	本年施行豫定	六、三五二圓

ニシテ濕田面積ニ比シ其ノ數甚少ナルモ工事施行ノ結果ハ努力節約、收穫増加、品質向上等ヲ來シ其ノ成果顯著ニシテ之カ施行申請續出ノ狀勢ニアリ

三、床締事業

本縣ニ於テハ昭和七年那須郡ニ於テ牽曳機ニ依ル田地床締ヲ試驗實施セルニ其ノ效果甚大ナリシ爲昭和八年度末二二臺、同九年一臺、同十二年一臺、計四臺ノ牽曳機ヲ設置シ引續キ之カ施行ヲ獎勵シツツ有リ之ニ依リ既ニ施行済ノモノ

地區數	一九一
地積	三八二・九一町

ニシテ本年度ニ於テモ約百二十町步ヲ施行ノ豫定ニテ年々施行申請者激增ノ狀態ナリ

四、開墾及耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地地積十四萬二千二十二町步 (昭和十一年調) 中耕地整理施行地區數八百八十八箇所、地積三萬八百五十六町步ナリ其ノ内譯次ノ如シ

事業終了	一四九地區	五、三一七町步
工事終了	五八一地區	一一、六四二町步

開墾助成ニアリテハ二百十九地區

田地

一一、九四一町步

畑地

一、一四〇町步

五、農用公共施設新設改良事業

用排水幹線改良事業ハ關係耕地面積五百町步以上ヲ支配スルモノニ限ラレ地形上五百町步ニ滿タサル地域ノ用排水施設改善事業ハ實行困難ノ實情ニアリシトコロ、農林省ニ於テ關係面積五百町步未滿ノモノニ對シ農用公共施設新設改良事業補助要項制定セラルルニ及ヒ直ニ本事業ヲ企圖セルニ縣下農村ニ多大ノ反響ヲ呼ビ施行希望殺到スルニ至レリ

昭和十二年度ニ於ケル成績次ノ如シ

地區數 一一地區

地積 四〇〇町步

工事費 二九、〇〇〇圓

補助金 一一、六〇〇圓

尙昭和十三年度ニ於テハ縣營ヲ以テ本事業ヲ施行ノ豫定ナリ

六、災害復舊事業

昭和十二年夏季豪雨出水ニ依ル被害甚大ニシテ自力復舊困難ナル九十數箇町村ニ對シ昭和十二、十三兩年度ニ跨リ國庫助成ヲ得テ耕地事業ヲ施行中ナリ其ノ内譯次ノ如シ

事業名	事業費	内譯	
		昭和十二年度	同十三年度
耕地復舊	四〇、三八〇 <small>圓</small>	一三、八〇〇 <small>圓</small>	二六、五八〇 <small>圓</small>
公共施設復舊	二九八、五二五	七八、七〇八	二一九、八一七
計	三三八、九〇五	九二、五〇八	二四六、三九七

七、事變對策耕地事業

(一) 耕地ノ灌溉設備不完全ニシテ給水ニ多大ノ勞力ヲ要スルモノニ對シ移動式小型揚水機ノ共同施設ヲナサシメ以テ應召農家勞力ノ不足ヲ補填スルト共ニ用水補給ノ完璧ヲ圖ルタメ國庫ノ助成ヲ得本年度ニ於テ補助金二千百圓(内九百圓昭和十二年度ヨリ繰越)ヲ計上シ目下設備中ニシテ之カ完成ノ曉ハ十分所期ノ目的ニ副ヒ得ルモノト信スルモノナリ

(二) 國防上必要ナル特殊農産物及時局ニ依リ輸入不足トナレル農産物ノ供給増加ヲ目的トスル開墾ヲナサシムルタメ國庫ヨリ助成金四萬八千圓ノ割當ヲ受ケ目下之カ準備中ナリ

今後採ルヘキ方策

昨年七月以降農山村ニ於テハ事變應召者相次キ且ツ馬匹ノ徵發多數ニ昇リ加之軍需工業ノ勃興ハ青少年ノ都市集中ヲ來シ爲ニ農業經營上必要ナル勞力ニ多大ノ不足ヲ生スルニ至レリ

茲ニ於テ長期事變下ニ於ケル銃後生産力ヲ確保シ尙國防上必要ナル飼料、アルコール原料等ノ需用ニ遺憾ナカラシメ時局ニ依リ輸入不足トナレル苧麻、茶等ノ供給増加ヲ計ルニハ農閑期ニ於ケル農家勞力ヲ極度ニ利用シテ灌溉排水ノ諸施設ヲ改良シ進テ各種耕地ノ改良事業ヲ行ヒ生産力ヲ擴充スルト共ニ耕耘、交通、運搬等ノ利便ヲ計リ以テ農繁期

農業經營ニ要スル勞力節減ニ資スルヲ要スルト同時ニ急速ニ新ニ耕地ノ擴張ヲ行ヒテ特殊農産物ノ生産ニ與ラシメ且ツ事變ニ伴フ既耕地ノ潰廢ヲ補ハサルヘカラス

以上ノ趣旨ニ依リ本縣ニ於テハ特ニ左記各事業ニツキ特ニ指導獎勵ノ徹底ヲ期セントス

一、用排水幹線改良事業

本事業ニ依リ農業經營上ノ災害ヲ未然ニ防止スルト共ニ從來ノ紛糾セル水利系統ヲ整理統一シ農繁期ノ勞力ヲ極力節減シ以テ事變下農村ノ安固ヲ圖ラントス

之カ急施ヲ必要トスルモノ二十二箇所、關係地域三萬二千八百町歩ナリ

二、農用公共施設新設改良事業

支配面積五百町歩ニ滿タサルタメ用排水幹線改良補助要項ニ適合セサルモノ多數散在スルヲ以テ之等ヲ救済スル爲本事業補助要項ニ依リ主トシテ縣營ヲ以テ施行普及セシメントス

三、暗渠排水及床締事業

本縣ニ於ケル暗渠排水及床締事業ハ現況ニ述ヘタル如ク其ノ效果甚大ニシテ農家經濟ニ至大ノ關係アルヲ以テ之カ實施ヲ益獎勵普及セシメントス

四、經濟更生事業

經濟更生特別助成事業中耕地關係ノ事業ハ其ノ根幹ヲナスモノナルヲ以テ特ニ指導ノ徹底ヲ期シ速ニ事變下農村ノ更生ノ實ヲ擧ケシメントス

五、開墾事業

本縣ハ開墾適地五萬六千餘町歩ヲ有スルヲ以テ事變對應策ノ一トシテ農産資源開發及潰地補給竝自作農創設等ノ爲ニスル開墾ヲ獎勵助長セントス

六、河水統制事業

縣下全般可及的速ニ農業水利ノ實情ヲ明ニシ將來ノ耕地擴張ヲ慮リ河水統制事業ノ萬全ヲ期セントス
鬼怒川水系ニ關シテハ本年五月鬼怒川河水統制事業調査委員會ヲ組織シ各方面ヨリ調査研究ニ着手スルコトトセリ

群馬縣

現況

本縣ニ於ケル耕地地積ハ十一萬五千四百六十二町歩餘ニシテ總地積五十四萬八千餘町歩ニ比シ僅ニ二割二分ニ過キス
内水田三萬四千六百七十五町歩餘、畑八萬七千八百八十六町歩餘(普通畑 四萬三百九十四町歩 桑畑 四萬四千七百七十七町歩)ナリ農家戸數十二萬一千四百二十五戸ニシテ一戸當九反五畝歩ニ當リ全國平均一町六畝歩ニ對比スレハ一反一畝歩ノ不足ヲ示シ年々減少ノ一途ヲ辿リ居レリ且ツ耕地ノ七割ハ畑地ナルヲ以テ食糧ノ自給困難ニシテ年々四、五十萬石ノ米ヲ移人シツツアリ

一方土地ノ分配ニ付テモ十分ナラス眞ノ自作者ハ全農家ノ二十八%、之亦年々減少ノ傾向ヲ有シ居リ他面年々相次ク災害ハ本縣農村ニ對シ一大脅威ヲ與ヘ居ル實情ナリ

之等農業經營ノ缺陷ヲ是正スル爲ニハ政府ノ施設ト相俟テ各種ノ對策ヲ講シ居ル次第ナルモ今其ノ主ナルモノヲ示セハ次ノ如シ

一、耕地整理事業

昭和十二年末現在施行地區數五百七十三、地積二萬一千九百九十町歩餘ニ達セリト雖管内耕地地積ニ對シ僅ニ二割強ニ過キスシテ今後整理施行スヘキ豫定地勢ナカラサルモ目下ノ所災害復舊及之カ豫防施設等緊急ノ施設ヲ必要トスル爲一般の企圖スルモノ甚タ尠ナキ傾向ニアリ

二、開墾助成事業

昭和十二年末現在地區數百二十八、開田地積四百七十四町步餘、開畑地積二千八百八十八町步餘ニ達セリト雖開墾見込地積一萬三千五百町步ニ比スレハ僅ニ二割ニ過キ目下ノ時局ニ際シ農産物ノ供出及其ノ價格ノ持直シ等ノ爲之カ出願夥シク増加シツツアリ

縣ニ於テハ縣營ヲ以テ邑樂郡内板倉沼開墾可能地積百五十町步ノ開墾ヲ企圖シ昭和十二年度ヨリ三箇年計畫ニ依リ事業費十二萬五千圓ヲ以テ埋立開墾ニ着手シ目下工事中ニ屬シ居レリ(昭和十二年度開墾) 五十町步既施行) 一方赤城開墾事業ニ對シテモ其ノ後地元ノ環境好轉ト共ニ着々計畫ノ歩ヲ進メ居ルヲ以テ近ク其ノ一部ノ事業ヲ行フ豫定ナリ

三、用排水幹線改良事業

大正二年佐波新田用水改良事業ヲ縣營ヲ以テ着手シ以來現在工事完了セルモノ八箇所、工事中ノモノ三箇所、工事着手準備中ノモノ一箇所、計十二箇所、總事業費四百三萬四千五百八十二圓、受益地積一萬六千三百三十町餘步ニ達セリ

殊ニ本縣ハ地形土質ノ關係上大規模ノ用水幹線改良ヲ要スヘキモノ甚タ多ク懸案ノ大正用水及中部用水ノ兩事業ヲ河水統制計畫ニ伴ヒ實施スル計畫ノ外碓氷用水、邑樂西部、渡良瀬川、烏川沿岸等改良ヲ要スヘキ箇所多キヲ以テ之等ニ對シテハ着々計畫ヲ進メ順次實現セントスル計畫ナリ

四、農用公共施設事業

近時災害ノ頻發ニ鑑ミ之カ被害ヲ未然ニ防止スル目的ヲ以テ溜池、井堰、水路等ノ新設改良事業ヲ政府ノ方針ニ基キ昭和十二年度ヨリ獎勵シ其ノ成績ハ施行箇所七、事業費總額二萬六千圓、受益地積三百二十九町餘步ニ及ヘリ 本事業ハ目下ノ所多數ノ要望アリ殊ニ縣營用水幹線事業等ニ伴フ支線工事ニシテ施行ヲ要スルモノ工事費ニ於テ約二十萬圓ヲ算シ此外山間地方ノ農道改良ノ要望等時局ニ鑑ミ最モ緊急實施ヲ要スル問題ナリ

五、暗渠排水、床締、客土事業

農産物ノ増殖上改良ヲ必要トスル耕地即チ排水不良地又ハ滲透水甚シキ粗惡田或ハ耕土寡少等ノ爲常ニ冷害、旱害等ヲ蒙ル耕地約三千五百町步ニ及フ現狀ナリ 之等ノ土地ヲ改良シ農産物擴充ヲ圖ル目的ヲ以テ暗渠排水、床締客土等ヲ指導獎勵シツツアリ其ノ成績ヲ示セハ

種別	地區數	受益地積	事業費	備考
暗渠排水	九三	一四九町	四九、九二〇圓	昭和七年度ヨリ助成
床締	一	八	三五〇	同 十二年度ヨリ助成
客土	二	三	一、四四〇	同

六、災害復舊耕地事業

昭和十年九月未曾有ノ風水被害ヲ蒙リ國庫ノ助成ヲ請ヒ其ノ復舊未タ半ナルニ又亦昭和十二年七月ノ大水害ニ再會シ全ク農村ハ疲弊シ到底自力ヲ以テ復舊シ能ハサルニ依リ更ニ國庫助成ヲ仰キ復舊計畫ニ基キ施行中ニアリ其ノ進捗狀況ヲ示セハ

災害年別	復舊ヲ要スルモノ		同上ノ内昭和十二年度迄ニ復舊シタルモノ		復舊未済	
	種別	總數量	數量	事業費	數量	事業費
昭和十年	耕地復舊	一、二五七町	八七二町	六三、九〇圓	三七〇町	四三、〇七圓
	公共施設復舊	二六四、二五	一五、九四二	二、四八八圓	一、七五八圓	四割五分
昭和十一年	耕地復舊	一、三六、五七	六三、九〇町	六割五分	四九三、〇七町	三割五分
	公共施設復舊	二六四、二五	一五、九四二	二、四八八圓	一、七五八圓	四割五分
災害	指導監督費	一、二五七町	六三、九〇町	六割三分	三七〇町	三割七分
	指導監督費	一、二五七町	六三、九〇町	六割三分	三七〇町	三割七分

止スル爲農用公共施設ノ新設改良並不良耕地ノ改良ヲ圖ル爲暗渠排水、床締、客土等ノ事業ヲ地方ノ實情ニ即シ實施セシメ生産力擴充ヲ圖ルト共ニ耕地保全ニ遺憾ナキヲ期セントス

四、農道ノ新設改良計畫ノ指導
 本縣山間部ノ耕地ハ其ノ區域擴大ナルニ拘ラス交通不便ノ爲其ノ經營萬全ヲ期スル能ハス爲ニ比較的地形土質ニ惠レ居ルニ不拘十分ナル生産ヲ擧ケ得サルモノ或ハ未墾地ノ儘放棄セラルルモノ尠ナカラス殊ニ今回ノ事變ニ處シ軍需農産物ノ供出増加シ且ツ迅速ヲ要スル際ニ當リ支障尠ナカラサルモノアリ故ニ此際農産物搬出道路ノ新設及耕作道路ノ改良等ハ緊急ヲ要スルヲ以テ國庫ヨリ公共施設ノ補助ヲ得之カ實施ヲ計ラントス

埼玉縣

現況

一、用排水幹線改良事業

本縣下ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ大正五年以降水利調査ヲ行ヒ之ニ基キ既往ニ於ケル灌溉排水ノ被害ヲ除キ農耕上ノ不安ヲ一掃セシメ以テ縣民ノ福利増進ヲ圖ル終始一貫セル計畫ヲ樹立シ大正八年ヨリ着々其ノ工ヲ進メタリ爾來ソノ成績極メテ良好ニシテ既ニ竣成セルモノ十三地區、受益面積三萬五千九百六十四町步、事業費一千二百四十萬八千二百七圓、目下工事施行中ノモノ八地區、受益面積三萬四千九百九十二町步、事業費五百二十六萬九千五百圓、事業施行準備中ノモノ三地區、受益面積一萬五千九百二十五町步、事業費二百五十五萬圓、合計二十四地區、二千二十一萬一千七百三十二圓ニ達ス此ノ外事業計畫中ノモノ二地區、受益面積一萬八百三十一町步ノ事業費二百九十六萬圓アリ而シテ之カ財政計畫トシテハ用排水幹線改良國庫補助金、縣費並關係水利組合又ハ地元町村等ノ寄附金ヲ以テ充當スルモノニシテ目下夫々豫定ノ通着々進捗中ニ屬ス

以上ノ如ク本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ頗ル進捗セルノ現況ニアルモ尙農業水利ノ改良ヲ要スヘキ面積十二萬二千町步ヲ算シ且ツ關係水利組合並關係町村ニ於ケル事業ノ實施希望極メテ熱烈ニシテ之カ實現ノ一日モ速カナランコトヲ希望スルヲ以テ本事業ノ前途詢ニ遼遠ノ狀況ニアリ

二、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年其ノ端ヲ發シ爾來逐年其ノ發展ヲ見ルニ至レリ殊ニ近時用排水幹線改良事業ノ施行サルニ至ルヤ之ニ附隨シテ耕地整理事業ヲ行フニ非スンハ土地利用ノ完璧ヲ期シ難キヲ認識セラレ本事業ノ實施ヲ要望スルモノ年々増加シツツアルノ現状ナリ
 本年四月現在ニ於ケル成績ヲ示セハ次ノ如シ

工 事 完 了 せ る 中 ノ 換 地 處 分 認 可 済 事 業 終 了 計	地 區 數	地 積
二三七	二七、五八三	
九二	一一、六一九	
二五一	二二、九六三	
一二三	一五、一一一	
四二九	三九、二〇二	

以上ノ如ク其ノ成績極テ良好ナレトモ今後用排水幹線改良事業ノ進捗ト共ニ本事業ノ前途モ亦遼遠ナルモノアリ
 三、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル開墾助成事業ハ大正八年以降助成指令ヲ受ケタル地區數百十九、其ノ地積三千五百二十九町步ニ達セリ而モ現在ノ開墾見込地積ハ二萬九千餘町步ヲ算ス曩ニ昭和四年開墾機ノ施設、操縦技術員ノ設置等各般ノ獎勵助成ニ力メタル結果開墾事業モ着々進捗シ耕地不足ニ依ル農村窮迫ノ打破ニ貢獻スルコト著シキモノアリタリ然ルニ

近時非常時局ノ進展ト共ニ軍用地、工場等ノ敷地トシテ耕地ノ潰廢セラルルモノ夥シク昭和十二年度ノミニ於テモ其ノ地積五百六十七町歩ニ達ス而シテ右土地ノ補填並事變對應ノ農産資源開發ノタメニスル開墾五百町歩アリテ耕地擴張事業ノ前途愈々多難ナルモノアリ

四、暗渠排水事業

從來本縣ノ暗渠排水事業ハ微々トシテ振ハサリシモ昭和七年以降國庫ノ助成ヲ得ルヤ濕田ヲ乾田トシニ毛作ヲ可能ナラシムル本事業ノ要望續々ト起リ昭和七年以來施行セル地積六十五町歩ニ達セリ

五、農用公共施設新設改良事業

近年來頻發セル各種災害ヲ未然ニ防止スルタメノ農用公共施設改良事業ハ國庫助成ニ浴シ昭和十二年度ニ於テ五地區、關係地積七百七十八町歩、事業費三萬六千圓ノ工事ヲ施行シ其ノ成績極テ良好ナリ

六、暗渠排水、床締及客土事業

冷害、旱害ヲ未然ニ防止スル目的ヲ以テ行フ暗渠排水、床締客土事業ハ國庫助成ヲ受ケ昭和十二年度ニ於テ暗渠排水十五町歩、床締客土事業ハ國庫助成ヲ受ケ昭和十二年度ニ於テ暗渠排水十五町歩、床締六町歩、客土二町九反歩ヲ施行シ其ノ成績良好ナリ

七、災害復舊耕地事業

昭和十年九月ノ豪雨ニ因ル災害復舊耕地事業ノ將ニ完了セントスル秋突然襲來セル稀有ノ水害(昭和十二年七月)ニ因リ耕地、道路、水路、井堰等ノ流失缺壞セルモノ甚シク其ノ復舊ニ多額ノ費用ヲ要シ關係者其ノ負擔ニ堪ヘサル状態ニ立チ至リタルヲ以テ國庫ノ助成ヲ仰キ現下非常時局ノ農耕上何等支障ナキ様順調ニ事業進捗中ナリ今復舊事業費ヲ示セハ左ノ如シ

昭 和 十 二 年 度	耕 地 復 舊 費	公 共 施 設 復 舊 費	計
同 十 三 年 度	六、〇〇〇円	一一八、〇〇〇円	一二四、〇〇〇円
計	一一、九四〇	二二八、八七五	二三〇、八一五
	一七、九四〇	三三六、八七五	三五四、八一五

八、旱害應急施設耕地事業

昭和十二年八月ニ際會セル未曾有ノ旱害ニ因リ作物ノ減收甚シク農家ノ困憊見ルニ忍ヒサルモノアリタリ茲ニ於テ縣ハ國庫ノ補助ヲ仰キ應急施設事業トシテ旱害地ニ於ケル整地工事及溜池、井堰、水路等ノ新設改良工事ヲ行ハシメ勞銀取得ノ機會ヲ與ヘ併セテ將來ノ農耕ニ便益セシムルコトセリ即チ昭和十二年度ニ於テ工事費十三萬六千四百五圓、昭和十三年度ニ於テ六萬八千二百三圓、合計二十萬四千六百八圓ノ事業計畫ヲ樹テタリ而シテ昭和十二年度ノ実績ニ徴スルニ豫期以上ノ成績ヲ擧ケツツアルハ詢ニ欣快トスル處ナリ

九、小型揚水機施設事業

移動式小型揚水機ヲ設置シ時局柄農村勞力ノ不足ヲ補ヒ農耕上ノ不安ナカラシムル揚水機施設事業ニ對スル要望地積五百九十九町歩ニ對シ國庫助成ノ許ニ二十組、施設費九千六百圓ノ計畫實施中ニ屬スト雖近ク其ノ成績顯著ナルモノアルヘキヲ信ス

今後採ルヘキ方策

長期戦下ニアル非常時局ノ克服ハ銃後ノ護リノ如何ニ依リテ決セラルルコトハ論ヲ俟タザルトコロナリ而シテ銃後ノ重要部門タル農産資源ノ母體タル土地ノ農業上ノ利用ヲ最大限ニ増進スルタメ將又事變後ノ新事態ニ即應シ得ル左記三對策ノ實現ヲ圖ラントス

一、耕地擴張對策

時局ノ進展ト共ニ軍用地或ハ工場地トシテノ耕地ノ潰廢ハ加速度的ニ増加シツツアリ是等潰地ノ補充ヲ圖ルタメ將又酒精原料作物、飼料作物等ノ増産ヲ圖ルタメ積極的ニ未墾地ノ開發、開墾ヲ圖ルハ時局ニ對應スル最モ緊喫ナル事項タリコノタメ從來ノ開墾助成法ニヨル助成金ノ豫算ヲ増額シ又新設ノ農産資源開發開墾助成ヲ繼續セシメ以テ未墾地ノ開墾ヲ強行シ健全ナル農村ノ發展ニ資スルト共ニ農産資源獲得ニ不安ナカラシムルコト

二、耕地改良對策

用排水幹線改良事業、農用公共施設改良事業、暗渠排水事業等ノ豫算ヲ増額シ徹底的ニ既耕地ノ改良ヲ圖リ災害ヲ未然ニ防止スルト共ニ農作物ノ反當收量ヲ増加セシメ農産資源獲得ニ資スルト共ニ農業經營ノ合理化ヲ圖ルコト

三、農耕勞力ノ節減對策

區劃整理ヲ施行シ農地ノ交通運搬ヲ良好ナラシメ、小型揚水機ヲ設置シ灌溉設備ヲ簡易ナラシメ以テ農耕勞力ノ節減ヲ圖リ應召ニ依ル農村勞力ノ不足ヲ補填シ、軍需工業ノ擴張ニ伴フ勞働者ノ供給ニ支障ナカラシメ而モ事變後ノ新事態ニ即應スルノ前提ヲラシムルコト

千葉縣

現況

本縣ノ地勢ハ安房、上總ノ一部ヲ除キ概ネ平坦ニシテ印旛沼、手賀沼、長沼等各低地ニ散在ス從テ耕地トシテノ利用ハ管内全面積ノ四割七分ニ達シ田十一萬一千町步、畑八萬六百町步、計十九萬六千六百町步ヲ算シ全國第四位ヲ占ムト雖山岳稀ナルヲ以テ用水源ニ乏シク平坦部ハ地下水高ク農業水利ノ狀態極テ不良ニシテ最近十箇年間ニ於ケル旱害ハ四回ニ及ヒ被害價額一千九百九十七萬九千圓ニ達スルト共ニ五回ノ水害ニ遭遇シ被害價額五百三十九萬八千圓ヲ算シ之

等旱水被害一箇年平均二百五十三萬七千圓ノ巨額ヲ算スル狀態ニシテ用排水施設ノ不備ニ歸因シニ毛作面積僅ニ八千七百町步ニ過ス水田面積ノ一割ニ達セサル現狀ナリ

又本縣ハ農道ノ設備ニ乏シク砂利採取ノ便尠ナキヲ以テ路面極メテ不良ニシテ勞力ヲ徒費スルコト大ナリ一面農家ノ現狀ヲ視ルニ耕地擴張ノ念極メテ熾ニシテ開田適地九千四百町步、開畑適地四萬三千八百町步ヲ藏シ町村經濟更生企畫ノ基本ヲ爲ス現狀ナリ

以上ノ狀態ナルヲ以テ耕地事業ハ縣政上ノ重要問題トシテ夙ニ當局ノ勸奨ト相俟テ勃興シ用排水幹線改良事業ノ指令ヲ受ケタルモノ二十三箇所、面積三萬七千五百三十八町步、事業費六百六十六萬四千六百三十圓ヲ算シ耕地整理ノ施行認可面積今ヤ五萬三千五百七十一町步ニ達セリ

然レ共水利ノ便未タ全カラス客年銃後ニ於テ亦モ大旱害ヲ蒙リ稻作被害ノミヲ以テスルモ面積一萬四千七百町步、被害價額二百八十四萬圓ニ達スルノ慘狀ヲ呈セリ依テ縣ハ即時應急ノ對策ヲ講シ國庫補助ノ下ニ事業費三十一萬六千三百九十九圓ヲ以テ旱害應急施設耕地事業ヲ起工シ目下施行中ニ屬シ初年度ハ豫期ノ成績ヲ納メ罹災民ヲ救済セルト共ニ水源施設トシテ既ニ效果ヲ舉グルニ至レルモノ多ク銃後農村生活ノ安定ニ資セルコト多大ナリ然リト雖之等ノ施設ハ前記事業費ノミヲ以テ完成スルコト不可能ニシテ計畫上過半ノ殘工事ヲ伴フモノ尠ナカラス其ノ額三十四萬圓ヲ算シ特別助成ノ要望熾烈ニシテ默視シ能ハサル現狀ナリ

今次事變ニ依リ軍事關係用地ニ買收セラレタル面積ハ一千四十五町步ニシテ内耕作潰地六百二十六町步、移住所要戸數二百三十五戸ヲ算ス此等ハ移住ノ要急迫シ、代地ヲ開墾ニ求ムヘク縣ニ於テモ之カ指導ニ遺憾無キヲ期シツツアリ之本縣ニ於ケル事變關係ノ重要問題ナリ

事變以來農村勞力ノ移動益多ク各種勞力ノ拂底、鐵材其ノ他諸材料ノ騰貴、物資輸送ノ遲延等ニ基キ旱害應急事業ノ如ク萬全ノ努力ヲ傾到セルモノヲ除キ他ハ一般ニ工事ノ進捗ニ影響ヲ來シ殊ニ本縣ハ揚水機ノ新設多ク軍需工業ノ關

係上從來ニ比シ二倍以上ノ製作期間ヲ要スル等一般耕地事業ノ遂行ニ及ホス影響極メテ大ナリ
今後採ルヘキ方策

非常時局下ニ於ケル銃後農村生活ノ安定ヲ期スル爲災害防止ノ諸施設改良並軍事施設ニ依ル代地開墾、國防上必要ナル農産資源ノ開發、自作農耕地ノ開墾、勞力節約ヲ目的トスル耕作道路ノ改良ヲ圖ル方策ノ下ニ左記事業ノ遂行ヲ期セントス

一、用排水幹線改良事業

現況ニ記述ノ如ク本縣ニ於テハ既ニ用排水改良事業施行中ノモノ、二十箇所ニ及フト雖尙急速施行ヲ要スル箇所尠ナカラス即チ利根川沿岸地帯低濕地ハ霖雨至ラハ忽チ排水ノ困難ヲ來シ年々ノ被害尠ナカラス又一面安房上總ノ山間部ハ連年用水ノ不足ヲ來シ殊ニ昨夏ノ旱魃ハ被害激甚ヲ極メ速カニ救済策ヲ講セサルヘカラサル状態ニアリ依テ旱水害防除ノ爲至急實施ヲ要スル左記ノ改良ヲ期セントス

用排水幹線改良事業

地區數	受益面積	事業費
一〇	二〇、七五七町	六、七〇五、一八六円

二、農用公共施設新設改良事業

本縣ハ用排水ノ施設極メテ不備ニシテ累年旱水ノ禍災ヲ蒙ルト共ニ二毛作可能地僅ニ二萬町歩ニ過キス而モ農道ノ設備又極メテ原始的ニシテ見ル可キモノナシ之本縣耕地ノ二大缺陷ニシテ災害ヲ防止スルト共ニ農業經營ノ安固ヲ圖リ銃後農村生活ノ安定ヲ期スルニハ用排水幹線改良事業ト相俟チ本事業ノ實施ハ焦眉ノ急務ナルヲ以テ左記事業

ノ改良ヲ期セントス

(一) 小用排水改良事業

種別	受益面積	工事費
小用水改良	一〇、三九五町	三、一四八、〇〇〇円
小排水改良	一〇、九二五	二、四三二、〇〇〇
計	二一、三二〇	五、五八〇、〇〇〇

(二) 農村道路改良事業

種別	受益面積	工事費
農村道路改良	五、〇〇〇町	五〇〇、〇〇〇円

三、暗渠排水床締及客土事業

三箇年計畫トシテ左ノ通實施シ銃後農村ノ生産擴充ヲ期セントス

- (一) 冷害防止、二毛作獎勵上急施ヲ要スル暗渠排水施行適地三百二十町歩ノ濕田改良
- (二) 旱害防除ノ根本對策トシテ急施ヲ要スル床締施行適地百三十町歩ノ保水力乏シキ粗惡田ノ改良
- (三) 耕地ノ土質改良ヲナシ地力向上ヲ圖ル方針ノ下ニ客土施行適地三百五十町歩ノ粗惡田ノ改良

四、開墾事業

軍事施設ニ依ル代地開墾及之ニ伴フ移住家屋ヲ優先的ニ認ムル方針ノ下ニ五箇年計畫ヲ以テ左記各種開墾ノ實施ヲ期セントス

種別	區分		開田	開畑	計	移住家屋
	一箇年量	五箇年量				
開墾助成法ニ依ルモノ	三〇〇町	一、七五〇	四、二五〇	六、〇〇〇	一〇〇町	六〇〇
自作農開墾ニ依ルモノ	五〇	三五〇	八五〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一〇〇
資源開發ニ依ルモノ	一〇	一〇	五〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	二〇〇
計	三六〇	二、一五〇	五、六〇〇	七、七〇〇	二、二〇〇	一、〇〇〇
各種開墾	一、七五〇	一、七五〇	四、二五〇	六、〇〇〇	二、二〇〇	六〇〇

東京府

現況

本府農耕地ハツノ狀況ヨリ大體二部ニ區分スルコトヲ得一ハ東京市及其ノ附近地域内ノ水田、畑ヲ含ム比較的平坦部ニシテ他ノ一部ハ西部山岳地帯及島嶼ニ屬シ農家經濟ノ實狀ハ地利ノ關係、作物ノ種類ニヨリ著シク其ノ程度ヲ異ニス前者ニ在リテハ近時交通機關ノ發達工業ノ躍進的勃興ニヨリ鐵道、道路、工場、宅地等ノ敷地トシテ耕地ノ潰廢ヲ來タスコト年ト共ニ著シク耕地ハ益減少ノ趨勢ニ在リタルトコロ更ニ今次ノ事變以來軍事施設及軍需關係工場其ノ他建築物ノ敷地等ニ充當ノ爲耕地ノ潰廢ニ歸シタルモノ相當大面積ニ達ス後者ニ在リテハ農村ニ於ケル人馬ノ應召、徵發等ニヨリ勞力ノ不足ヲ招來スル等時局ノ影響ニ因ル急激ナル農業經營上ノ變化困難ヲ豫想セララルト共ニ生産力ノ衰微減退ノ憂フヘキ傾向ヲ示スニ至レリ之カ當面ノ對策トシテハ耕地開發ノ餘地少ナキ地方ニ在リテハ耕地ノ集約的利用及勞力ノ節約並災害防止ヲ目的トセル耕地改良ニ主眼ヲ置キ即チ暗渠排水床締客土事業、農用公共施設事業等ノ實施ヲ指導獎勵シ島嶼及郡部奥地ノ耕地開發可能ノ地方ニ於テハ生産力確保ヲ目的トセル比較的小地積ニ互リテノ農産

資源開發開墾事業及農地ニ代フル趣旨ヲ以テ開墾助成法ニヨル開墾事業等ヲ目下計畫中ナリ尙勞力不足ニ對スル應急策ノ一トシテハ政府ノ獎勵方針ニ從ヒ移動式小型揚水機ノ施設ヲ行ハシメ勞力ノ節約ヲ圖リツツアリ其ノ效果著シキモノアリ然シテ尙希望ノ向續出シツツアルニ對シ制當寡少ノ爲之カ選定ニ困難ヲ來セルモ可及的之カ實現ニ努力中ナリ

今後採ルヘキ方策

現下ノ時局ハ相當永續スルモノト認メラルルヲ以テ今後益物資ノ擴充ヲ必要トスヘキニ鑑ミ一層軍需關係農産物、工業原料農産物及貿易關係農産物ノ改良増殖ヲ圖ルハ喫緊ノ要務タリ一面勞力ノ不足ニヨル生産力ノ減退ヲ防止スル必要上農村經濟更生施設、勤勞奉仕施設等ト相俟チ勞資節約ヲ目的トスル暗渠排水、床締客土事業及農用公共施設事業等有效適切ナル施設ヲ獎勵指導シ以テ農産業ノ生産力維持増進並後農家ノ生活安定ニ資シ國策ノ遂行ニ協力セントス

神奈川縣

現況

現下非常時局ニ於ケル本縣ノ耕地事業ハ一般農事ノ改良施設ト相俟テ縣下農産資源ノ擴充ト農山漁村民ノ生活ノ安定ニ重點ヲ置キ之カ獎勵ニ努メ就中耕地ノ改良擴張事業ハ農業經營ノ基礎ヲナスモノニシテ現下農山漁村ノ實狀ニ即シ極メテ適切喫緊ノ事項タルニ鑑ミ極力事業ノ促進ヲ計リツツアリト雖之ニ對スル國庫ノ補助豫算ハ或ハ恒久性ヲ缺キ又ハ其ノ額甚タ僅少ニシテ地方ノ要望ニ副ハサルノ憾アルノミナラス一面ニ於テハ日支事變ノ勃發以來軍需關係其ノ他ノ爲事業ニ要スル鐵材其ノ他諸材料ノ供給圓滑ヲ缺クニ至リタルト價格ノ騰貴及勞力不足等ニ依リ事業ノ進捗ハ稍々意ノ如クナラサルノ狀況ナリ

今後採ルヘキ方策

現況ニ於テ述ヘタルカ如キ狀況ナルヲ以テ今後採ルヘキ方策トシテハ事業ニ要スル所要物資ノ需給調整ニ留意シ可及

的ニカ供給ヲ圓滑ナラシムルト共ニ事業施行ニ對スル國庫補助豫算ノ増額並特ニ開墾事業ニ對シテハ恒久的國庫補助ノ途ヲ講シ左記各項ノ事業ノ促進ニ努メ以テ事變下農産資源ノ確保ト農山漁村民ノ生活ノ安定ヲ期シ銃後農村ノ使命ヲ完フスルニ遺憾ナカラシメントス

一、用排水幹線改良事業

用水ノ不足又ハ排水不良ニシテ災害又ハ水害ヲ蒙リ年々收穫ノ減收ヲ見ツツアル一團地五百町歩以上ヲ支配スル用水又ハ排水ノ幹線改良事業ニ對シテハ從來ヨリ極力之カ促進ニ努メツツアルモ尙現ニ年々被害ヲ受ケツツアルモノニシテ今後改良ヲ要スヘキ見込地區尠ナカラス之等ニ對シテハ今後國庫補助豫算ノ増額ヲ仰キ可及的速カニ事業ヲ施行シ災害ヲ除却スルト共ニ農産ノ安定ヲ期セントス

二、暗渠排水、床締客土事業

縣下ノ水田面積二萬一千餘町步中約其ノ八割ハ排水不良ナル一毛作田ニシテ土地利用上遺憾尠ナカラス之等ニ對シテハ之ニ暗渠排水工事ヲ施シ二毛作地トナシ農産ノ増殖ト土地利用ノ増進ヲ計ルハ農村ノ經濟更生上極メテ有效適切ノ施設ナルヲ以テ將來ハ之ニ對スル國及縣ノ獎勵設備ヲ一層擴充シテ事業ノ促進ニ努メントス

三、農用公共施設改良事業

農用公共施設ノ改良事業ハ各種災害ヲ未然ニ防止シ農業生産ヲ安定ナラシムルニ緊切有效ノ施設ニシテ地方ノ要望亦極メテ切ナルモノアルヲ以テ之ニ對スル國庫補助豫算ノ一層ノ増額ヲ仰キ事業ノ促進ヲ期セントス

四、耕地擴張事業

本縣ニ於ケル耕地面積ハ田二萬一千餘町步、畑四萬七千餘町步、計六萬八千餘町步ニシテ農家一戸當平均耕作面積ハ僅カニ八反九畝歩ニ過キサレノミナラス既往十箇年ノ平均ニ依レハ農家戸數ニ大ナル異同ナキモ年々約三百五十餘町歩ノ耕地面積ノ減少ヲ示シ殊ニ近時軍事關係其ノ他一般工業界ノ急速ナル發展ニ伴ヒ各地ニ工場其ノ他ノ設置

ヲ見ルニ至リコレカ爲ニ耕地ノ潰廢ハ著シク増加シ農家一戸當耕作面積ハ漸次減少ノ傾向ニアリテ農民ノ過半ハ其ノ土地收益ヲ以テ生活ノ安定ヲ維持シ難ク或ハ副業ニ又ハ勞賃等ノ不定ノ收入ニ依リ辛ウシテ生計ヲ營ミツツアルノ狀況ナリ

斯クノ如ク耕地面積ノ過小ハ經營困難ナル農家經濟ヲ一層不安ナラシメ農村ノ更生ヲ阻害スルノミナラス率ヒテ農村子弟ノ體位並實剛健ナルヘキ心神ノ涵養ニ影響スル處頗ル大ナルモノアルヲ以テ耕地擴張事業就中過小農經營面積ノ補給ニ要スル開墾事業ニ對シテハ新ニ恒久的國及縣費補助ノ途ヲ開キ以テ其ノ經營面積ノ增加補充ヲ計リ農民就中下層農民ノ生活ノ安定ニ資セントス

新 潟 縣

現 況

古來越後平野トシテ知ラレタル本縣ノ耕地ハ田十八萬三千餘町步、畑六萬一千餘町步ヲ算シ所謂蒲原地方ヲ始トシ信濃川、阿賀野川等大河川ノ沿岸地帯ニ發達セル平坦部其ノ過半ヲ占メ其ノ他ハ他縣ニ接スル山間地方ニシテ前者ハ地味概ネ肥沃ナリ其ノ多數ハ近時河川改修ノ效ニ依リ漸ク洪水時ノ被害ヲ免ルルニ至レリト雖未タ猶平時ニ於テ洪水スル低濕地帯相當多ク是等ハ用水設備亦不完全ナルヲ以テ用排水改良事業ヲ切望スルモノ甚タ多ク後者ハ其ノ面積極メテ狭小ニシテ地味又比較的瘠薄ナルノミナラス例年雪害、水害等ノ災厄ヲ蒙ルモノ多ク之ヲ根本的ニ改良スルニアラサレハ山間部農村ノ窮狀ヲ打開スルコト至難ナリ

而シテ最近耕地ノ過少、人口ノ増加等農村窮困ノ檢討ヨリ農村更生計畫上本事業ヲ施行スルモノ特ニ増加スルノ傾向アリシカ時局非常ノ秋ニ際シ政府ノ積極的獎勵施設ト相俟チ更ニ之カ増加スルノ趨勢ヲ示シツツアリ

茲ニ重ナル事業ノ概況ヲ述ヘン

一、用排水幹線改良事業

五百町歩以上ノ集團地ニシテ用排水ノ幹線改良ヲ要スル調査地區數二十九箇所、受益面積八萬五千七百餘町歩、事業費概算一千五百四十九萬餘圓ノ内事業完成又ハ施行中ノモノ十五箇所、受益面積三萬五千三百餘町歩、事業費五百五十七萬餘圓ナリ

二、耕地整理事業

耕地面積二十四萬四千餘町歩中耕地整理ノ施行ヲ要スルモノ約十九萬五千町歩ニシテ昭和十二年末ニ於ケル進捗狀況左ノ如シ

發起設立施行認可	内工事完了	内換地處分	内事業終了
地區數	地區數	地區數	地區數
六七	五二	五八	七二
積整費	積	積	積
六、九五 ^町	四三、八三 ^町	四、九三 ^町	二、四七 ^町

而シテ昨年八月以降本年四月末迄ニ施行認可又ハ組合設立認可ノ件數八十六件ニ及ヒ其ノ面積四千八百五十八町歩餘、事業費豫算百十七萬圓餘ヲ算シタリ

三、耕地擴張事業

大正八年開墾助成法施行以來助成ノ承認指令ヲ受ケタルモノハ左記ノ如クナルカ最近經濟更生計畫上本事業ヲ企圖スルモノ續出シ更ニ農産資源ノ開發施設發表ト共ニ或ハ海岸砂丘地帯ニ、或ハ山間ニ、或ハ廢川敷ニ縣内到ル所ヨリ之カ希望ノ申出アリ銃後ノ國策遂行ニ協力セントスル處アルハ大イニ慶フヘキコトナリ而シテ農産資源ノ開發事業ニ付テハ未タ手續中ニ屬シ之カ實績ハ期シテ俟ツヘキモノアリトス

地區數	開	畑	積	計	事業費
一一九	三、〇六三 ^町	三一三 ^町	三、三七六 ^町	五、三一九、三五七 ^町	

四、農用公共施設新設改良事業

昨昭和十二年度ヨリ實施セラレタル本事業ハ本縣ノ如ク各種災害頻發スル地方ニ於テハ之ヲ未然ニ防止シ農業經營上極メテ適切ナルノミナラス銃後ニ於ケル耕地ノ確保上甚タ力強キ事業ナルモ割當額ハ左ノ如ク僅少ナレハ地方ノ需要ヲ滿スハ百年河清ヲ俟ツノ憾アリ

地區數	關係地積	事業費	補助金交付額	備	考
七	二九五 ^町	二五、九六九 ^町	一〇、三八八 ^町	外ニ一箇所翌年度ニ繰越セリ	

五、暗渠排水、床締、客土事業

昭和七年度及昨年度ヨリ獎勵ノ暗渠排水事業昨年度新ニ獎勵ノ途ヲ拓カレタル床締客土事業ハ何レモ其ノ效果極メテ顯著ナルカ故ニ希望者續出シ殊ニ床締作業ハ農林省ヨリ借用ノモノ一臺竝縣ニ於テ購入セルモノ一臺計二臺ノ「トラクター」ヲ以テシテハ到底是等ノ希望ニ應シ得サル狀態ナリ
實績ヲ左ニ表示ス

事業別	地區數	施行地積	工事費又ハ事業費	助成金交付額
暗渠排水	二三七	一九六 ^町	五一、四〇〇 ^町	二三、〇四〇 ^町
床締	一	五	三五〇	一四〇
客土	三	四	一、四四〇	五七六

六、移住家屋補助事業

大正十一年度ヨリ開始セル本事業ノ恩典ニ浴シタルモノ百四十六戸、其ノ補助金交付額三萬五千七百七十圓ニ達シタルモ年々國庫補助金ノ割當漸減スルノミナラス其ノ額少ナルカ爲既ニ家屋ヲ建築セルモ恩典ニ浴シ得サルモノ實ニ尠ナカラス

七、小型揚水機新設事業

時局ニ對應スヘク昭和十二年度ヨリ施設セラレタル移動式小型唧筒ノ設置ハ相當希望者多キモ原動機ニ制限アル爲當該年度ニ於テハ設置箇所僅カニ五箇所、灌漑見込地積六十九町歩、施設費豫算三千圓ヲ認メラレタルノミニシテ右ハ年度切迫ノ爲何レモ翌年度ニ繰越ノ止ムナキニ至レリ

八、各種災害復舊耕地事業

昭和十一年雪害及昭和十二年水害復舊耕地事業ハ豫定ノ通順調ニ進捗シツアルモ本年ノ豪雪ハ又昭和十一年ニ殆ト劣ラサルモノアリ其ノ被害總額一千百十三萬餘圓、復舊見込總額六百十六萬餘圓ナリトス

今後採ルヘキ方策

時局ニ對應シテ農産確保ノ爲各種ノ對策講セラレツツアリト雖之等ノ施設對策ハ何レモ農作ノ基礎トナルヘキ耕地ヲ根本的ニ改善スルニアラサレハ實現極メテ至難ナリトス又殆ト毎年頻發スル各種災害ノ除去ト耕地ノ過少、人口増加等ニ因ル農村窮乏ノ更生策トシテ最モ緊急ヲ要スル左記事業ヲ選ヒ實施ヲ獎勵シ銃後生産確保ニ努力セントス
一、五百町歩以上ノ用排水改良事業ハ昭和十三年度ヨリ着手ノ見込ヲ以テ打合中ノモノ其ノ他既ニ計畫ヲ樹立シ又ハ調査中ノモノ十四箇所、受益地積五萬餘町歩、事業費九百九十二萬餘圓ハ漸次縣營事業トシテ施行スルコト
二、五百町歩未滿ノ耕地ヲ支配スル農用公共施設改良事業施行豫定地二百七十餘箇所、被害面積一萬一千餘餘町歩、事業費六十六萬餘圓ハ昭和十二年度政府所定ノ補助要項ニ依リ各種團體ニ施行セシムルコト

- 三、農村經濟更生計畫中ノ耕地關係事業ト未墾地開發ニ依ル自作農創設及農産資源開發開墾助成事業ノ計畫並施行ニ關シテハ克ク協調ヲ遂ケ萬遺漏ナキコトヲ期スルコト
- 四、本縣ハ昭和九年及昭和十一年ノ豪雪ニ依リ莫大ノ雪害ヲ蒙リ更ニ三度本年ノ豪雪ニ見舞ハレ地方住民ハ一層危殆ニ瀕スル状態ナルヲ以テ速カニ救濟對策ヲ講スルト共ニ被害除去ニ付恒久的の方策ヲ樹ツルコト
- 五、耕地整理事業ニ關シテハ既設地區ノ工事ノ指導監督ト完了事務ヲ助成シ特ニ耕地整理組合ノ財務ニ對シテハ一層周到ナル指導ト嚴重ナル監督ヲ爲シ不正事件ノ惹起ヲ防止シ斯業獎勵上遺漏ナキヲ期スルト共ニ新規地區ノ測量設計ヲ行ヒ事業ノ進展ヲ圖ルコト

富山縣

現況

本縣ニ於テ今年三月末迄ニ耕地整理ノ施行ヲ認可シタルモノ七百九十二地區、其ノ地積二萬五千四百八十六町歩ニシテ之ヲ縣内耕地整理施行見込地積七萬一千八百七十一町歩ニ比スレハ未タ其ノ半ニモ達セス而シテ認可シタル地區ノ内工事ヲ完了シタルモノ二百七十六地區、其ノ地積漸ク六千六百三十二町歩、内換地處分ヲ終ヘタルモノ二百六十三地區、六千七百七十八町歩ニシテ事業終了シタルモノ百五十四地區、二千八百九十八町歩ナリ
之ヲ前年同期ニ比スレハ認可地區數三、地積十八町歩、工事完了地區數一、地積二百七十四町歩、換地處分地區數五、地積五百二十一町歩、事業終了地區數五、地積八十三町歩ヲ増加セリ而シテ昭和十一年中ニ於テハ認可地區數二十七、地積五百八十町歩、工事完了地區數十六、地積四百六十四町歩、換地處分地區數十六、地積三百六十八町歩、事業終了地區數七、地積百二十九町歩ヲ増加セルニ比スレハ認可地區數ニ於テ二十四、地積ニ於テ五百六十二町歩、工事完了地區數十五、地積百九十町歩ノ著シキ減少ヲ示セリ

昭和八年六、七月ノ旱害対策トシテ計畫シタル用水補給ノ工事ハ昭和九、十兩年度ヲ以テ完了スル豫定ナリシ處昭和九年三月雪害ニ遭ヒ次テ同年七月北陸大水害ニ襲ハレ爲ニ計畫ヲ同十一年度ニ延長スルノ餘義ナキニ至リ同十一年三月又雪害ヲ蒙リタルヲ以テ工事ノ一部ヲ同十二年度ニ繰延フルノ已ムナキニ至リタルニ依リ本工事ハ同十二年度ヲ以テ打切り事業費二萬七千五百圓ノ竣功ニ對シ補助金五千五百圓ヲ交付シタルモ豫算ノ關係上年度内ニ竣功セル事業ニシテ同十三年度豫算ヲ以テ七千圓ヲ交付スヘキモ當初計畫工事費三十六萬九千圓ニ比較セハ工事未着手ニ依リ工事費九萬八千九百六十圓ヲ減額セリ

昭和十一年度ヨリ工事費八十八萬二千六百十八圓ヲ以テ三箇年繼續事業トシテ施行スヘキ昭和十一年雪害復舊事業ノ昭和十二年度施行豫定ハ耕地復舊十一町二反歩、公共施設復舊農道等延長四萬一千五百四十一間、其ノ他工作物三百二十五箇所、其ノ事業費三十九萬一千六百五十六圓ニシテ漸クニシテ年度内ニ竣功セシムルヲ得タリ

然ルニ本春三度雪害ヲ受ケ目下被害地復舊調査中ナルモ其ノ復舊ニハ巨費ヲ要スル見込ニシテ銃後強化ノ爲甚タ遺憾トスル處ナリ

昭和九年ノ水害復舊事業ハ同年度ヨリ同十四年度迄繼續事業トシテ施行シツツアルモノニシテ同十二年度施行豫定ハ耕地ノ復舊百三十九町歩、公共施設ノ復舊、道水路延長七萬六千八百八十六間、工作物九百七十箇所、事業費六十一萬六千八百八十三圓ニシテ年度内ニ竣功ヲ見タルモノ耕地復舊八十七町九反歩、公共施設復舊道水路延長三萬六千四百四間、其ノ他工作物三百三十三箇所、其ノ事業費三十九萬二千六百二十八圓ニシテ工事費二十二萬四千二百五十五圓ヲ後年度ニ繰越スノ已ムナキニ至レリ

昭和十二年八月ノ水害復舊事業ハ同年度及同十三年度ニ於テ實施スヘキモノニシテ耕地ノ復舊九町八反歩、公共施設ノ復舊農道、水路、堤塘、延長一萬三千三百五十一間、井堰等百五十七箇所、關係地積九千九百九十二町二反歩ハ昭和十二年度ニ於テ耕地五町三反歩、農道、水路、堤塘、延長五千七百四十四間、工作物六十六箇所ヲ復舊セシムル計畫ナリシ

モ漸ク其ノ半ノ竣功ヲ見タルニ過キス

暗渠排水工事ニ依リ濕田ノ改良ハ工事容易ニシテ其ノ效果顯著ナルヲ以テ施行ヲ希望スルモノ年次多數ニ昇リ昭和十二年度ハ二百八十二地區、四千八十九町歩ニ達シタルモ補助豫算僅カニ三千七十二圓ノ少額ナルヲ以テ漸ク三十町歩ヲ施行セシメタルノミナリ

開墾助成法ニ依リ助成ヲ指令セラレタルモノ九十四地區、地積開田一千三百三十一町歩、開畑二百二十一町歩、此ノ事業費三百九十萬三千八百圓ニシテ内既ニ竣功シタルモノ開田一千五百五町歩、開畑百七十六町歩、計一千二百八十一町歩ニシテ昭和十二年度ニ於ケル開田豫定十六町歩、開畑豫定六町歩ニ對シ開田十二町歩、開畑六町歩ヲ竣功セシメタリ

而シテ本縣ニ於ケル耕地擴張見込地積ハ開田五千三百九十町歩、開畑三千二百二十町歩、内五町歩以上集團セルモノ五千九百八十二町歩アルト、最近一箇年ニ工場ノ敷地トシテ潰シタル耕地田四十四町四反歩、畑五十七町歩、計百一町四反歩アリ猶今後増加ノ趨勢ニアルヲ察スルトキハ農産資源充實ノ爲勉メテ開墾殊ニ開田ヲ獎勵スルニ非ラサレハ一朝稻ノ不作ニ際會センカ食糧ノ供給上思半ニ過キルモノアルヘシ

昭和十二年度ヨリ實施セラレタル自作農地創設未墾地開發事業ハ個人營開田六町五反四畝歩、開畑二十三町三反歩ヲ施行セシムル豫定計畫ヲ樹テ本省ノ承認ヲ經タルモ開田四町九反四畝歩、開畑十七町八反四畝歩ヲ竣功シタルノミニシテ町村營開田一町二反七畝歩、開畑一町一畝歩ヲ計畫シタルモ完成シ能ハサリシハ遺憾ナリ

農産資源開發ノ爲ノ開畑事業ハ本縣ニ於テ漸ク經營ノ緒ニ着キタル芋麻栽培ヲ目的トシテ實施スヘク目下計畫中ナリ昭和十二年度ヨリ實施セラレタル農用公共施設新設改良事業ハ水害ヲ防除スル目的ト同時ニ地力増進ヲ計ル爲六川水路延長一千六百二十二間、井堰落差工等十三箇所ノ改良ヲ計畫シ事業費三萬圓ヲ以テ豫定ノ竣功ヲ見タリ

冷害等防止ノ爲昭和十二年度ヨリ實施セラレタル暗渠排水、床締、客土事業ハ暗渠排水五十七町八反歩、床締二町一

反歩、客土六町歩ハ何レモ豫定ノ竣功ヲ見タルハ銃後農村ノ爲祝福スヘキトコロナリ
 縣營用排水事業ニ於テハ事變ノ影響ニ依リ勞力ノ供給不足シタルト之ニ伴ヒ賃銀ノ騰貴シタルトニ依リ事業ノ進捗ニ
 支障ヲ來シタルノミナラス鐵材ノ昂騰ト其ノ使用節約ノ爲既定ノ設計ヲ變更スルノ必要ニ迫ラレ尙揮發油ノ使用制限
 ハ材料ノ運搬動力機ノ使用ニ圓滑ヲ缺クニ至リタルト其ノ他ノ原因ニ依リ遂ニ左ノ如ク其ノ事業費ノ繰越ヲ見タル
 ハ洵ニ遺憾ナルモ事變ノ目的達成ノ爲ニハ又堅忍持久スヘキカ

事業名	昭和十二年度豫算	支出額	繰越額
庄川用水合口事業	二、七九一、二七〇	一九、八五〇	二、七七一、四二〇
小矢部川沿岸用水補給事業	一〇三、四七〇	四五、二一〇	五八、二六〇
赤祖父郷用水補給事業	九七、一二〇	二四、五五〇	七二、五七〇
大廣田村外七箇市町村用水改良事業	四〇、〇〇〇	—	四〇、〇〇〇
銀治川沿岸排水事業	一四六、三〇〇	六六、五六〇	七九、七四〇
佛生寺川沿岸排水事業	六二、七八〇	二六、〇二〇	三六、七六〇
片貝川用水合口事業	一〇三、六四〇	二、一六〇	一〇一、四八〇
用排水復舊事業	八三六、七三二	五七七、九五〇	二五八、七八二

今後採ルヘキ方策

本縣産業ノ大宗タル農業ハ米作ヲ本位トナシ其ノ産額年平均百六七十萬石ハ全ク農村民ノ勞力ト畜力ニ依リ生産セラ
 レ最近米價ノ向上維持ト増産トニ依リ往年ノ不況ヲ漸ク打開シ更生ノ第一歩ヲ踏ミ出タセルノ秋今時事變ノ勃發ニヨ
 リ多數ノ壯成年ト馬匹ヲ戰場ニ送り剩ヘ事變關係工場ニ數多ノ人員ヲ出シ唯一ノ生産力ヲ減殺セシ農村モ銃後ヲ強化
 シ出征將兵ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメントスル熱意ニ熾ヘ隣保相扶ケテ昨秋ノ收穫ニ違算ナカラシメ本春來耕耘、植
 栽ニ支障ナカラシメント期シツツアルハ我國農山村ノミ保有スル最高ノ道德ニシテ洵ニ感激スヘキトコロナリ

然レトモ農山村ノ勞力不足ト之ニ伴フ賃銀ノ騰貴及工用資材殊ニ鐵材ノ昂騰ト「ガソリン」ノ使用制限ニ依ル動力ト
 運搬力ノ減縮等ハ本縣農業ノ重要性ヨリ一日モ忽セニスヘカラサル耕地整理ノ施行、開墾、災害耕地復舊及用排水幹
 線改良事業ノ進捗ニ支障ヲ及ホスニ至レリ

茲ヲ以テ耕地事業ハ農村ニ於ケル物的、人的資源ノ根蒂ニシテ長期應戰體制ニ即應シ勞力ヲ節用シ、生産ノ増加ヲ圖
 リ國際收支ノ改善ニ資スヘキ特殊作物新栽地開發ニ重要ナル所以ヲ認識セシメ系統農會及産業組合ト聯絡シ機械力殊
 ニ畜力ノ利用ヲ獎メ勞力ノ節約ト自給肥料ノ増産ニ資シ餘力ヲ農耕地ノ改良ト擴張ニ傾倒セシメントス猶農耕地ノ改
 良擴張事業ノ施行ニ方リテハ

- 一、勞力ノ不足ニ對シテハ奉仕團體ノ結成特ニ青年團及婦人團體ノ奮起ヲ促シ一面勤勞貯蓄ヲ獎メ公債應募ノ資源タ
 ラシムルト共ニ努メテ畜力ノ利用ヲ計リ畜産ノ經營ニモ好果アラシムルコト
- 一、鐵材ノ使用ヲ可及的回避シ「セメント」、木材等ヲ以テ補強ヲ策ル等積極的工法ノ變更ヲナシ戰時資材ノ留保ヲ計
 ルコト

- 一、電動力及木炭瓦斯發動機又ハ畜力或ハ蒸汽機關ノ利用ヲ工夫シ「ガソリン」ノ使用ヲ節約スルコト
- 一、事業ハ農産資源開發開墾ノ如ク本縣トシテ苧蔴栽培ヲ獎勵スル等事變ニ直接關係大ナルモノヨリ施行スルコト
- 一、自作農創設未墾地開發事業、災害防止ヲ目的トスル農用公共施設新設改良事業、暗渠排水、床締、客土事業ノ如
 キ農家ノ生活安定ニ直接關係ヲ有シ施行容易ナルモノノ進捗ヲ努ムルコト

以上耕地事業ノ進捗ニ關シテハ當業者ノ認識ノミヲ以テ達成シ得サルモノ多キヲ以テ資金ノ供給、事業費ノ助成、物
 資ノ配給等ニ關シテハ政府ノ考慮ヲ求メ其ノ施設ニ策應シ銃後強化ノ萬全ヲ期セントス

石川縣

現況

支那事變勃發以來縣下各地方共協力シテ國民精神ノ振作ヲ見各方面協力一致應召者ノ生活安定、勤勞奉仕、勞力補充軍需品生産供出等各般ニ亘リ夫々施設ヲ講シ着々成果ヲ收メツツアリ耕地事業ニ關シテモ農業生産力ノ確保、増進、銃後農村生活安定ノ爲耕地事業施行ノ緊要ナル所以ヲ一般業者ニ認識セシメ斯業ノ獎勵ニ努メツツアリ即チ本年四月末現在ニ於テハ既ニ耕地整理施行認可ヲナシタルモノ八百八十地區、之ノ地積三萬三千二百八十三町步、内工事完了シ換地處分ヲ終ヘタルモノ五百三十八地區、此ノ地積二萬二千七百六十三町步ニシテ事業完了シ組合解散シタルモノ四百三十二地區、此ノ地積一萬九千三百六十町步ニ達セリ開墾事業ノ施行地區數七十一、此ノ地積九百三十四町步ニシテ是等開墾地ニ對シ開墾地移住家屋ノ建設ヲ爲シ移住シタルモノ二十三戸ニ及ヘリ開墾事業中畑地開墾ハ時局ノ影響ニ依リ資源開發、開墾助成事業ノ企畫ヲナスモノ續出スルニ至レリ尙暗渠排水事業ハ縣下能登方面ノ濕田ニハ其ノ效果顯著ニシテ補助申請者尠ナカラサルモ補助金額ニ制限セラレ昭和十二年末迄ノ竣工地積百七十一町步ニ過キサル狀態ナリ用排水幹線改良事業ニ關シテハ每年用水不足ニ困難ヲ來シツツアリシ羽咋郡邑知村宇神子原ニ於テ總經費十萬圓ヲ投シ五町一反歩ノ貯水池ヲ新設スルコトトナシ目下工事中ナリ尙羽咋郡高濱町外五箇村ニ亘ル排水不良地ノ改善ヲ圖ル爲事業費七十萬圓ヲ以テ五箇年繼續事業トシテ志加郷農業水利改良事業ヲ計畫シ昨年ノ通常縣會ノ議決ヲ經テ目下準備中ナリ以上ノ外政府ノ獎勵方針ニ基キ資源愛護自作農耕地開發助成、小型揚水機ノ獎勵等ニ努メツツアリ

今後採ルヘキ方策

耕地事業トシテ今後採ルヘキ方策多々アルヘシト雖先ツ農村銃後對策トシテ農產資源開發開墾事業ヲ獎勵シ以テ農村生産力ノ充實ヲ計リ農村電化ノ普及ニ努メ移動式小型揚水機設置其ノ他機械農具ノ充實、耕地ノ既定計畫ノ實施獎勵

ニヨリ人畜ノ應召徵發ニヨル勞働力ノ補充、調節ヲ講セントス又軍用、工場敷用地トシテ耕地ヲ買收セラレ生業ヲ失フモノニ對シテハ開墾事業ヲ指導獎勵シ以テ生活ノ安定ヲ期セシメ災害防止對策ヲ樹立シ慘害ヲ未然ニ防止シ農山村經營ノ完壁ヲ計ルノ外應召農家ノ生活安定ニ資セシメンカ爲農業土木工事ニ對シ就勞希望者ニハ優先的ニ就勞ノ機會ヲ與ヘ應召ニ起因シ工事遲延ノ虞アル向ハ隣保扶助ノ實ヲ舉ケ應召者ヲシテ後顧ノ憂ナカラシメントス

福井縣

現況

本縣耕地面積ハ六萬二千二十二町七反歩ヲ算シ（内田面積五萬五百八十五町四反歩、畑面積一萬一千四百三十七町三反歩）農家一戸當耕作面積九反六畝歩ニ過キス而シテ是等ハ耕地整理又ハ土地改良ノ實施ニ依リ完全ナル土地ノ效ヲ舉ケ農村振興上多大ナル成果ヲ收メツツアルモノアルモ尙之等ハ事業必要地ノ一部ニ過キス多クハ今後ノ企畫ニ俟ツヘキモノニシテ今後耕地改良事業ヲ必要トスルモノノミニモ尙二萬數千町步ヲ存スル狀況ナリ、此不良耕地ノ殘存ハ本縣耕地總面積ノ狹小ト相俟テ實ニ農業經營改善上ノ支障ニシテ農村經濟更生途上ノ一大支障タル所以ヲ農民愈々自覺、最近耕地事業ノ實施ヲ企圖シツツアルモノ益多キヲ加ヘツツアリ

此時非常時局ハ愈々重大ヲ加ヘ長期戰ノ體制下ニ國家總動員ヲ必要トシ銃後農村ノ使命亦農村ノ生産力ノ確保増進ト生活安定ヲ期シ勞力不足、工事資材ノ騰貴ニ不拘、耕地改良、擴張ノ事業益活潑ナラムトスル現況ナリ即人馬ノ應召ニヨリ農村ノ勞力不足ハ一般ニ耕地ヲ顧ミス工事資材ノ騰貴ハ諸種ノ耕地事業ヲ阻止スルカ如ク見ルモノアルモ事實然ラス農村ノ生産力ノ永久的確保増進ノタメニ銃後農民一致協力最善ノ努力ヲ竭シツツアリ

今後採ルヘキ方策

非常時局下ニ於ケル耕地事業ノ現況大略上述ノ如クナルカ今後採ルヘキ方策ハ時局ノ重大ニシテ多數應召農家ヲ出シ

農業勞力ノ不足ヲ危惧セラルルニ鑑ミ一ニハ全ク車輪ヲ利用シ得サル農地ニ對シ部落ニ通スル耕作幹道ヲ農閑期ニ設備セシメ以テ農繁期ニ備ヘシメ、二ツニハ踏車、撥釣瓶ノ如キ全ク勞力ニ依存シ灌溉ヲナシツツアル地域ニ對シテハ之カ機械化ヲ計ルヘク移動式小型揚水機ヲ設備セシメ勞力不足地ノ灌溉ニ備ヘシメ、三ツニハ奥地山村農家ニ於ケル水路、井堰、農道ニシテ本冬ノ積雪、融雪ノタメ破損決潰セルモノノ復舊ヲ計ラシメ以テ生産ノ確保ヲ期スルヲ要ス、尙應召農家ニシテ勞力ハ家族ニ少シク殘存スルモ資産ナク働クニ農耕ノ場所ヲ有セス又從來隆盛ナリシ機業ノ不振ノ爲工賃收得ノ道モ斷タレタルカ如キモノニ對シ新ニ農耕地ヲ取得セシメ主要糧食ノ自給ヲ計ラシムルハ零細應召農家生活安定ノタメ喫緊ノ事項ニシテ且ツ應召者歸郷ニ際シテモ有力ナル生業ノ基礎ヲ與フルモノト思料セラルルニ付該當農家ニ對シ相當耕地ヲ取得セシムルモノトシ其ノ用地トナルヘキ山林、原野ノ買收費並其ノ開墾費ニ對シ相當ノ助成ヲ必要トス之等ハ刻下銃後々援施設トシテ適切ナルヲ以テ銃後後援費ニヨリ施設計畫スルヲ可トスヘキモ又生産擴充ノ見地ヨリスルモ誠ニ重要ナル方策ト思料セラルルヲ以テ一般農林行政上ノ立場ヨリ企畫施設スルモ亦適切ナルヲ認ム尙農村資源トシテ耕地ハ非常時局ニ於テ益其ノ價值ノ増大サレタルヲ認ム、即チ國民主要食料品、必需品ノ生産場タルノミナラス燃料國策遂行ノ資トナリ、國際收支ノ改善ノ爲ニ有スル耕地ノ使命ハ現下非常時局ニ愈々増加セルヲ察スル時耕地ノ改良擴張ニ積極的助長ノ必要ヲ認ムルモノナリ即チ國土利用、河水統制調査ノ徹底ヲ期シ主要用排水幹線改良事業ノ國營、災害防除農用公共施設改良事業ノ國庫補助増額ヲナシ根本的耕地改良ノ遂行ヲ容易ナラシムハ今後採ルヘキ方策ト認ム

山梨縣

現況

食糧ノ自給、人口ノ増殖及生活資源ノ確保、國防ノ充實ハ平時ト戰時トヲ問ハス必要ナルコト論ナキ處ナリ支那事變

ノ進展ニ伴ヒ時局ハ益多岐、多彩ニ亘リ其ノ複雑ナルト事態ノ重大ナルトハ容易ニ終熄ヲ豫想スルヲ得サルモノアリ此ノ秋ニ當リ兵士ノ應召、馬匹ノ徵發並食糧及必要物資ノ生産ヲ擔當スル農山村ノ使命モ亦愈々重大ナルモノアリト信ス

本縣ニ於テハ地勢高峻山嶺起伏シ平坦地極メテ尠ナク農家一戸當耕地面積ハ過小ニシテ累年災害ヲ蒙リ農家ハ極度ニ疲弊セル状態ナリシ處偶々事變ノ勃發ヲ見以來縣下各町村ヨリ多數ノ應召者及馬匹ノ徵發ヲ出シタル結果從來主トシテ之等青壯年層及畜力ニヨリテ得ラレタル勞働力ニ著シキ減少ヲ來シ之カタメ耕地事業ニ及ホシタル影響尠ナシトセス即チ人夫ノ不足ニヨル人夫賃ノ上昇ト加之諸材料ノ制限及高騰ハ事業ノ進捗ヲ阻ミ初當ノ計畫ニ齟齬ヲ來セルモノ相當有之カ如シ

翻テ思想方面ヨリ見ルニ本縣ハ多年ニ亘リ地主ト小作人トノ軋轢甚クシク小作爭議ハ全國中有數ノ縣ナリシモ本事變ハ縣民ニ舉國一致事ニ當ルノ念ヲ誘起セシメタル結果永年ニ亘リタル小作爭議モコノ機會ニ解決セラレタルモノ多ク兩者融和シテ耕地事業ヲ施行スル氣運ヲ醸成シツツアル状態ニアリ

今後採ルヘキ方策

事變ノ推移ト共ニ直接、間接ニ受クル農山村ノ經濟的及社會的影響モ益深刻化サルヲ以テ事變ノ永續ニ堪エシムルタメニハ銃後ノ生活ヲ安定ナラシメルヲ必要トスルヲ以テ時局ニ適應スル對策ヲ講シ指導ニ遺憾ナカラシメントス

- 一、用排水改良事業ノ促進ヲ期スルコト
- 本縣ハ地勢及土質ノ關係ニヨリ農業水利ハ用水、排水共ニ不良ナル地域多ク之カ根本的解決ハ本縣多年ノ懸案ナリシモ時局ニ際シ勞力缺乏ノ結果用排水路ノ管理十分ナラス此際特ニ其ノ整備ヲ痛感スルモノナリ即チ用排水路全般ニ亘ル改修計畫ヲ樹立シ、更ニ水田ノ床締ヲ施行シ用水ノ節約ヲ計リ、水掛ケニ要スル勞力ヲ減少セシムルハ最モ時宜ニ則シタル計畫ト謂フヘシ

二、耕地擴張事業ノ實施ヲ期スルコト

本縣ノ如キ食糧ノ自給ニ達セサル縣ニ於テハ統後生活ノ安定ヲ期スルタメ耕地擴張特ニ畑開墾ハ最モ必要ナル事業ニシテ併セテ金錢收入ノ減少ヲ補足セシメンカ爲縣從來ノ方針タル開墾事業ヲ實施セムトスルモノナリ即チ本縣ニ於テハ昭和十二年度ヨリ引續キ窮乏セル縣財政ノ内ヨリ特ニ小開墾ニ對スル補助豫算ヲ計上シ相當ノ畑開墾ヲ行ヒ政府ノ方針タル農産資源ノ開發並國際收支ノ改善ニ資セントスルモノナリ

長野縣

現況

本縣ニ於ケル耕地面積ハ昭和十二年末現在十七萬三千三百九十八町步(田七萬三千五百九十九町步 畑九萬九千八百町步)農家一戸當平均八反二畝步(田三反五畝步 畑四反七畝步)ニシテ全國平均一町八畝步ニ比較スルトキハ二反六畝步ノ過少ナリ而シテ最近六箇年ニ於ケル一箇年平均ノ耕地擴張面積七百三十二町步ニ對シ毎年道路、河川其ノ他ノ潰地トナルヘキモノ一箇年平均四百五十二町步ヲ算シ之ヲ控除スルトキハ僅カニ二百八十町步ノ増加ニ止マリ縣下五市三百八十箇町村ノ内食糧ノ自給不可能ノモノ五市二百七十七箇町村ノ多キニ達スルノ實情ニテ之カ補充ノ途ハ唯ニ耕地事業ノ施行ニ依リ生産ノ増殖ヲ圖ルニアリ

本縣ノ耕地擴張、改良見込地ハ七萬三千六百町步(擴張五萬三千六百町步 改良二萬町步)ニシテ昭和十三年四月末現在ニ於ケル耕地整理施行認可面積ハ二萬七千四百九十町步、此ノ地區數六百六十九箇所ニシテ豫定工事ノ完成セルモノ一萬一千四十町步、此ノ地區數四百四十一箇所ヲ算シ目下工事中ニ屬スルモノ百八十九箇所、此ノ地積一萬一千六百七十町步トス又開墾助成事業ハ耕地整理法ニ依リ認可ヲ受ケタルモノノ出願ニシテ此ノ出願面積五千五百町步、百七十五箇所ヲ算シ此ノ助成指令ヲ受ケタルモノ四千二百六十町步、百六十六箇所ナリ而シテ既ニ工事完了ノ面積三千八百町步ニ達シ目

下工事中ノモノ十七箇所、此ノ面積四百六十町步ニシテ豫定ノ進行ヲ見ツツアリ尙最近調査ニヨル出願見込ハ昭和十三年度三百九十九町步、四十八箇所、昭和十四年度六百六十町步、三十七箇所ニシテ更ニ各地企業計畫ノモノ頻出スルノ傾向ニアリ

用排水幹線改良事業ハ實施シタル事業ノ效果極メテ顯著ナル爲各所ニ之カ希望地區續出シ目下事業實施中ノモノ三箇所、此ノ受益地積四千四百町步、昭和十三年度着手トシテ本省ニ打合ノモノ七箇所、受益地積一萬六百町步ヲ算ス其ノ他暗渠排水事業又昭和十二年度ヨリ農林省ニ於テ助成策ヲ樹立セラレタル災害防止各種耕地事業ハ其ノ實績效果極メテ顯著ナル爲施行希望地續出スルモ助成事業費ノ配當少額ノ爲其ノ實施地區採擇ニ窮狀ヲ重ヌルノ實情ニアリ災害復舊耕地事業ハ昭和十一年迄ノ災害地ハ殆ト其ノ事業ヲ完成シ前年ニ於ケル水害地ノ復舊事業ハ政府ノ助成事業費少額ノ爲已ム無ク最モ被害激甚地ノミニ付キ其ノ事業費ヲ配當シ目下銳意事業ノ進行中ニ屬ス

如斯ニシテ現下非常時局ニ於ケル農村ハ先以テ經濟強化ヲ圖ルヲ以テ最モ緊要事トシ其ノ根幹トスル耕地事業ヲ實施スルノ策ハ各地一層濃厚ニシテ殊ニ本縣農村ハ養蠶偏重ヨリ多角形農業經營ニ進ミ農家食糧ノ自給自足ヲ畫シ桑園ノ水田化、林野ノ開墾等耕地ノ擴張ニ一段ノ意ヲ注キツツアリ

今後採ルヘキ方策

耕地事業ノ現況前述ノ如クニシテ非常時局ニ處スル農村對策トシ農業ノ基調トスル耕地ノ擴張、改良事業ノ施行ニ依リ恒久的農業勞力不足ノ緩和ト生産ノ擴充ヲ計リ以テ其ノ經濟強化ニ資スルハ極メテ緊急事ナルヲ以テ整備完カラサル既耕地改良策トシ

一、區劃ノ整理ヲ施行シ灌溉、排水組織ノ是正

二、暗渠排水事業ノ施行

三、五百町步未滿ノ灌溉、排水組織不良地ノ幹線ニシテ從來實施困難ニアルモノノ縣營施行

四、災害防止各種耕地事業ノ施行

又耕地擴張策トシテ容易ニ水利ヲ得ラルル桑園其ノ他ノ畑ヨリ地目變換ニヨリ水田ヲ造成セシムルト共ニ開墾適地ノ開發ニ傾注セムトス然リト雖本縣農村ハ曾テ經濟界ノ大恐慌ト養蠶業ノ不振ニヨリ極度ニ貧窮シ今ヤ其ノ更生途上ニアリテ自力ノミニテハ事業ノ實施困難ナルモノ尠ナカラサルヲ以テ政府ヨリ特別ノ助成又ハ縣ノ補助等ニ依リ事業ノ達成ヲ計ラントス而シテ之等ノ事業施行ニ付テハ出來得ル限り國ノ助成ト縣ノ設備擴張ニ依リ財務的將又事務的ニ一段ノ指導監督ヲ行ヒ工事完了後ノ事務ハ縣耕地協會ト連絡ヲ執リ其ノ速進ヲ計ラントス

岐 阜 縣

現 況

本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ヲ推蔽スルニ大様之ヲ三大別ト爲スコトヲ得ヘシ即チ平坦部地方ニ於ケル用排水幹線改良事業ト之ニ從屬スル耕地整理並用排水支線改良事業、山岳部地方ニ於ケル開墾助成ニヨル開墾ヲ主目的トスル耕地整理事業及全縣下ヲ通シテ行ハルル小設備(農用公共ヲ含ム)、小開墾、暗渠排水、床締客土事業之ナリ而シテ用排水幹線改良、開墾助成、小設備並小開墾ノ各事業ハ何レモ本縣耕地事業ノ主流ヲナスモノニシテ其ノ實施カ地方農山村ノ振興發展上寄與シタル處極メテ顯著ナルモノアルハ多言ヲ要セサル處ナリ昨年七月日支事變勃發以來本縣ヨリモ多數ノ應召將士ヲ送り地方農山村ニ於ケル精神上、經濟上異常ノ衝動ヲ來シタル結果耕地事業ニ對シテモ相當ナル反響ヲ與ヘタルハ蓋シ想像ニ難タカラサルヘシト雖本縣ニ於ケル特殊事情ハ必シモ然ラス特ニ用排水幹線改良、同支線改良、開墾助成、小設備及小開墾等ノ各事業ハ依然トシテ其ノ要益益多キヲ加ヘツツアル狀況ナリ特ニ事變ニ伴フ農山村勞力補給ノ見地ヨリスル農道ノ整備、樋管、樋門、堰埭、用排水路等公共施設ノ新設、改良並農産資源開發ヲ目的トスル開墾事業等ノ實施ヲ希フモノ陸續トシテ相亞キ之カ收拾ニ極メテ困難ヲ感スルノ實狀ニシテ本縣耕地政策上一

考ヲ要スヘキ重要事項ナリト謂ハサルヘカラス

今後採ルヘキ方策

現況ニ於テ説述セル通本縣ニ於ケル耕地事業ハ累年隆盛ニ趣キ特ニ今次事變下ニ於テ尙且大ナル反響ヲ蒙ラサルハ洵ニ故アルト謂フヘク即チ農林業ヲ以テ主要産業トスル本縣ニ在リテハ耕地事業ノ如キ最モ重要問題ニシテ之カ消長ハ直ニ本縣農家ノ休戚ニ關スルト謂フモ敢テ憚カラス特ニ銃後農山村ノ完壁ヲ期スル上ヨリスルモ當然ノ事象ナリト謂ハサルヘカラス

惟ニ農業經營ノ根幹ヲナス耕地ノ擴張、用排水施設ノ確立、交通運搬設備ノ統制等所謂耕地問題ノ解決ノ如キハ眞ニ緊要缺クヘカラサル重要案件ニシテ特ニ耕地ニ惠マレサル(農家一戸當耕作反別七反四畝步餘)或ハ用排水其ノ他施設ノ改良ヲ要スルモノ尠ナカラサル(要改良地積ハ全耕地地積十萬八千餘町步ノ約四割以上ニ達ス)本縣ニ在リテハ最モ其ノ必要ヲ痛感スル處ナルヲ以テ今後採ルヘキ方策トシテ大要次ノ各項ニ據ラントスル方針ナリ

- 一、用排水幹線改良事業ニ關シテハ速ニ計畫ヲ樹立シ縣營ヲ以テ實施スルコト
- 二、開墾助成事業ハ可及其ノ實施ニ努力シ且事業施行上十分ナル指導監督ヲ怠ラサルコト
- 三、小設備、小開墾、暗渠排水、用排水支幹線改良事業等ハ地方ノ要望ニ合致シ最モ緊要ノモノタルニ鑑ミ引續キ其ノ施設並督勵ヲ期スルコト

四、今事變下新ニ創成セラレタル農産資源開發開墾事業及移動式小型揚水機補助施設ハ最モ好適且重要ノモノタルニ鑑ミ可及多數其ノ實現ニ努力シ以テ所期ノ目的遂行ニ協力スルコト

靜 岡 縣

現 況

一、耕地ノ擴張

本縣ノ耕地ハ田六萬八百六十一町五反步、畑七萬一千六百八十四町七反步、計十三萬二千五百四十六町二反步ニシテ本縣農家戸數十六萬三千九十戸ヲ以テスレハ一戸當耕作反別僅カニ八反一畝步ニ過キス之ヲ全國平均反別ニ比シ遠ク及ハサルノミナラス近時工業ノ勃興ハ耕地ノ潰廢著シキモノアリテ產米ハ人口二百萬ノ需要ヲ滿スニ足ラス年々五十餘萬石ノ移入ヲ要スルノ状態ニアリ故ニ食糧ノ自給自足ヲ目途トシ國策ニ順應シ耕地ノ擴張改良ニ常ニ努力ヲ怠ラス特ニ開墾ノ獎勵ニ盡シタル結果企畫經營スルモノ漸ク増加シ開墾見込面積一萬六千三百二十七町步ノ中間墾助成法ニ依リ施行中ノモノ現在地區數百三十八地區、其ノ面積一千九百七十六町步ニ達ス開墾見込地中大集團ヲ爲スモノハ三方原四千町步、小笠郡南部海岸砂地二千町步、富士並愛鷹山麓及浮島沼開發ノ三千二百町步、田方郡先原三里五百町步等アリ何レモ大事業ニシテ未タ起業ヲ見サルモ近時頗ニ開墾熱ヲ加ヘ起業ノ勃興ヲ促シタルハ誠ニ喜フヘキ事象ト云フヘシ

二、耕地ノ改良

普通耕地整理ノ施行認可ヲ得タル地區數六百十三、此ノ面積二萬五千五百七十九町步、現在地區數三百五十八、此ノ面積一萬六千五百十町步ニシテ着々事業ノ進捗ヲ見ツツアリ

用排水幹線改良事業ニ付テハ既ニ事業完了セルモノ九線、目下施行中ノモノ四線アリ是等事業費總額六百萬五千二百五十六圓ニシテ關係面積一萬一千五百七十九町步ニ達シタリ何レモ圓滿ナル事業ノ進捗ヲ見ツツアリ尙既ニ縣會ヲ通過シ本年度ヨリ國庫ノ助成ヲ受ケ着手スヘキモノニ辨財天川沿岸排水幹線改良事業アリ此カ事業費四十九萬九千圓、關係地積二千町步ナリ目下本省ニ國庫助成ノ採擇申請中ナリ

以上ノ外ニ五百町步以上ノ受益地積ヲ有シ事業施行ノ要アルモノ十一線、此ノ關係面積七千八百九十六町步ニシテ之カ實施ヲ熱望シツツアルヲ以テ國庫助成ヲ仰キ逐次施行セントスサレハ用排水幹線改良事業ハ將來相當進展ヲ見

ルモノト豫想セラル

暗渠排水事業ハ昭和七年度ヨリ獎勵ニ當リツツアリテ之カ施行済面積百四十七町一反步ニ及ヒ其ノ成績頗ル良好ニシテ年々平均三割ノ增收ヲ見ツツアリ尙管下水田中暗渠排水工事實施ニ依リ完全ニ二毛作田トナシ且ツ增收ヲ計ラルヘキ面積六千五百町步ニシテ差當リ實施ヲ要望シツツアルモノ一千町步アリ是カ改良ハ刻下農村對策中ノ最モ重要ナルモノト認メラル

旱害救済床締工事ハ昭和八、九年ノ兩度ノ旱害甚大ニシテ管内各地ニ無收穫地ヲ現出シタルノミナラス富士、駿東、田方ノ各郡下ハ關東、豆相ノ兩度ノ震災ノ影響ヲ蒙リ地下水ニ異變ヲ生シ湧水減少シ來リ被害ハ其ノ極ニ達シタルヲ以テ之カ對策ノ一トシテ水田床締工ノ施行ヲナス事トシ緊急施行ヲ要スト認ムヘキモノ一千五百町步ニ對シ目下床締機二機ヲ以テ漸次施行中ナリ其ノ成績極メテ良好ニシテ年々二割ノ增收ヲ見ツツアルヲ以テ之カ實施ヲ要望シツツアリ

農用公共施設改良事業ハ近時災害ノ頻發ニ鑑ミ之カ被害ヲ未然ニ防止スルノ趣旨ニ依リ國策ニ順應シ施行中ノモノニシテ溜池、水路、井堰等ノ新設改良ヲナシツツアルモ其ノ成績極メテ良好ニテ何レモ所期ノ效果ヲ得ツツアリテ之カ實施ヲ要望スルモノ切ナルモノアレハ將來益本事業ノ擴充ノ要アリト認ム

災害復舊耕地事業ハ昭和十二年七月中旬管内ニ近年稀ナル豪雨アリ耕地及公共施設被害額實ニ百九十餘萬圓ニシテ此ニ對シテ縣ハ早速復舊計畫ヲ樹立國庫助成ヲ申請シ之カ採擇ヲ得昭和十二、十三兩年度ヲ以テ夫々復舊事業ニ邁進シツツアリテ昭和十二年度分ハ既ニ所期ノ通完成シ目下昭和十三年度復舊ニ勉メツツアリ

今後採ルヘキ方策

一、開墾事業

縣内開墾見込地中一萬町步ヲ選ヒ内開畑九千町步、開田一千町步、總事業費六百五十萬圓ヲ國庫ノ助成ヲ受ケ完成

ヲ期セントス而シテ本事業ハ自作農地創設ヲ加味シ居ルハ勿論農産資源開發ニ重點ヲ置キ獎勵セントス

二、普通耕地整理事業

耕地整理ヲ要スヘキ田地一萬五千町歩ニシテ此ノ所事業費九百萬圓ニ達スルモ國庫助成中止ニヨリ從來ノ計畫通
施行スルヲ得ス爲ニ縣財政ヲ按配シ豫算ヲ計上シ得タル範圍ニ於テ工事費ニ對シ三分ノ一補助ヲ爲シ逐次完成ヲ期
セントス

依而政府ハ土地改良費ニ對スル補助ヲ復活シ増額交付セラレンコトヲ望ム

三、用排水幹線改良事業

本縣用排水幹線改良豫定地區ハ今尙十一地區、關係面積七千八百九十六町歩ニシテ之カ改良費見込三百八十五萬九
千圓ニ達ス、依而縣財政ヲ按配シ國庫ノ助成ヲ受ケ逐次事業ノ完成ヲ期セムトスルモノニシテ本事業ノ完成ハ農村
一、振興上ハ勿論國力ノ維持、培養ニ至大ノ影響アルヲ以テ將來之カ完璧ヲ期スルノ要切ナルモノアリト認ム

四、暗渠排水事業

暗渠排水事業ノ緊要ナル地積六千五百町歩、内差當リ施行ヲ要スヘキモノハ一千町歩ニシテ此カ事業費二十五萬圓
ニ達ス此亦國庫ノ助成ヲ受ケ完成ヲ期セントス

五、田地床締工事

床締ノ緊急施行ヲ要スルモノ一千五百町歩ニ對シテハ既ニ四箇年計畫ヲ樹立シ目下施行中ナルモ其ノ施行時期カ田
地休閑期ニ限ラルル爲極度ニ制限サレ居リ豫期ノ成績ヲ舉クルコト能ハサルノ狀況ニアリ故ニ將來運轉能率ノ増進
ト施行地ノ裏作休止ノ方法ヲ論スル等ニ依リ速カニ之カ完成ヲ期セントス

六、農用公共施設改良事業

農業水利ノ完璧ヲ期シ災害ヲ未然ニ防止シ農業經營ノ不安ヲ一掃スル爲管下ニ於ケル是等施設ノ改良ヲ要スル關係

地積六萬一千八百餘町歩、總事業費概算九千二百萬圓ニシテ其ノ内特ニ緊急改良ヲ要スト認ムヘキモノハ八千三百
九十五町五反餘歩之カ工事費四十四萬二千二百圓ニシテ既ニ昭和十二年度ニ於テ事業費二萬九千圓ニ對スル國庫助
成ヲ得施行シタル所其ノ成績極メテ良好ナリ故ニ本年度ニ於テモ引續キ施行ノ見込ニテ目下本省ニ對シ之カ補助申
請中ナリ本事業施行ハ關係地區ヨリ熱望シツツアル實情ナルヲ以テ將來愈々擴充スルノ要アリト認ム

愛知縣

現況

時局下ニ於ケル本縣ノ耕地事業ヲ達觀スルニ耕地ハ年々漸減ノ趨勢ヲ辿リツツアルニ加ヘテ最近時局施設ノ爲潰地ト
ナルモノアリ漸減愈々其ノ度ヲ加ヘツツアリ耕地ノ減退ハ生産力維持擴充ノ爲洵ニ憂慮スヘキ現象ナリトス
更ニ事業ノ環境ヲ觀ルニ物資需給關係ニ在リテハ鐵類及油類等ノ使用制限及價額ノ騰貴セルアリ、資金關係ニ在リテ
ハ時局上ノ金融ヲ顧慮シ資金準備容易ナラサルモノアリ爲ニ事業ヲ繰延着工ヲ延期シ其ノ他計畫ノ内容ヲ改メサルヘ
カラサルニ至リタルモノアリ、而シテ努力關係ニ在リテハ青壯年者ノ應召ノ爲ニ理論的ニハ努力ノ減少ヲ來シ居ルモ
銃後總動員ノ精神の緊張ニ依テ顯著ナル影響ヲ認メ難シ

目下本縣ニ於ケル耕地事業ハ耕地整理、開墾助成、用排水改良、農用公共施設助成、暗渠排水助成、災害復舊、自作
農創設、小型揚水機施設助成、資源開發開墾助成等ノ事業ヲ行ヒツツアルカ事業ハ概シテ豫定ニ從ヒ進捗シ新企業亦
常態ノ發展ヲ見ツツアリ

今後採ルヘキ方策

兵農兩全ハ我國ノ國是ニシテ今回支那事變ノ勃發ニ會フモ食糧問題ニ關スル限り敢テ大ナル顧慮ヲ要セサル所以ハ之

我國カ常ニ耕地ノ擴張改良ニ依リ生産ノ増加ヲ圖リタル結果ニ外ナラス而シテ時局ハ愈々本格的長期戰ニ入ルニ及ヒ
 銃後生産力ノ擴充、軍需品ノ供給其ノ他農村強化ノ要愈々切ナルモノアリ而シテ耕地事業ノ如キ是等ノ根幹ヲナスモ
 ノハ大ニ之カ進展ヲ計ルノ要アリ此際國家ハ耕地事業ノ助成獎勵策ノ全面的擴充強化ヲ圖ルト共ニ道府縣及農村ヨリ
 一ドシ舉國一致耕地事業ノ進展ニ邁進セシムルノ方策ヲ採ルヲ必要トス

三 重 縣

現 況

本縣ニ於ケル耕地面積ハ田七萬一千八百二十五町步、畑三萬二千二百六十九町步、計十萬四千九十四町步、土地總面
 積五十七萬四千九百五十八町步ニ對シ僅カニ一割八分ニ過キス農家戸數ハ十萬五千十五戸、縣下總戸數ノ四割四分五
 厘ヲ占メ一戸當耕地田六反八畝步、畑三反步、合計九反八畝步ヲ耕作シツツアリ、縣ハ政府ノ施設ト相俟テ明治三十三年
 以來耕地ノ改良並擴張ニ關シ銳意之カ普及發達ニ努メタルモ近時道路、河川、鐵道、工場等ノ敷地トシテ耕地ノ潰
 廢著シク開墾助成法其ノ他ノ獎勵施設ヲ講セラルルモ尙耕地面積ハ逐年減少ノ趨勢ニ在リ又最近時局ノ影響ヲ蒙リ耕
 地ノ潰廢殊ニ著シキ現況ニ鑑ミ之カ對策ヲ講スルハ現下喫緊ノ急務タリト信ス爾テ事業下耕地事業所要物資ノ需給關
 係ヲ見ルニ事變動發以來一般物價ノ昇騰ニ伴ヒ事業ニ要スル各種資材ハ漸次騰貴ヲ示セルノミナラス時ニ入手難ニ陷
 リ一面數次ノ應召並各種工業ヘノ出稼等ニ依リ農山村ハ中堅勞働者ヲ失フモノ少カラス爲ニ既定事業ノ遂行ニ付テハ
 一時憂慮スヘキ状態ニ在リシモ縣ハ國策ニ順ヒ既定事業ノ實施ニ關シテ再檢討ヲ加ヘ時局ニ對應シ適切ナル計畫變更
 ヲ爲ス等所期ノ目的達成ニ遺憾無キヲ期シ又農村ニ於ケル勞力不足ニ對シテモ政府ノ應急施設ト呼應シ勸勞奉仕班ノ
 活動、農業經營方法ノ合理化ヲ促シ農繁期ニ於ケル農業勞働力ノ不足緩和ヲ計リタル結果今日迄ニ農業經營上何等支
 障ヲ來ササリシハ勿論一面農村民ハ一致團結國民精神總動員ノ趣旨ニ則リ益時局ノ認識ヲ新ニシ隣保共助、減私奉公

ノ精神ヲ堅持シテ進テ農村ノ振興、國力ノ充實ニ貢獻シ以テ銃後農村ノ責務ヲ果スヘキ決意ヲ示シ農村ノ活動洵ニ見
 ルヘキモノアリ

斯クノ如キ農民精神ノ發露ニ伴ヒ一時憂慮セラレタル耕地事業ノ如キモ豫定計畫ノ實施上甚シキ蹉跌ヲ來スコトナク
 昭和十二年度事業ニ於テモ豫定ノ通完了ヲ告ケ概シテ良好ナル成績ヲ收ムルニ至リ本年度各種事業モ着々進捗ヲ見ツ
 ツアルノ實狀ナリ

而シテ現下ノ國情ニ鑑ミ生産力ノ擴充、強化ヲ計ルハ今後ノ時局ニ處スル農村ノ重大使命タリトノ自覺ハ愈々農民ノ
 間ニ深マリ農業生産力ノ維持増進、資源ノ開發等ヲ目的トスル耕地事業施行ノ要望日ヲ逐テ續出ノ傾向ニ在リ今各種
 耕地事業ノ施行狀況ヲ詳記スレハ次ノ如シ

一、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十四年以來之カ勸奨ニ努メ昭和十三年四月末現在認可地區數四百六十一、其ノ
 地積二萬五千五百三十七町步ヲ算ス而シテ此ノ内工事完了地區數二百六十二、地積一萬五千一百一十町步ヲ差引ク時ハ殘
 存事業トシテ尙地區數百九十九、其ノ地積一萬五千四百八十六町步ニ及フ然レトモ縣下耕地總地積十萬四千餘町步
 ニ比スレハ整理ニ着手セル地積ハ僅カニ二割四分ニシテ前途尙遑速ナリ今後改良ヲ要スヘキ耕地ハ約四萬町步ノ見
 込ニシテ益本事業獎勵ノ要アルモノト認メ昭和十三年度ニ於テハ特殊工事補助金トシテ縣費二萬圓ノ豫算ヲ計上セ
 リ

二、開墾事業

開墾助成法施行以來昭和十三年四月末現在指令累計地區數九十二、面積二千二百八十町步ニ達ス其ノ他小開墾、農
 山村經濟更生計畫等ニ於テ極力末墾地開發ノ獎勵ヲナセリト雖未タ年々道路、鐵道、河川、宅地、工場等ノ敷地ト
 シテ潰廢セララルルモノ多ク耕地地積ハ年ト共ニ縮少ノ趨勢ニ在リ今最近十箇年間（昭和十一年末現在）ニ於ケル移
 動狀況ヲ見ルニ田ニ於テハ二千二百六十町步ヲ減シ、畑ニ於テハ二千七百七十一町步ヲ増加セルモ合計ニ於テ八十九

町歩ヲ減少セリ尙時局ノ影響ニ依リ從來通利用シ得サルニ至リタル耕地ハ百七十三町歩近ク、利用シ得サルニ至ル見込ノモノ三百二十二町歩ノ多キニ達シ之カ對策ニ關シテハ目下銳意考究中ナルモ今後政府ノ助成ニ俟ツトコロ極メテ大ナリ

一方縣下ニ於ケル耕地擴張見込地積ハ尙一萬五餘町歩ヲ存シ之等ハ土地概ネ豐沃ニシテ各種農作物ノ栽培ニ適スルノミナラス交通ノ便良好ナル平坦部ニ於テ相當集團的ニ存置セラルルモノ少ナカラサルヲ以テ今後水源ニ關スル施設ヲ講シ以テ之カ開發利用ニ力ヲ致サントス

尙前記ノ外本縣ニ於テハ皇紀二千六百年記念事業トシテ縣下十萬ノ青年團員ヲ動員シ「青年勤勞報國運動」ヲ提唱シ青年ノ勤勞奉仕ニヨリ縣下ノ開墾熱ノ培養ト勤勞精神ノ涵養及産業立國ノ實ヲ舉ケントシ縣下普ク開墾ヲ實行セシメタル結果昭和十二年度末現在實施箇所數六百七十五、其ノ地積二百三十五町歩ニ及ヘリ

三、自作農耕地開發事業

本縣農家戸數ハ十萬五千五百五十五戸ニシテ内自作農三割五分、小作一割九分、自作兼小作四割六分ナリ土地ノ分配極メテ不均衡ニシテ且他町村居住者ノ所有ニ屬スル農耕地多キ實情ニ鑑ミ大正十三年以來自作農創立維持事業ヲ實施シ小作爭議ノ防止ニ努メ農家ノ生活ヲ安定セシメ以テ農村ノ健實ナル發達ヲ期シツツアリ然レトモ固ヨリ耕地面積狹小ナル本縣ニ於テ自作農創成ノ完璧ヲ期センニハ既耕地ノ分配是正ノ外未墾地ノ開發ニ俟タサルヘカラサルモノ亦尠ナカラス縣ハ昭和十二年度ニ於テ政府ノ方針ニ順應シ自作農創設未墾地開發地トシテ適當ト認メタルモノ十七町村ニ於テ個人開畑二十七町八反歩（關係人員百五十三）ヲ實施セシメ豫期以上ノ成績ヲ收ムルヲ得タリ、昭和十三年度ニ於テハ前年度ノ實績ニ徵シ三十三町村ニ於テ合計六十二町五反歩ノ個人開墾ヲ施行セシムルト共ニ尙新ニ村營ニ依ルモノ三十二町五反歩ノ開墾ヲ計畫シ縣ノ嚴重ナル指導監督ノ下ニ事業ノ圓滿ナル遂行ヲ計ラシメントスル豫定ナリ

四、農産資源開發開墾助成事業

本縣ニ於テハ燃料酒精タル甘藷百萬貫ノ増産ヲ目標トシ以テ燃料國策ノ遂行ニ資セントシ目下其ノ具體的計畫ヲ樹立シツツアルモ之カ實現ハ既耕地ノ利用ノミニテハ至難トスル處ニシテ新ニ相當面積ノ開畑ヲ必要トスル次第ナリ幸ニシテ農村ニ於テモ本計畫ノ實行ニ協力シ開畑ノ希望ヲ申出ツルモノ六百八十七地區、地積二百八十七町歩ヲ算スルニ至レリ

而シテ本事業ニ對スル國庫助成金ノ割當ハ僅カニ九千六百圓ニシテ地方ノ要望ヲ充スコト能ハサルモ縣ハ本施設ノ趣旨ヲ體シ出來得ル限り普遍的ニ施行セシムル爲縣下全般ヲ通シテ地區數七十四、地積五十町歩ヲ撰定シ極力事業ノ促進ヲ計ラントスル方針ナリ

五、開墾地移住獎勵

本縣ニ於ケル既往開墾地ノ多クハ山間僻陬ノ地ニ屬シ從テ之カ經營ヲ容易ナラシメ以テ開墾事業ノ效果ヲ期センニハ相當數ノ移住者ノ招致ヲ要スルヲ以テ縣ハ大正十年以降政府ノ施設ト相俟テ開墾地移住獎勵金交付ノ途ヲ拓キ昭和十二年末現在共同建造物一戸、二百二十八圓、移住家屋百十八戸、三萬四千三十二圓、計百十九戸、三萬四千二百六十圓ヲ交付セリ

然レトモ開墾助成地區中尙移住者ノ經營ニ俟タサルヘカラサルモノハ合計地積百十四町歩之ニ要スル移住家屋五十二戸アルモ政府ノ助成金額十分ナラスシテ之カ實現ヲ見ル能ハス爲ニ開墾地ノ利用完カラサルハ甚タ遺憾トスルトコロナリ

六、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ地理的事情ニ支配セラレ其ノ進捗遲々タルモノアリシモ昭和六年桑名郡長島村排水改良事業ノ實施セララルヤ其ノ實績ノ良好ナルニ刺戟セラレ昭和七年以來之カ實施ヲ要望スルモノ愈々多キヲ

加フルニ至レリ

縣ハ縣下耕地ノ水利狀況ニ付精密ナル調査ヲ行ヒ其ノ改良ノ急ヲ要スルモノヨリ順次實行ノ方針ヲトリ左記ノ通實施又ハ計畫ヲ完了セリ

事業名	受益地積	事業費	備考
桑名郡長島村排水改良事業	五三三町	三二、六一〇	工事完了
阿山郡河合村大正池支配地域用水改良事業	五四〇	一一、九四〇	同
桑名郡木曾岬村排水改良事業	五一〇	六二、〇〇〇	同
小計	一、五八三	二〇七、五五〇	
員辨池支配地域用水改良事業	八五〇	二一〇、〇〇〇	工事中
外城田川沿岸排水改良事業	一、三三四	一一〇、〇〇〇	同
河藝郡玉垣村用水改良事業	五一四	八〇、〇〇〇	同
一志郡小野江村外三箇村用水改良事業	八八五	九五、〇〇〇	同
小計	三、五八三	四九五、〇〇〇	
白江野用水改良事業	五五一	一五〇、〇〇〇	縣會決議済
一志郡雲出用水改良事業	九五五	一七〇、〇〇〇	同
堀坂池支配地域用水改良事業	五三二	二三〇、〇〇〇	同
一志郡南部用水改良事業	一、一二四	五七〇、〇〇〇	計畫中
小計	三、一六二	一、二二〇、〇〇〇	
合計	八、三二八	一、八二二、一一〇	

以上ノ外今後改良計畫ヲ樹立スヘキ豫定地區數十、受益總地積七千六百八十六町步、事業費豫算額二百二十九萬三千圓ノ見込ナリ

七、縣營埋立及開墾事業

昭和十年縣ハ桑名郡伊曾島村青鷺川ノ土地利用ニ着目シ之カ埋立ノ具體的計畫ヲ樹立シ事業ノ完璧ヲ期スル爲特ニ縣營ヲ以テ施行セリ其ノ地積十三町步、事業費七萬圓ヲ以テ昭和十一年度末其ノ竣功ヲ見タリ尙阿山郡壬生野村耕地整理組合開墾事業ニ於テモ工事ノ主要部分タル溜池ノ擴築並幹線水路工事ニ限り特ニ縣營事業トシテ施行スルコトトシ事業費二十七萬圓（關係地積五百八十町步）ヲ以テ昭和十一年度ニ於テ着工シ目下工事中ナリ

八、風水害復舊事業

昭和九年度以來風水害ノ復舊ニ對シテハ其ノ都度國庫ノ助成ヲ仰キ極力事業ノ促進ヲ計リ生産力ノ減退防止ニ努メタル結果其ノ成績見ルヘキモノアリ農家經濟ノ窮迫ヲ緩和シ農村ノ振興上多大ノ效果ヲ齎シタリ而シテ昭和九年以來四箇年間ニ於ケル災害復舊事業トシテ本省ノ承認ヲ經タルモノ左ノ如シ

種別	被害年次	昭和九年	同十年	同十一年	同十二年	計
耕地復舊		一二、四四二	一八、八九七	一一、一七八	一一、四三〇	五三、九四七
公共施設復舊		四七四、六九五	三七三、七〇八	三四六、八三七	二〇一、六〇〇	一、三九六、八四〇
計		四八七、一三七	三九二、六〇五	三五八、〇一五	二一三、〇三〇	一、四五〇、七八七

右ノ内昭和十三年度事業トシテ施行スヘキモノハ公共施設復舊事業トシテ三十四萬八千五百八十八圓ニ達ス之カ事業實施ニ關シテハ一層指導監督ヲ嚴ニシ鋭意工事ノ進捗ヲ計ラントス

九、農用公共施設新設改良事業

昭和十一年五月縣下全般ニ亙リ災害ヲ未然ニ防止スルノ目的ヲ以テ改良ノ急施ヲ要スル農用公共施設ニ付調査シタルニ溜池、井堰、水路、農道、樋管、樋門等ノ改良事業費總額六百三十二萬三千八百八十二圓ヲ必要トスル結果ヲ

得タリ今溜池ノミニ付詳記セハ總數九千三百四十箇所、關係地積二萬六千六百六十四町步ニシテ此ノ内緊急改良ヲ要スルモノ四千九百十六箇所、其ノ灌溉地積一萬二千三百二町步ニ及ヘルヲ確認シ災害防止事業ノ愈々緊切缺クヘカラサルヲ痛感スルニ至レリ偶々政府ニ於テ本事業ニ對スル補助金交付ノ制度ヲ設ケラルルヤ昭和十二年度ニ於テ十一地區、事業費二萬九千圓ヲ配當セラレ、昭和十三年度ニ於テ更ニ八地區、事業費二萬九千圓ヲ承認セラレタルヲ以テ速ニ事業開始ノ準備ヲ爲シ豫定事業ノ遂行上遺憾ナカラシメントス

尙縣ハ本事業ノ重要性ト地方民ノ要望ヲ參酌シ昭和十三年度ハ縣單獨ニ於テ事業費二萬圓ニ對スル補助豫算ヲ計上シ益本事業ノ進展ニ意ヲ注キ以テ災害ノ防止ニ萬全ヲ期セントス

十、暗渠排水、床締、客土事業

暗渠排水事業ハ昭和七年以來政府ノ助成ヲ受ケ極力之カ勸奨ニ努メタル結果昭和十二年度末ニ於テ其ノ施行地區數五十七、地積百七町步ノ成績ヲ見ルニ至レルモ尙今後ニ於テ施行ヲ要スルモノ一千二百五十七町步ヲ算ス

床締事業ハ昭和十二年度ニ於テ二地區、十三町步ヲ施行セルノミニテ今後六百九十町步ノ施行ヲ要シ客土事業ハ同シク昭和十二年度一地區、三町步ヲ實施シ其ノ效果甚大ナルモ今後ノ施行ニ俟ツモノ尙五百八十町步アリ猶縣ハ床締事業ノ遅々タル現狀ニ鑑ミ之カ普及獎勵ノ爲本年度ニ於テ國庫ノ補助ヲ得テ牽引機一臺設置ノ計畫ニテ新ニ豫算ヲ計上セリ

十一、其ノ他

農村ニ於ケル勞力ノ補填ヲ圖ル目的ヲ以テ移動式小型揚水機ノ共同施設ニ對シ國庫補助金ノ配當アリタルモ昭和十二年度分ハ之ヲ其ノ儘翌年度ニ繰越シ昭和十三年度ニ於テ灌溉期迄ニ計八臺ヲ設置セシムル豫定ニシテ目下夫々工事中ナリ

尙河水統制調査ハ昭和十二年度ヨリ本省ニ於テ開始セラレタル處ナルモ縣モ亦昭和十三年度ヨリ所要經費ヲ計上シ

縣下重要河川ニ付逐次精密ナル調査ヲ遂ケ農業用水源ノ確立ヲ期セントシ本年度ニ於テ最モ主要ナル二河川ノ調査ニ着手セリ

今後採ルヘキ方策

推フニ農村ハ國民主要食糧ノ給源、國家戰鬪力ノ根源タリ農業ノ盛衰ハ直ニ國運ノ消長ニ反映スルモノニシテ農村ノ興隆ヲ計リ農民生活ヲ安定セシムルト共ニ一面積極的ニ農業生産力ノ擴充ヲ期スルハ廣義國防ノ充實上現下喫緊ノ要務タルハ敢テ多言ヲ要セサルナリ近時農業經營ノ根幹タル耕地ニ對スル政策カ特ニ各方面ヨリ論議セラレタル所以ノモノハ實ニ如上ノ國家究極ノ目的遂行ヲ憂慮シタルニ外ナラス國家有事ノ今日ニ於テ耕地事業ノ使命ハ愈々重且大ヲ加ヘ國家ノ耕地行政モ必然的ニ再檢討ヲ促サレ茲ニ劃期的政策ノ樹立ヲ必要トスルニ至レリ

爾テ我國耕地擴張改良事業ノ現況ヲ見ルニ多年實施シ來レル政府ノ各種獎勵施設ニ依リ其ノ實績ノ見ルヘキモノ少ナカラスト雖從來其ノ政策ハ極メテ簡別斷片的ニ失シ一貫セル根本方針ノ樹立無カリシヲ遺憾トス政府ハ耕地事業ノ重要性ニ鑑ミ今次事變ヲ機トシ耕地ニ關スル諸般ノ施設ヲ綜合統制シ國家的見地ニ於テ恒久的耕地政策ヲ確立シ速カニ之カ實行ヲ期シ以テ農村永遠ノ隆昌ト國力ノ維持増進ニ資セラレンコトヲ要望ス

一、耕地行政機關ノ擴大強化

一、農業土木試驗機關ノ設置

一、河水統制計畫ノ促進

一、農業水利法ノ制定

一、農村計畫ニ關スル基本調査

滋賀縣

現況

本縣ニ於ケル耕地面積ハ昭和十二年末現在ニ於テ田六萬八千七百七反歩、畑一萬三千八百八十一町八反歩、計七萬八千三百八十九町五反歩ニシテ全耕地面積ニ對スル田面積ハ八割七分ニ當リ本縣ニ於ケル農業經營ノ水田ニ偏スルノ特殊性ヲ見ル農家一戸當耕作反別ハ田七反八畝歩、畑一反二畝歩、計九反歩ヲ示ス

耕地面積ノ變遷ハ年々減少ノ一途ヲ辿リ平均年一百町歩ハ各種工場敷地、河川、道路敷地其ノ他ノ爲ニ潰地トナル右ノ如ク耕地ノ大部分ハ水田ナルニヨリ農業水利ノ改良ヲ目的トスル耕地改良事業ハ頗ル熾烈ナルモノアリ殊ニ水量豐富ナル琵琶湖ヲ水源トセルモノハ至テ僅少ニシテ大部分ハ琵琶湖ニ注ク各河川ヲ水源トスルモノニシテ何レモ夏季洪水ニ際シ多大ノ勞費ヲ要シ且舊藩時代ノ因習ヲ固守スル爲水利ノ紛爭其ノ跡ヲ斷タス根本的ナル耕地改良ノ施行ニヨリ之ヲ改善セントスル氣運ハ縣ノ指導ト相俟チ近年頓ニ旺盛ナルモノアリ

一面耕地價格ノ高キコト全國稀ニ見ル處ニシテ爲ニ開墾事業ハ工事費ノ如何ニ拘ラス頗ル熱望スル處ニシテ自力ニテ相當高價ナル工費ニ堪ヘ之ヲ完成セシムルモノ多クアリ昭和七年以降時局匡救事業ノ施行次テ昭和九年度風水害、昭和十年度旱害並水害、昭和十一年度雪害等ノ補助事業實施ニヨリ開墾、耕地改良事業共著シキ進歩ヲ示シ今ヤ縣下各町村共耕地ノ擴張改良事業ノ眞髓ヲ理解シ農村更生ハ之ヲ置キテ他ナキノ概アリ經濟更生特別助成事業ニ於テ耕地事業ハソノ大半ヲ占ムルヲ見テモ其ノ一斑ヲ知ル

一、耕地整理事業

昭和十二年末現在ニ於テ

認可地區數

三七〇

地積

一八、四六一町歩

工事完了地區數	一七一	地積	七、二二九町歩
換地處分濟地區數	一三一	地積	四、二四三町歩
事業完了地區數	七二	地積	三、〇〇〇町歩

耕地整理認可地積一萬八千四百六十一町歩ハ本縣耕地ノ二割四分ニ當ル

大正十五年ヲ契機トシソレ以前ニ於テハ縣下ニ於ケル耕地整理事業ハ大體ソノ事業費、地積、地區數共並行的ニ漸増ノ状態ナリシモノノ以後ニ於テ地區數ノ増加ニ比シ事業費、地積ハ頓ニ増大シ比較的大地區集團整理ノ傾向ヲ示ス昭和七年以後ニ於テ著シク本事業ノ増加セルハ匡救事業ソノ他各種災害事業施行ニヨリソノ氣運ヲ醸成セシニヨルモノトス

二、開墾助成事業

助成指令地區數 四四

地積

一、九二二町歩

開田 二、八九三町歩
開畑 二八町歩

ナルモ現在用水不足ノ爲平坦地ニ山林、原野ノ集團的ニ點在セルモノ多ク之等ハ適當ノ水源造成ニヨリ簡易ニ開發セラルヘキモノニシテ水田ノ價值大ナル本縣ニ於テ工場誘致等ニ依ル潰地復舊トシテ之カ開墾ハ當然考慮セラルヘキ重大事項ナリ

三、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル耕地ノ大部分ハ水田ニシテ多量ノ用水ヲ要スルニ不拘ソノ水源タル各河川ハ夏季洪水期一滴ノ流水モ見サルモノ多キ狀況ナリ琵琶湖ヲ利用シ得ルハ湖岸ノ僅少部分ニシテ大部分ハ河川ノ伏流水、地下水ヲ利用シツツアルモ年々ソノ量ヲ減シ用水取入ニ關シテハ農民ハ何レモ必死ニシテ不祥事ノ惹起連年ナリ本事業ノ施行ハソノ根本對策ニシテ農家永遠ノ福祉タリ今後益ソノ要望熾ナルモノアラン

(一) 事業竣功及工事中ノモノ

事業名	目的	主要工事	事業施行年度	受益地積	事業費	備考
童子川沿岸農業水利改良事業	用水改良	揚水機	自昭和四年度	五四〇〇 _町	六六、四〇〇 _円	竣工
葉山村外一箇村	同	頭首工	自昭和八年度	五〇五〇	三六、五〇〇	同
大上川沿岸	同	溜池、頭首工	自昭和七年度	一、一〇〇〇	一、三九六、二六〇	工事中
新川沿岸	同	水路改修	自昭和十年度	九四九・五	二四〇、〇〇〇	同
野洲川沿岸	同	堰排水路改修	自昭和十年度	三、九六〇・〇	二、一〇〇、〇〇〇	同
計(五箇所)		溜池	自昭和八年度	七、〇五四・五	三、八三九、一六〇	

(二) 政府ト協議中ノモノ

事業名	目的	主要工事	事業施行年度	受益面積	事業費	備考
芹川沿岸農業水利改良事業	用水改良	溜池	自昭和十三年度	六六四・〇	三五〇、〇〇〇 _円	
余呉川沿岸第一期	排水改良	排水路改修	自昭和十三年度	一、九六〇・〇	二七〇、〇〇〇	
計(二箇所)			自昭和十五年	二、六二四・〇	五二〇、〇〇〇	

(三) 施行見込地

區分	地區數	受益面積	事業費	備考
計畫完成セルモノ	二	三、八〇〇 _町	五、八〇〇、〇〇〇 _円	姉川、愛知川農業水利改良事業

計畫中ノモノ	見込地	計畫	見込地	計畫
二	一五	一九	四、一六〇	一二、三五〇
			一、二四〇、〇〇〇	二〇、三一〇

余呉川沿岸第二期、瀬田町外二箇村農業水利改良事業

四、農用公共施設改良事業

近時災害ノ頻發ニ鑑ミ之カ被害ヲ未然ニ防止スルノ趣旨ヲ以テ溜池、井堰、水路等ノ農用公共施設ノ新設改良事業ヲ施行スルモノニ對シ昭和十二年度ヨリ國庫助成金ヲ交付セラルルコトナリタルハ最モ時機ニ適合セルモノト云フヘク本縣ニ於ケル該當面積六千二百町步、此ノ事業費七十二萬圓アリ内昭和十二年度ニ於テ施行セルモノ四地區事業費二萬九千圓、關係面積七百餘町步ナリ尙昭和十三年度ニ於テ申請シタルモノ一千百町步、十六萬六千圓アリ今後政府ノ助成ヲ得テ益之カ施行進展ニ努ムルノ要アルヘシ

五、自作農創設未墾地開發事業

本縣ノ耕地面積ハ近時文化ノ進展ニ伴ヒ潰廢ニ歸スルモノ頗ル多ク毎年百餘町步ノ減少ヲ來シツツアリ更ニ小作地面積ハ總面積ノ四割二分、耕地ヲ所有セサル農家ハ全農家戸數ノ二割三分ノ多キニ及ヒ然モ其ノ分配甚タ不適當ナリ幸ヒ昭和十二年度ヨリ自作農創設ヲ目的トスル未墾地ノ開發獎勵ノ爲助成金ヲ交付セラルルコトナリタルハ健全ナル自作農創設ニ資スルコト多大ナリ同年度ニ於テ施行セルモノ十五地區、開墾面積十四町七反步、事業費一萬五千餘圓ナリ今後益之等見込地ニ付キ其ノ施行ヲ獎勵シ以テ農地制度改善ニ資スルノ要アリ

六、時局對策事業

今次事變ノ重大性ニ鑑ミ特ニ農産増進、勞力及經費ノ節減ヲ圖ル爲昭和十三年度ヨリ三箇年計畫事業トシテ小設備

ノ改良事業ヲ企圖シ先ツ本年度ニ於テ總事業費十三萬九千餘圓ノ内緊急施行ノ必要ヲ認ムルモノ三萬三千五百圓ニ對シ其ノ二割ヲ補助シ以テ農村勞力ノ不足ヲ補ヒ生産力ノ維持増進ヲ計ルノ完璧ヲ期シツツアリ

七、災害施設耕地事業

(一) 水害復舊事業

昭和十年六月下旬及八月上旬ノ豪雨ニ依ル耕地、農道、井堰等ノ被害總額ハ實ニ二百八十餘萬圓ノ多額ニ達セルモ九十四萬六千二百圓ノ復舊事業ニ對シ國庫ヨリ補助金交付ノ配當ヲ受ケ昭和十年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ施行ノ計畫ヲ樹テ昭和十二年度ヲ以テ全部完了セリ

(二) 雪害復舊事業

昭和十年冬期ニ於ケル稀有ノ降雪ハ耕地其ノ他全般的ニ多大ノ被害ヲ被リタリ其ノ被害總額二百萬二千圓餘ニシテ内四十萬九千六百五十三圓ノ復舊事業ニ對シテハ國庫ヨリ補助金交付ノ配當ヲ受ケ昭和十一、十二年度ノ二箇年度計畫ニ依リ施行シ來リタルモ内高時川井堰ノ復舊工事ヲ殘ス外一般耕地關係ノ事業ハ全部昭和十二年度ヲ以テ完成スルニ至レリ

何レモ單ナル復舊ニ止マラス將來ノ災害防除トナリ農家ノ生活安定ニ資スルコト大ナルモノアリ

今後採ルヘキ方策

現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ指導獎勵トシテハ一時的對策及恒久的對策アリ

即チ一時的對策トシテ最モ考慮セラルヘキ農村勞力不足並燃料統制、物價騰貴ニヨル物資ノ供給不十分ニ付テナリ先ニ國ノ補助ヲ得テ施行セル小型揚水機ノ獎勵ノ如キハ頗ル良策ニシテ殊ニ本縣ニ於ケルカ如ク用水不足地多ク多大ノ

勞力ヲ費シツツアルモノニハ勞力補給トシテノ效大ナルモノアリ又水路、井堰等ノ灌溉設備ノ不十分ニシテ年々之カ維持ニ多大ノ勞費ヲ用フルモノ少シトセスノ比較的簡易ナルモノヲ改良シ農村勞力不足ヲ補填セシムルハ現下ノ急務ニシテコレカ爲本縣ニ於テハ時局對策事業トシテ差當リ右ノ主旨ニ基ク事業費三萬三千餘圓ニ對シ二割ノ補助ヲ行ヒ以テ時局ニ對シ勞力補填、生産ノ維持ニ資セントセリ今後逐次其ノ範圍ヲ擴大シ以テ時局ニ對處セシメントス

燃料統制ニ依リ最モ直接ナル影響ヲ受クルハ灌溉用重油機關ニシテ本縣ノ如ク地下水揚水ヲ以テ唯一ノ水源トセルモノ多キモノハソノ影響スル處甚大ナリ

即チ機關ノ整備ヲ調査シソノ不完全ナルモノハ新品トノ買換又ハ電動機ニ變更スル等ヲ補助指導シ以テ燃料ノ消費節約、生産力ノ維持ニ資スヘキナリ尙燃料用アルコイル原料タル甘藷、馬鈴薯増産ノ爲ノ開墾ハ一面燃料對策トシテ重要事項ニシテ又飼料作物増産ヲ目的トスル簡易ナル開墾事業等十分ニコレ等ヲ開發活用スルヲ要ス、肥料ノ價格騰貴供給不十分ニ對シテハ排水改良、床締等ヲ十分ニ獎勵シソノ肥效ヲ完全ナラシムルヘクコレ亦恒久的對策ノ一タリ

元來農産物ハ天候ニ支配セラルルコト多ク之ニ對シ品種ノ改良、耕種ノ改善亦重要ナリト雖ソノ依存スル耕地ニシテ不完全ナルモノナル時ハ到底完全ナル成果ヲ期スル能ハス耕地改良事業ノ現下時局ニアリテ一日モ忽諸ニ附スヘカラスルヤ亦明カナリ即チ用水源ノ確保、配水ノ整備、排水ノ改良等ニヨリ將來ノ災害ヲ未然ニ防止シ耕作ヲ完全ナラシメ生産力ヲ維持増進シ併セテ水利ノ紛争ヲ絶チ統後人心ノ安定ヲ計ルコト恒久的對策ノ根本義タリ

京都府

現況

支那事變勃發以來農村ヨリ多數ノ將兵及馬匹ノ應召徵發アリシト雖目下ノ處耕地事業トシテハサシテ影響ヲ認メス尤モ諸物價竝人夫賃ノ騰貴ニ依リ相當ノ困難ハ來シツツアリト雖工事中止スルカ如キ事ハ一モナク何レモ豫定計畫ニ依リ工事ヲ進捗セシメ又新規事業ヲ計畫セントスルモノ相當アルモ政府ノ之等耕地事業ニ對スル豫算少額ニシテ容易ニ助成セラレサルニ依リ已ムヲ得ス事業着手ニ至ラサルノ状態ニ在リ

今後採ルヘキ方策

現下非常時局ニ際シ銃後ノ國民ハ至誠奉公ノ精神ヲ披瀝シ殊ニ農村ニ於テハ農業生産力ノ確保増進ヲ圖リ農家ノ生活ヲ安定セシメ堅忍持久ノ基礎ヲ構成シ以テ銃後ノ護ヲ全フセサルヘカラス

前述ノ如ク支那事變勃發以來今日迄農村ヨリ多數ノ壯丁並馬匹ノ應召徵發アリシカ今後ト雖尙相當ノ召集セラルルモノト覺悟セサルヘカラス然ル時ハ農村ニ於テ勞力ニ不足ヲ來シ國防資源生産ニ不都合ヲ來スカ如キコトアランカ由々敷問題ヲ惹起スルニ至ルヲ保シ難シ勞力ノ不足ニ對シテハ勤勞奉仕團等ノ活動ニ依リ差當リ農業經營上大ナル支障ヲ認メスト雖事變ハ長期ニ亘ルヲ豫想セサルヘカラサルヲ以テ勞力不足ノ眞ノ影響ハ今後ニ於テ顯著ナルモノアリト豫想セラルルヲ以テ農産物生産ノ源泉タル耕地ニ對シテハ今ニ於テ其ノ計畫ヲ樹立シ軍需品ノ供出ハ勿論平時以上ニ農業生産物ヲ増加シ以テ銃後ノ護ヲ全フセサルヘカラス故ニ長期戰ニ處スル耕地對策トシテハ先以テ勞力ノ節約一般農産物ノ増殖生産費ノ低減ヲ圖ラサルヘカラス之カ對策トシテハ灌溉排水設備ヲ改良シ農道ヲ改修シテ勞力ノ不足ヲ補ヒ暗渠排水工事ニ依リテ二毛作地ヲ造成シ以テ表作ヲ容易ナラシメ耕地ノ擴張ニ依リテ時局ノ爲失ヒタル耕地ヲ補給シ以テ農村不安ノ根源タル農家一戸當耕作面積ノ不足ヲ擴充シ畑地開墾ノ實施ニ依リ國防上必要ナル農産資源ノ開發

ヲ爲ス等一致團結事難克服ニ邁進スルノ基礎ヲ確立シ以テ銃後農村ノ護ヲ全フセサルヘカラス
然ルニ耕地事業ハ一時ニ多額ノ費用ヲ要シ農民ノ自力ヲ以テシテハ其ノ實行不可能ニシテ政府ノ絶大ナル援助ヲ仰カサルヘカラス而シテ本年度耕地事業ニ對スル政府ノ豫算ハ誠ニ貧弱ニシテ到底地方ノ要望ヲ滿スヲ得サルヲ以テ政府ハ速カニ之等豫算ヲ増額シ以テ銃後農村ノ護ヲ全フセラレンコトヲ望ム

大阪府

現況

管下ニ於ケル耕地面積ハ田四萬六千二百四町六反歩、畑一萬三百六十九町六反歩、合計五萬六千五百七十四町二反歩ニシテ輓近都市ノ發展、工業交通機關等ノ躍進ニ依リ工場、鐵道、軌道、道路、宅地等ノ敷地トシテ耕地ノ潰廢ヲ來スコト年ト共ニ多ク最近十箇年平均耕地潰廢面積ハ六百十五町餘歩ニ及ビ益減少ノ趨勢ニアリ

然ルニ本府ノ耕地開發ハ既ニ遍ク行キ亘リ擴張ノ餘地甚タ少キヲ以テ専ラ耕地ノ集約的利用ヲ目的トスル耕地改良ニ主點ヲ置ク状態ナリ次ニ現下時局ニ鑑ミ昭和十二年度ヨリ屎尿ノ完全共同貯溜槽ヲ設置シ各種ノ寄生蟲卵及病原菌ヲ滅殺施用ヲ獎勵シ以テ農村肥料費ノ節約ト府民ノ體位向上ニ資シツツアリト雖現況ニ於テハ配給ニ極メテ困難ヲ來シツツアル狀況ニアルヲ以テ新ニ配給農道網ヲ計畫シ之カ勸奨ヲ計リ本事業所期ノ目的達成ヲ期セントス
今敘上事業ノ概況ヲ述フレハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

耕地整理事業ニ對シテハ之カ調査設計、工事監督、事務指導等ノ指導監督ヲ行フ外相當補助金ノ交付ヲナシ之カ獎勵ニ努メタル結果既ニ調査設計ヲ終リタル地積三萬六百五十六町步ニシテ認可セル組合地區數三百十五、其ノ地積一萬四千六百十六町步、事業費一千二百十五萬六圓ニ達シ内事業完了地區數百二、地積三千九百六十五町步ニシテ他ハ目下事業繼續中ニ屬ス

二、開墾事業

大正八年開墾助成法發布以來出願地區數二十一、助成地積三百五十五町步ニシテ内二十地區ハ既ニ工事完了セリ本府ニ於テハ既述ノ如ク開墾ノ餘地甚タ少シト雖尙小規模ノ開墾ヲ計畫スルモノ六百三十餘町步ニシテ主トシテ果樹園等トシテ利用ヲ策シツツアリ府ハ是等ノ内五町步未滿ノ小開墾事業ニ對シテハ府費ヲ以テ四割以内ノ補助金ヲ交付シ其ノ獎勵ニ努メツツアリ

三、土地改良事業

耕地整理法ニ依ラスシテ單ニ灌溉排水ニ關スル設備又ハ工事ヲ行フ土地改良事業ニ對シテハ大正十一年以來調査設計、工事監督及補助金ノ交付ヲナシ之カ助成ニ努メツツアリ

四、用排水幹線改良事業

用排水ノ改良ハ本府耕地事業ノ最モ重點ヲ置ク處ニシテ大正十二年以降用排水幹線改良事業トシテ實施シタル地區八十地區内既ニ七地區ノ事業ヲ完了シ其ノ成績極メテ良好ニシテ尙今後早急施行ノ要アルモノ十二地區アリ之等ノ概要左ノ如シ

(一)事業完了シタルモノ

事業名	受益地積	事業費	主要工事	事業完了着手
中河内郡十六個井路用排水改良事業	八五〇町	五〇、六六〇圓	灌溉揚水機ノ設置	大正十三年三月
狭山池支配區域用水改良事業	二、五五	四八五、六七〇	溜池並用水幹線改修及新設	昭和十五年三月
狭山池支配區域用水改良第二期事業	二、五五	一六二、五七一	用水幹線並井堰ノ新設及改修	同 七年三月
大阪市淀川右岸用水改良事業	一、三四二	九三、二八九	灌溉用揚水機ノ設置	同 九年三月
中河内郡恩智川沿岸排水改良事業	六七六	三〇〇、四九九	恩智川改修	同 五年十二月
中河内郡楠根川沿岸排水改良事業	八三三	三三〇、〇〇〇	楠根川改修	同 七年十二月
北河内郡西部用排水改良事業	一、〇三三	二七二、六六六	用排水幹線改修	同 十一年三月
合 計	七、三三六	一、六五五、四〇五		同 十二年三月

(二)事業施行中ノモノ

事業名	受益地積	事業費	主要工事	事業完了着手
泉北郡光明池用水改良事業	一、七八町	一、四五、三〇四圓	溜池並配水路新設	昭和十六年三月
北河内郡古川上流部排水改良事業	一、七四六	一、〇〇、〇〇〇	排水幹線改修並附帶工事	同 十二年三月
北河内郡三莊排水改良事業	一、三三三	三〇〇、〇〇〇	幹線水路新設並改修	同 十四年三月
合 計	四、八五四	一、八五五、三〇四		

(三)事業計畫中ニ屬スルモノ

事業名	受益地積	事業費概算	主要工事	摘要
三島郡芥川左岸排水改良事業	五町	100,000	排水機設置	排水改良
豊能郡南部用排水改良事業	1,100	300,000	幹線水路改修	用排水改良
北河内郡三莊第二期排水改良事業	1,113	120,000	排水幹線新設	排水改良
三島郡淀川右岸用排水改良事業	3,310	2,000,000	淀川筋樋管統一及幹線水路新設	用排水改良
泉南郡貝塚町外一箇村用水改良事業	810	500,000	溜池新設及幹線水路改修	用水改良
三島郡豊川村外三箇村用水改良事業	510	200,000	溜池新設	同
泉南郡昭和池用水改良事業	510	70,000	同	同
中河内郡築留用水改良事業	3,500	250,000	幹線水路改修	同
中河内郡青地井出口樋用水改良事業	1,700	150,000	同	同
泉南郡青池支配區域用水改良事業	510	100,000	溜池改修	同
北河内郡交野村外五箇村用水改良事業	1,041	500,000	揚水機設置	同
中河内郡西部排水改良事業	1,500	1,500,000	幹線水路新設	排水改良
合 計	16,516	6,100,000		

五、災害防止事業

府下灌漑用溜池中主要ナルモノ其ノ數五千餘ニ及ヒ之等溜池ノ多クハ往古ノ築造ニ係リ然モ維持管理方法當ヲ得サル爲荒廢シ危險ニ瀕スルモノ極メテ多ク偶々昭和十年六月及八月ノ豪雨ニ際シテハ缺潰、流失又ハ破損セルモノ實ニ四百八十箇所ニ及ヒ其ノ被害ノ甚大ナルモノアリタルニ鑑ミ尙將來災害ヲ誘發シ又ハ其ノ慘禍ノ増大ヲ來ス虞アルモノニ付テハ昭和十一年度以來災害防止指導獎勵費ヲ豫算ニ計上シ之カ調査設計ヲナスト共ニ防止工事ノ指導獎勵ニ當リ更ニ昭和十二年度ヨリ災害防止工事助成費ヲ計上シ工事費ニ對シ助成金ヲ交付シ銳意之カ勸奨ニ當リタル處其ノ效果ノ著シキモノアリ既ニ工事ノ完了シタルモノ昭和十二年度ニ於テ六十二箇所、關係地積一千四百六町歩ニシテ是等ハ全ク災害ノ不要ヲ除去スルコトヲ得タリ依テ引續キ昭和十三年度ニ於テモ之等事業ヲ施行シ銃後農業經營ノ安定ニ資セントス

六、農用公共施設事業

管下耕地中灌漑排水ノ不良ナルニ基因シ毎年旱魃又ハ湛水等ノ災害ヲ受クルモノハ實ニ二萬六千六百餘町歩ノ多キニ達シ農家經濟ニ及ホス影響ノ洵ニ甚大ナルモノアルニ鑑ミ之カ關係施設ノ新設改良事業ハ常ニ慫慂シツツアル處ナルモ農家經濟ノ現狀ハ自力克ク之ヲ遂行シ能ハサルヲ遺憾トセリ然ルニ政府ニ於テハ右事業ヲ助成スル爲昭和十二年度ヨリ農用公共施設改良事業補助要項ヲ制定セラレ此種工事ノ新設、改良事業ニ對シ國庫補助金ヲ交付セラルルコトナリタルヲ以テ本府ニ於テモ亦右條件ニ基キ助成要項ヲ設定シ助成金ヲ交付スルノ外之カ調査設計、指導監督等ノ事務的助成ヲモ爲シ以テ該事業ノ勸奨ニ當リツツアリ

七、暗渠排水事業

暗渠排水ハ地勢ノ關係上何レモ其ノ規模小ナリト雖近時益其ノ眞價ヲ認ムル處トナリ之カ施行ヲ希望スルモノ年ト共ニ増加ノ傾向ニアルモ配當事業費ノ少額ナル爲未タ以テ十分其ノ目的ヲ達シ得サル狀況ニアリ

八、災害復舊事業

昭和九、十兩年度ニ亘ル災害ニ對スル復舊事業ハ夫々國庫補助並府費ヲ以テ補助金ヲ交付シ極力之カ指導督勵ニ當リタル結果昭和九年風水害復舊事業ハ同十二年度ヲ以テ全ク事業ノ完了ヲ告ケ昭和十年水害復舊事業ハ既ニ過半ヲ完了セリ其ノ事業ノ概況左ノ如シ

昭和十年水害復舊事業

大阪府

(昭和十年以降五箇年繼續事業)

事業費總額三百八萬八千四圓
内國庫補助事業費 二百二十萬七千九十二圓
國庫補助ヲ伴ハサル事業費 八十八萬九百十二圓

内譯

種別	數量	金額	摘要
工事費	四九一・八町	二、九三六、三七〇・〇〇	國庫補助工事
耕地復舊	一二、〇五八・五	一、一七五、四四二・〇〇	國庫補助外工事
農道復舊	三七、七〇八・四	一〇二、二五〇・〇五	二、一〇一、九九二圓
水路、堤塘、護岸復舊	一、〇六五	四三一、一二五・〇四	八三四、三七八圓
井堰其ノ他ノ復舊		一、二二七、五五二・九一	
設備費		一五一、六三四・〇〇	
合計		三、〇八八、〇〇四・〇〇	國庫補助分 一〇五、一〇〇圓 國庫補助ヲ伴ハサル分 四六、五三四圓

九、農道開設助成費

晚近府縣道並主要町村道ノ改修ニ付テハ相當見ルヘキモノアルモ之カ連絡ヲ要スヘキ幹線農道或ハ耕地ト部落間ノ連絡道路等ノ如キ農業道路ハ極メテ不完全ニシテ農業經營ニ及ホス不利不便甚シク又一面今般府市協力ノ屎尿共同貯溜槽設置ノ助成ニ伴ヒ之カ配給施用上ニモ亦著シク不便ヲ招來スルヲ以テ昭和十三年度ヨリ農道開設助成費ヲ豫算ニ計上シ農道開設工事ノ助成ヲナシ現下時局ノ進展ニ伴フ農村勞力ノ不足ヲ補填スルト共ニ屎尿共同貯溜槽助成ノ所期ノ目的ヲ達成シ府民ノ體位向上ニ資セントス

十、小型揚水機施設事業

耕地ノ灌溉設備不完全ニシテ給水ニ多大ノ勞力ヲ要スルモノニ對シ勞力節約ノ趣旨ヲ以テ設置スル小型揚水機ノ共同施設ニ對シ政府ニ於テハ助成要項ヲ制定セラレ之カ施設費ニ助成セラルルコトナリタルヲ以テ本府ニ於テモ既ニ助成要項ヲ設定シ之カ勸奨ニ努メツツアリ

十一、河水統制調査

本府ニ於テハ昭和十年十一月河水統制調査委員會規程ヲ定メ主要河水ノ治水並利水ノ目的ヲ達スル爲必要ナル河水ノ統制運用並之カ遂行ニ必要ナル事項ヲ調査審議シツツアリ先ツ淀川水系ニ付之ヲ行ヒ漸次他ノ河川ニ及ホス計畫ナリ而シテ耕地課ニ於テハ專ラ灌溉施設ノ狀況並將來ニ於ケル河水ノ需要供給ノ計畫ヲ擔當シ着々調査ノ歩ヲ進メツツアリ

十二、結論

如上記述ノ如ク管下ニ於ケル耕地事業ハ近時長足ノ進歩ヲナシタリト雖尙灌溉排水等ノ狀態不良ニシテ之カ改良並施設ノ充實ヲ期スル要アル區域ハ最近ノ調査ニ依レハ灌溉用水ノ不足スルモノ一萬七千七百六十五町步、排水不良ナルモノ八千八百九十八町步、道路、水路、區劃ノ整理ヲ要スルモノ一萬六千町步ニ及ヒ農業經營上遺憾トスルトコロ極メテ多キヲ以テ今後益斯業ノ勸奨ニ努メントス

今後採ルヘキ方策

如上現狀ニ鑑ミ本府ノ耕地事業ハ今後益集約化セントスル農業事情ニ對應センカ爲市街地トノ交通運搬ノ連絡ニ特ニ考慮ヲ拂ヒタル耕地整理厚度ノ土地利用ヲ策スル土地改良廣範圍ニ亘ル用排水ノ改良ノ爲ニハ用排水幹線改良事業等將來益指導勸奨ヲ加フルハ固ヨリ近時頻發スル災害ヲ未然ニ防止シ又ハ慘害ノ輕減ヲ計ランカ爲災害防止組合ノ設立

ヲ懲瀆シ之カ事務的指導ヲナスト共ニ之等ノ施行スル災害防止工事ニ付特ニ意ヲ致シ相當助成金ノ交付並工事指導ヲ行ヒ銃後農業ノ安定ヲ計ラントス又將來暗渠排水竝小開墾事業ニヨリ耕地ノ多毛作化ヲ計ルト共ニ農村資源ノ開發ヲ促シ一面休閑地ノ開拓ヲ策シ生産擴充ニ資セントス又既述ノ如ク府市共同ノ屎尿完全共同貯溜槽ノ獎勵ニ協力シ農道ノ開設ヲ獎勵シ之カ配給施用ノ圓滑ヲ計リ引テハ農村肥料費ノ節約ト府民ノ體位向上ニ資セントス

次ニ管下ニ於ケル水利ニ關スル組合ハ現在法人格ヲ有スルモノ六十七、舊慣ニ依ルモノ五百五十、計六百十七ノ多キニ達シ之等ノ外多數ノ溜池法、水利掛等ノ團體ヲ合スレハ夥シキ數ニ達シ地方的ニ或ハ部落的ニ割據シ往古以來ノ水利慣行ヲ墨守シ己カ水利ノ自由ヲ擅ニシテ他ヲ顧ミス近時益水利ノ係争多ク水害、旱害等ノ災害ノ誘發ノ因ヲ爲スコト屢ナルノミナラス農村自治ノ圓滑ヲ阻害スルコト極メテ多キニ鑑ミ是等ニ付テハ適當ナル指導ヲ加ヘ水利ノ機會均等ヲ計ルト共ニ維持管理費ノ節減ヲ促シ水利係争ノ根絶ヲ爲シ時局下ニ於ケル農村自治ノ圓滿ナル發達ニ資セントス

兵庫縣

現況

本縣ニ於ケル土地總積ハ六十一萬七千五百七十一町步餘ニシテ内田地積十萬八千六百五十三町步、畑地積二萬四千三百三十町、合計耕地地積十三萬二千九百八十三町步(昭和十一年末現在)ナリ然ルニ農家一戸當耕地地積ハ六反八畝步ニ過キサルニ不拘工場設置、交通機關ノ發達ニ伴ヒ年々潰廢スル耕地尠カラズ殊ニ今回ノ事變關係ニ依リ工場及軍事施設等ノ爲潰廢スルモノ一層多キヲ加ヘツツアルノ現狀ニ在リ翻テ縣下耕地ノ現狀ヲ見ルニ其ノ多クハ改良ヲ要スルモノ不尠シテ不合理ナル經營ニ甘ンセサルヘカラサルノミナラス最近各種災害頻發シテ其ノ被害ノ原因耕地ノ缺陷ニ歸スルモノ多キヲ見ルノ狀況ニ徴シ耕地ノ擴張及改良事業ハ極メテ緊要ナル施設ト謂ハサルヘカラス幸本縣ノ耕地事業ハ逐年發展ノ趨勢ニ在ルモ農產物價格ノ下落ニ依リ農家ノ疲弊其ノ極ニ達シ一時ハ著シク起業ヲ阻害セラレ又一面

非常時局ニ際會シ勞力其ノ他ノ影響ヲ受クルモノナシトセサルモ既往ニ於ケル時局匡救事業又ハ風水害應急事業等ニ依リ殆ト全縣下ニ斯種事業ノ普及ヲ見ルト共ニ之カ喫緊ノ事業タルコトノ認識ヲ深メ益進展ノ情勢ヲ示ツツアリ更ニ現下ノ時局ニ於テハ産業ノ維持擴充上其ノ根幹タル本事業ニ對シ旺盛ナル起業熱ノ潜在スルモノアルヲ認ム而シテ本年四月迄ニ於ケル耕地ノ改良擴張事業ノ成績ヲ示セハ次ノ如シ

一、耕地整理法ニ依ルモノ

認可總數 八一六地區 二五、八五八町步

内 譯

工事完了 四〇三地區 一〇、六三三町步

換地處分 三四九地區 九、八五四町步

事業終了 二六三地區 七、〇三五町步

二、耕地擴張事業

開墾助成事業 一九九地區 三、一二二町步 (開田 二、〇〇六町步)

時局匡救事業 一、四六一地區 一、一五九町步 (開田 一、〇〇五八町步)

風水害應急事業 一六地區 一一町步 (開 畑 一、〇五四町步)

自作農創設 二八地區 一〇町步 (開 畑)

合 計 四、三〇二町步 (開田 二、一六九町步)

三、用排水幹線改良事業

施行箇所 三箇所

受益地積 三、〇五五町步

兵庫縣

事業費

一、〇八八、八〇〇圓

今後採ルヘキ方策

耕地事業本來ノ性質上常ニ向上發達ヲ期セサル可ラス殊ニ現下ノ非常時局ニ處シテハ更ニ其ノ進展ヲ圖ルノ要アリト認ム故ニ今後ニ於テモ大體從來ノ方針ヲ踏襲スルモ昭和十二年度ニ於テ樹立シタル十箇年ヲ一期トスル本縣產業計畫ニ基礎ヲ置キ耕地ノ改良及擴張事業ヲ獎勵セントス

即チ耕地ノ改良ヲ要スヘキモノ六萬四千六百餘町歩、擴張ヲ要スヘキモノ八千九百餘町歩ナルヲ以テ此内有利ニシテ起業最モ容易ナルモノヨリ順次實施セシムル方針ナリ一面昭和十二年度ヨリ縣下ニ於ケル中小河川ノ上流ニ貯水池ヲ新設シ洪水調節並旱害地ノ用水補給及耕地ノ擴張ニ資セントシ其ノ極メテ有利ニシテ而モ急ヲ要スルモノヨリ其ノ調査設計(本省ノ河水統制調査ト併行)ヲ五箇年計畫ニ依リ之ヲ施行シ其ノ終了セルモノヨリ適當ノ方法ヲ以テ實施スル計畫ナルカ昭和十二年度及同十三年度ニ於テハ加東郡東條川ノ調査ヲ終了スル豫定ニシテ旱害地三千百町歩、開墾豫定地二千九百町歩ニ亙リ目下調査中ニ屬ス其ノ他農山村經濟更生指定町村ノ農業土木事業及自作農創設未墾地開發事業ニ關スル調査設計工事監督等ハ特ニ耕地課ニ於テ之カ取扱ヲ爲サシメツツアリ

其ノ他縣下耕地事業ニ關スル助成、調査設計、工事監督並事務指導事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、補助金交付事業

- (一) 耕地ノ旱害防止事業ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ三以內
- (二) 災害防止ノ目的ヲ以テスル農用公共施設ノ改良事業ニ對シ十分ノ四以內
- (三) 暗渠排水事業ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ四以內
- (四) 開墾地移住家屋建設ニ對シ一戸四百圓以內
- (五) 自作農創設未墾地開發事業ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ四以內

(六) 用排水幹線改良事業ヲ縣營ヲ以テ實施スルコト(縣費負擔ハ事業費ノ一割五分) 特ニ事變對策トシテ左ノ事業ヲ獎勵ス

- (一) 資源開發ノ爲ニスル開畑事業ニ對シ其ノ工事費ノ十分ノ四以內ノ補助金交付
 - (二) 勞力不足ヲ緩和スル爲ニスル小型揚水機設置費ニ對シ十分ノ五以內ノ補助金交付
 - (三) 興國勤勞隊ノ耕地ノ擴張及耕地ノ改良事業ニ對スル指導監督
- 二、調査指導ニ關スル事項
- (一) 耕地整理及開墾助成其ノ他耕地事業ニ關スル各種ノ調査並指導監督
 - (二) 耕地協會ヲ督勵シ事業ノ發展ト殘務整理ノ進捗ニ努力セシム

奈良縣

現況

本縣耕地ノ總地積田三萬三千六百六十七反歩、畑一萬一千五百八十七町八反歩ニシテ之ヲ農家戸數六萬四千四十九戸ニ割當ツルトキハ一戸當僅ニ田五反一畝十八歩、畑一反八畝三歩、計六反九畝二十一歩トナリ耕地極メテ寡少ナルト灌溉設備ノ不完全、或ハ卑濕等ノ爲之等耕地ノ擴張改良ヲ要スヘキモノ多數ニ上リ農村ノ恒久的對策トシテ積極的ニ各種耕地事業ヲ施行シ着々其ノ實績ヲ舉ケ來リタリト雖左記事業殘存スルノ現狀ニシテ斯業ノ前途遼遠ナリ

事業種別	事業量	事業種別	事業量
用水改良	一一、五〇〇町	水路	一、三八四町
開墾	七、五〇〇	溜田	一六、二四五
道	五、五二五	池	四、三五八

普通整理地目變換	二、二二九 ^四	總計	二、〇七〇 ^四
井	四、八八〇	其他	五五、六九一

而シテ今次事變勃發以來地方農村ハ人馬ノ應召、徵發ニ依リ農業勞力減退シ軍需工業ヘノ勞働移行等ニヨリ一層拍車ヲ掛ケラレ農業生産力ニ減退ヲ來スヘキ虞アリ故ニ之カ防止ニ努ムルト共ニ更ニ進テ其ノ増進ヲ圖ルハ現下非常時經濟ニ協力スル所以ナルヲ以テ勤勞報國ノ至誠ヲ基調トスル勤勞奉仕運動ト相俟テ農業經營ノ基本タル土地ノ利用ヲ増進シ生産資源ノ確保維持並開發助長ノ爲耕地事業ノ促進ヲ企圖シ客年十月三十日縣耕地協會主催ノモトニ事業者大會ヲ開催シ事業者ハ勿論多數農山村民ノ注意ヲ喚起シテ政府並縣ノ施設ニ係ル各種耕地事業ノ實施促進ニ努メシメタリ然レトモ勞力ノ不足ト共ニ殊ニ石炭飢饉ノ爲薪炭ノ需要増大スルト共ニ山間部ニ於テハ製炭ニ從事スルモノ激増スルニ至リ之等山稼ハ主トシテ冬期農閑期ヲ利用シテ之ヲ行フモノナルヲ以テ耕地事業カ農閑期ニ於ケル勞力利用強化ニヨリ特ニ有效ナルヲ期待シツツアリシ際勞働賃銀暴騰シ事業ノ遂行ヲ阻害スルモノアリタルモ勤勞精神ヲ昂揚シ工事ハ可成夫役ニ依リ施行シテ現金ノ負擔ヲ輕少ナラシメ事業ノ實施ハ其ノ緩急ヲ考慮シ施行後ノ利用價值ノ大ナルモノヨリ順次施行スル等諸種ノ事項ニ留意シ尙軍務公用者遺家族ニ對シ其ノ生活ノ安定ヲ期スル爲隣保共助ノ精神ニ則リ遺家族ニシテ勞力ニ餘裕アルモノハ優先的ニ就勞セシムルノ途ヲ講シ又遺家族ニ對シ勞力奉仕ヲナシ或ハ其ノ負擔ノ免除輕減ヲナサシムル等就後農村ノ責務遂行ニ圓滑ナル方途ヲ講セシメ事業ノ實施ヲ計レリ

前陳ノ如ク事業ノ促進ニ努メタルモ勞力ノ不足勞働賃銀並諸物價ノ騰貴等ノ爲國庫補助ニヨル事業ノ進捗ニハ影響少ナカリシモ低率ノ縣費補助ニヨル事業ハ一時進展ヲ見サリシハ免レサリシ事態ナリ

今後採ルヘキ方策

現下戰時體制下ニ於ケル耕地事業トシテ今後採ルヘキ方策ヲ考究スルニ次ノ如シ

一、生産資源ノ確保維持ニ關スル事業ノ實施

(一) 旱害水害防止事業

(二) 繼續事業ノ完成

二、生産資源ノ開發助長ニ關スル事業ノ實施

(一) 開墾事業

(イ) 農産資源開發ノ爲ニスル開墾

(ロ) 食糧自給ノ爲ニスル開墾

(ハ) 過小農ノ經營面積擴充ノ爲ニスル開墾

(ニ) 自作農創設ノ爲ニスル開墾

(二) 耕地ノ改良事業

(イ) 反當收量ノ増加ヲ計ル事業

(ロ) 反當生産費ノ低下ヲ計ル事業

三、應召遺家族ニ對スル方策

軍務公用者ノ遺家族ニ對シテハ其ノ生活ノ安定ヲ期スル爲隣保共助ノ精神ニ則リ左記各號ニ依リ遺憾ナキヲ期スルコト

(一) 前記各工事ノ施行ニ當リ應召遺家族ニシテ勞力ニ餘裕アルモノハ優先的ニ就勞セシムルコト

(二) 請負工事ニアリテハ請負者ヲシテ可成應召遺家族ニシテ勞力ニ餘裕アルモノハ優先的ニ使用セシムルコト

(三) 事業ニ要スル費用ニ付應召遺家族ニ對シテハ負擔ノ輕減ニ努ムルコト

四、各種耕地事業ニ對スル國庫補助ノ増額並補助率ノ引上

目下政府ニ於テハ國庫補助金ヲ交付シテ各種耕地事業ヲ施設セラレツツアルヲ以テ縣及事業者ハ事業ノ進捗ニ努メ相當費ヲ擧ケツツアリト雖今同ノ事變ニヨル勞力不足並物價騰貴ニ加ヘテ應召者ヘノ勤勞奉仕、負擔免除或ハ輕減ノ爲從來ニ比シ負擔ヲ増加セシメツツアルノ状態ナルヲ以テ國庫補助増額並補助率ノ引上ケヲナシ事業ノ進展ヲ圖ルノ外其ノ負擔ノ輕減ニ資スルノ要アリ

和歌山縣

現況

今ヤ時局ハ愈々重大非常時ノ重壓益加ハラントスル時各事業者ハ郷土ノ出征軍人ニ對シ斷シテ後顧ノ憂アラシメスシテ速ク滿支ノ戰線ニ送ラント丹心一貫農耕ニ從事シ以テ産業振興ノ天賦ノ職責ニ邁進シツツアルモ諸物價ノ高騰ニ伴ヒ勞銀ノ暴騰ト軍需工業ノ勃興及應召關係ニ依リ勞力ノ不足ニ相當惱ミツツアリ殊ニ開墾助成事業ニ相當深刻ニ影響シツツアリ

今各事業別現狀ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

明治三十九年以來現在迄施行認可ヲナシタル地區數三百七十七、地積六千四百七十四町步、事業費四百九萬六千九百二十八圓ニシテ工事ハ主トシテ溜池ノ改築、道水路ノ新設改修及開墾ニシテ事業費ハ資金ノ供給ヲ仰カス農閑期ヲ利用シ自己勞力ニ依リ施行ノモノ多ク財務關係良好ニシテ目下工事中ノモノ五十二地區ナリ

二、開墾助成事業

大正八年以降助成指令ヲ受ケタル地區數百二、地積八百九十町步、事業費百八十二萬八千圓ニシテ工事ハ殆ト山林ノ開畑ニシテ竣成地ニハ柑橘類ヲ栽培シ事業ノ成績極メテ良好ナレ共昭和十三年度中ニ指令ヲ受ケタル十一地區ハ

勞銀高騰ノタメ既定計畫ノ事業費及終了豫定期限内ニ於テ事業完成ニ相當惱ミツツアリ内四地區ハ之カ爲事業ノ開始遅延シ居ル状態ニアリ尙現在未指令地區十六、地積百十九町步、事業費十九萬二千圓ニシテ出願以來相當年月ヲ經過シ居リ直ニ工事開始セサレハ物價高騰ノ折柄事業遂行困難トナルヲ慮リ一日モ指令ノ早カラシコトヲ切望シツツアリ

三、小面積土地改良事業

地勢ノ關係上集團開墾地少ナキ本縣ノ特種事情ニ鑑ミ昭和七年ヨリ三反步以上五町步未満ノ小面積ノ土地改良事業ニ對シ工事費補助ノ途ヲ拓キ現在迄施行箇所四百四十二、工事費二十五萬三千餘圓ニ及ヒ農閑期ノ自己勞力ヲ以テ工事ヲ施行シ山間僻地ノ土地開發上相當良好ナル成績ヲ擧ケツツアリ

四、開墾地移住家屋建設事業

昭和十年ヨリ實施シ既ニ十戸ニ對シ補助金ヲ交付シ開墾地ノ經營上相當ノ效果ヲ收メツツアリ尙年々五戸宛建設セシメントスル計畫ナルモ豫定ノ指令ナク開墾地移住計畫ニ相當支障ヲ來シツツアリ

五、暗渠排水床締客土事業

昭和七年以來國庫助成ヲ受ケ今日迄施行シタルモノ地區數十七、地積四十六町三反步、事業費二萬二千圓主トシテ農閑期ヲ利用施行シ其ノ成績極メテ良好ニシテ年々出願ヲ滿ス能ハサル状態ニアリ

六、用排水幹線改良事業

地勢ノ關係上五百町步以上ヲ支配スル用水又ハ排水ノ不良ノ集團地尠ナキト從來本事業ノ趣旨徹底セス之カ企畫ヲ見サリシモ昭和十二年度ヨリ十九萬八千五百圓ヲ以テ紀ノ川沿岸新六ヶ井農業水利改良事業（受益地積五百十六町步）ヲ三箇年繼續事業トシテ着手着々進工中ナリ

尙紀ノ川沿岸藤崎井農業水利改良事業（受益地積八百二十町步）ヲ十九萬八百圓ノ事業費ヲ以テ昭和十三年度ヨリ

三箇年繼續事業トシテ實施セントス尙紀ノ川沿岸ニ於テハ小田井(受益地積一千百町步、事業費三十五萬圓)六ヶ井(受益地積七百八十六町步、事業費十五萬圓)宮井(受益地積一千八百十六町步、事業費七萬圓)ノ用水幹線改良事業ノ急施ヲ要スル現狀ニアリ

七、農用公共施設新設改良事業

國庫ノ助成ヲ得テ昭和十二年度ヨリ災害防止ノ趣旨ヲ以テ農用公共施設ノ新設改良ヲ圖リ最モ急施ヲ要スル三地區事業費二萬五千圓ヲ以テ百七十九町步ノ災害防止事業ヲナサシメ昭和十三年度ニ於テ事業費二萬五千圓ヲ以テ七地區、百七十三町步ノ災害防止事業施行ノ豫定ナリ

八、農用小型揚水機施設事業

農村ニ於ケル灌溉用勞力ノ節約ヲ圖ル目的ヲ以テ昭和十三年度ヨリ國庫助成金ヲ得テ施設セシムヘク計畫シ既ニ五十二町步ヲ灌溉スル五組ノ移動式小型揚水機ノ施設ヲナサシメ同十三年度ニ於テ二十組施設豫定ノ處本省割當三組ニ付キ目下詮衡中ナリ

九、自作農地開發助成事業

自作農創設ノ目的ヲ以テ昭和十二年度ヨリ政府ノ助成金ヲ得テ開發助成ノ計畫ヲ樹テ既ニ三十七地區、五町三反步ノ開畑事業ヲ六千九百二十圓ノ工事費ヲ以テ完成セシメ同十三年度ニ於テ工事費十一萬七千六百圓ヲ以テ二百七十地區、六十三町五反步ノ開畑ヲセシムル豫定準備中ナリ

一〇、農産資源開發開墾助成事業

時局ニ鑑ミ燃料酒精ノ原料タル農産物又國際收支ノ改善ヲ圖ルタメノ農作物ヲ栽培スヘキ開畑事業ハ現下喫緊ノ要務タルヲ以テ政府ノ助成ヲ得テ目下十三箇町村、二十六地區、三萬九千五百餘圓ヲ以テ四十六町步餘ノ開墾事業ヲ施行スヘキ豫定ノ處本省割當ノ都合上事業費七千八百圓ヲ以テ施行スヘク事業地目下詮衡中ナリ

一一、河水統制調査

河水ノ合理的利用ハ農村耕地事業計畫ノ根幹ヲナスヲ以テ本縣ニ於テ最モ急ヲ要スル紀ノ川ニ付昭和十三年度ヨリ調査セラレ度旨目下要望中ナリ

要スルニ本縣ハ本州ノ南部ニ位シ太平洋ニ臨ミ黒潮ノ影響ヲ受ケテ四時氣候溫暖地味豊穰シカモ年内ノ降雨量極メテ適度ニシテ農作物生育頗ル佳良實ニ天惠ノ好適地ナルモ地勢概ネ急峻宏濶ナル平野ニ乏シク至ル所山又山ト續キ全面積四十七萬六千二百七十六町步ニ對シ耕地面積僅ニ四萬九千五百一十一町步即チ總面積ノ一割四厘ニシテ縣下農家戸數七萬七千八百四十戸ニ對シ一戸當六反三畝步ニ過キサレ現狀ナルヲ以テ米作ノ如キハ已ニ適地ト見ルヘキ所ハ開墾シ盡シ其ノ餘地殆トナキモ畑作ニ就テハ柑橘、梅、除虫菊、罌粟、甘藷及早熟蔬菜等ノ栽培ノタメ山腹ノ開墾可能地頗ル多ク之カ事業ヲ實施セントスルモノ及從來天惠ノ好條件ト陋習ニ捉ハレ灌溉排水並耕作道ノ諸施設ノ改善ヲ殆ト顧ミサリシタメ近時頻發スル各種災害ニ依ル不安打開、勞力節約ノ急務ナルヲ痛感シ勞力ノ拂底、勞銀ノ高騰ノ折柄ト雖之カ施設ノ改善ヲ圖ラントスルモノ多カラントスル現狀勢ニアリ

今後採ルヘキ方策

農村ノ振興ヲ計リ銃後ノ護リ益固キヲ要スル時各種事業ノ不斷ノ努力ニ俟ツハ勿論ナルモ耕地面積ノ狭小ナル本縣ニ於テハ特ニ耕地事業ハ最モ農村振興ノ根幹ヲナスモノナルヲ以テ十箇年間ニ過小農救済ノ爲ニスル開墾事業トシテハ小作農一萬七千三百八十戸(開墾不可能地ノ小作農二千四百七十戸ヲ除ク)ニ對シ平均二反步ノ新農耕地(開畑地ニハ特用作物栽培)ヲ得セシムルタメニ三千四百七十町步、工事費五百二十一萬六千四百圓ノ開墾事業ノ施行ヲ主トシテ農閑期ノ餘剩勞力及應召軍人ノ家族ノ勞力ヲ活用セシメ從來ノ助成施設、自作農地開發助成、農産資源開發、開墾助成等ノ恩典ニ浴セシメ極力獎勵指導シ尙最近頻發スル各種災害ノ慘禍ヲ防止スルタメ百五十箇町村ニ對シ防止施設トシテ溜池、井堰、水路、橋梁、暗渠排水、床締等關係地積二萬二千八百餘町步、事業費三百四十七萬七千餘圓ノ事業

ヲ勉メテ農閑期ヲ利用シテノ施行ヲ指導シ從來ノ耕地整理補助施設ト農用公共施設、暗渠排水、床締客土施設等ノ助成ヲ適用セシメ積局的ニ災害ヲ防止スルト共ニ勞力節約ノタメ耕作道施設ノ改良ヲ要スル百箇町村ニ對シ關係地積一萬町歩、工事費二百萬圓ヲ以テ平坦地ニアリテハ幅員ノ擴大、路線ノ整備ニカメ、丘陵地乃至山地ノ柑橘畑ニハ山腹車道ヲ開設シ物資ノ運搬ヲ便ナラシメ勞力ノ節約ニ資セントス尙集團地ノ用水改良事業トシテ紀ノ川沿岸ニ於テ三地區、受益地積三千七百餘町歩、其ノ事業費五十七萬圓ハ急施ヲ要スル實情ニアルヲ以テ昭和十四年度ヨリ逐次施行ノ豫定ナリ

次ニ昭和十一年度ヨリ農山漁村經濟更生特別助成施設施行セラルルヤ其ノ助成計畫ノ大半ハ耕地事業ニシテ之カ有終ノ成果ヲ收ムルヤ否ヤハ將來ノ耕地事業ニ關聯スル處甚大ナリト認メラルルヲ以テ之カ計畫實施ニ付テハ細密ナル檢討ト緊密ナル連携ヲナシ適切ナル指導ヲナサントス以上各項ノ事業達成ノタメ縣ハ財政ノ許ス限り指導獎勵ノ設備ノ擴大強化ニカムルト共ニ各種補助金ノ増額ヲ計リ極力事業者ノ負擔ノ輕減ヲ計リ益斯業ノ發展ヲ期セントス

鳥取縣

現況

本縣ハ全國屈指ノ水害縣ニシテ累年災害ヲ被リ農村疲弊ノ最大原因ヲ爲スモノナリ殊ニ昭和九年ノ風水害ハ未曾有ノ大災害ニシテ之カ復舊ニ付テハ政府ノ助成ニ依リ官民一致ノ努力ヲ以テ着々其ノ實績ヲ擧ケ漸ク更生ノ曙光ヲ認ムルニ至レルモ多年ニ亘ル深刻ナル災害ノ創痕ハ未タ農民ヲシテ生活ノ安定ヲ得セシムルニ至ラス加フルニ本縣農家一戸當耕地面積ハ現在八反八畝歩ニシテ五反歩未滿ノ過小農ハ農家戸數ノ三割二分ヲ占ムルノ状態ニシテ耕地面積極メテ過少ナルニ加ヘ近時河川改修其ノ他ニ基因シ耕地ノ潰廢セラルルモノ夥シク爲ニ農業經營一層困難ニ陥リ之カ對策トシテ耕地擴充ヲ圖ルヲ急務トスル實情ニ在リ現下非常重大時局ニ際會シ農業經營ノ根幹タル耕地ノ擴張改良ヲ施シ農

業生産力ノ擴充ト農業勞力節減ノ途ヲ講シ以テ銃後農村ノ強化ヲ圖リ傍ラ軍需資源ノ充實ニ努ムルハ極メテ緊要トスル處ニシテ一般農村ニ於テモ能ク其ノ重要性ヲ認識シ斯業ノ達成ニ不斷ノ努力ヲ爲シツツアリ尙今次事變ノ爲軍務應召又ハ馬匹徵發等ニ依リ農村勞力ノ不足ヲ訴ヘ延テ耕地事業施行ニ支障ヲ及ホスコト無キヤヲ懸念セラレシモ銃後農村ノ旺盛ナル勤勞精神ノ發揮ニ依リ未タ事業遂行上何等憂フルニ足ラサル狀況ニ在リ然リト雖斯業ニ關スル所要物資ノ騰貴ト特殊物資ノ供給難トハ今後事業進展上影響スル所尠カラサルヘク之カ對策ニ付テハ十分ノ考慮ヲ要スル事項ナリトス

今各種主要事業別ニ其ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地整理事業

種別	地 區	數	地 積
施行認可		四五八	二二、一九一町
工事完了		二〇七	八、七二四
換地處分		一三九	七、六二七
事業終了		一一〇	四、〇二七

二、開墾助成事業

助成認可地區數	地 區		地 積
	開 田	開 畑	
一七一	二、〇八四町	七八一町	二、八六五町

三、用排水幹線改良事業

事業終了ノモノ 事業施行中ノモノ	施行地區數	受益面積	事業費
一三		五、六九九町 九九二	一、八九九、六九六 一九〇、〇〇〇

四、水害復舊事業

種別	昭和九年水害		昭和十二年水害	
	數量	事業費	數量	事業費
耕地	二、七二七町	四、九三一、五二〇円	一〇町	一九、五〇〇円
公共施設	農道其ノ他 五五三、三二五町 溜池其ノ他 五、九九五町	五、八九三、四七六	農道其ノ他 三一、三八四町 溜池其ノ他 三一七町	五〇三、四七五 五二二、九七五
計		一〇、八二四、九九六		

五、開墾地移住家屋

戸數	補助金額	備考
三〇四	一一二、六五五円	自昭和十年 至昭和十二年 度

六、暗渠排水事業

施行地區數	受益面積	事業費
二一五	一五五町	三三、二八〇円

今後採ルヘキ方策

非常時體制下ニ於ケル本縣耕地事業ハ今後各般ノ施設ニ一層努力ヲ要スルモアノルモ窮迫セル縣財政ト疲弊セル農民

ノ自力ノミニテハ到底其ノ實行困難ナルヲ以テ今後十分ノ國庫補助ヲ仰キ左記事項ニ付テハ特ニ考慮ヲ拂ヒ指導獎勵ニ遺憾ナキヲ期セントス

一、開墾事業

- (一) 大山原野ノ開發ハ本縣耕地不足ニ因ル農業經營難ヲ緩和シ併セテ現下ノ國策タル農産資源開發上寄與スル處多カルヘキヲ以テ縣ニ於テ目下施行中ノ基本調査ノ成案ヲ得タル上ハ進ンテ其ノ實現ヲ圖ルコト
- (二) 天神川流域地方ヲ始メ其ノ他ノ地方ニ於ケル過小農經營面積擴充ノ目的ヲ以テ當該地方ニ小開墾事業ノ獎勵ヲ爲スコト

(三) 時局關係ニテ潰廢ニ歸シタル耕地面積ハ縣下ニ於テ九十餘町歩ニ及ヘリ之ヲ換地開墾施行ニ付留意スルコト

二、用排水改良事業

本縣用排水改良事業ハ尙今後施行見込ノモノ四地區、三千二百町歩ニ達シ就中多年ノ懸案タル東伯郡東郷池沿岸五百餘町歩ノ排水改良ハ目下其ノ計畫ニ付調査研究中ニシテ適當ナル成案ヲ得タル上速ニ其ノ實現ヲ期スルコト

三、農用公共施設ノ改良事業

災害ヲ未然ニ防止スル爲農用公共施設ノ改良ヲ施スハ本縣ノ實情ニ鑑ミ極メテ緊要事ナルヲ以テ今後一層其ノ達成ヲ圖ルコト

四、暗渠排水事業

本縣既往ノ實績ニ徴スルニ暗渠排水ハ其ノ效果極メテ顯著ナルモノアリ尙施行見込地六千餘町歩ニ達スルヲ以テ今後努メテ其ノ普及實現ヲ圖ルコト

鳥根縣

現況

本縣ニ於ケル耕地事業ハ常ニ政府ノ方針ニ順應シテ之カ指導獎勵ニ努メタル結果耕地整理法ニ依リ或ハ耕地整理法ニ依ラサル土地改良事業、農業水利改良事業、農用公共施設ノ新設改良事業等ニ依リ耕地ノ擴張改良事業ヲ施行シタル地積多ク相當ノ成績ヲ收メタリト雖本縣ハ地勢ノ關係上耕地頗ル少ク昭和十二年末現在ニ於テ田五萬六千二百九十二町五反歩、畑二萬六千五百三十三町三反歩、合計八萬二千三百四十五町八反歩ニシテ總面積ノ一割二分強ニ相當シ所謂耕地飢饉ノ現狀ニ在リ從テ農家一戸當平均耕作反別モ僅ニ七反八畝歩ニ過キスシテ農業經營ノ規模甚タ小ナルニ加ヘ最近時勢ノ進運ニ伴ヒ耕地ノ潰廢スルモノ多ク昭和八年以降四箇年間ニ於ケル潰廢面積ハ四百八十六町歩、一箇年平均百二十一町歩ニ達スルノ現狀ナルニ他方縣内人口ハ逐年増加シ農家一戸當耕作反別ハ愈々過小トナリツツアリ加之其ノ既存耕地モ用排水ノ組織、農用公共施設、田區ノ形質等亦不備不良ニシテ或ハ旱害、鹽害、湛水ノ被害ニ惱ミ或ハ農耕上ノ不利不便ヲ忍ヒツツアルモノ尠ナカラスシテ耕地ノ擴張改良事業施行ノ要切ナルモノアリ

如斯耕地ノ擴張改良事業ハ現下農山村ノ現況ニ鑑ミ絶對的緊要ナル事項ナルヲ以テ從來縣費助成ニ依ル耕地事業、開墾助成法及時局匡救二年量開墾事業、用排水幹線改良事業、時局匡救事業トシテノ各種耕地事業、農用公共施設新設改良事業等ヲ普遍的ニ縣内各地ニ施行セシムル處アリシカ今其ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

一、耕地整理事業 (昭和十三年四月末現在)

種別	地	區	數	地	積
施行	可		一、二四〇		一三、九〇四町
工事	完了		五七七		六、七九七
換地	了		四六〇		六、〇四一
事業	終了		二一七		二、七二八

二、開墾助成事業 (昭和十三年四月末現在)

地區數	開	地	田	畑	積
五八		四八四町	一九四町		六七八

三、用排水幹線改良事業 (昭和十三年三月現在)

地區數	受益面積	事業費
四	一〇、八八八町	二、三四四、六四八町

四、時局匡救農業土木事業

施行箇所	關係地積	事業費
一、七六五	一七、四二五町	一、三五二、一〇〇町

五、農用公共施設新設改良事業 (昭和十三年三月現在)

施行箇所	關係地積	事業費
一〇	一一四町	一五、五〇〇町

六、小型揚水機施設事業 (昭和十三年三月現在)

施行箇所	七	關係地積	九一町	事業費	四、二〇〇 ^四
------	---	------	-----	-----	--------------------

尙本縣ハ昭和九年ノ大風水害ヲ初メトシテ引續キ昭和十年水害、昭和十一年ニ於ケル雪害並水害、昭和十二年水害等連年各種ノ災害ニ遭遇シ耕地關係ノ被害ノミニテモ一千三百五十五萬餘圓ノ巨額ニ達シ關係地方民ノ困窮一方ナラサルモノアリ而シテ之カ復舊事業ハ國庫ノ助成ヲ受ケ銳意工事ノ進捗ニ努ムル處アリシカ既ニ工事ノ半ヲ竣リ大體順調ニ進捗シツツアリ今各種災害別ノ成績ヲ舉クレハ次ノ如シ

復舊耕地事業種別	復舊事業費	復舊事業費ニ對スル進捗割合
昭和九年風水害	三、三七六、六七四 ^四	六八・八%
同十年水害	一、〇〇一、一九二	七五・八
同十一年雪害	四二六、二九一	六二・八
同十一年水害	七四六、五六七	四六・二
同十二年水害	七二六、三三五	一〇・六
計	六、二七七、〇五九	六〇・一

要之本本縣ニ於ケル耕地事業ハ經濟界ノ變動ニ伴ヒ時ニ消長ナキニシモ非ラサリシカ大體順調ナル經路ヲ辿リテ普及發達シ其ノ成績觀ルヘキモノアリト雖本縣ニ於ケル耕地ノ擴張改良事業施行見込地積ニ比スレハ漸ク其ノ三割ニ達シタルノ狀況ニシテ之カ開發ノ餘地甚ク大ナリ殊ニ今次支那事變ニ對處スヘキ銃後産業ノ確保擴張、燃料國策、時局關係ニ因ル潰地ノ補充、軍務公用者並軍需工業労働者等ノ關係上各種耕地事業ノ施行ハ一段ト重要性ヲ加ヘ縣民亦之カ施行ヲ要望シツツアリ

今後採ルヘキ方策

本縣ニ於ケル耕地事業ノ狀況ハ前述ノ通ニシテ之カ擴張改良事業ノ施行ハ現下非常時局下ニ於ケル農業生産力ノ確保擴充ト相俟テ絶對的緊要ノ事項タリ依テ今後左ニ掲クル方策ニ依リ一層斯業ノ進展ヲ期セントス

一、耕地ノ減少ニ對スル方策

(一) 開墾事業

未墾地ニシテ耕地ニ開發シ得ヘキ見込地積ハ現在一萬三千二百二十五町步存スルヲ以テ之カ開發ニ付テハ今後自作農創設事業ニ依リ或ハ開墾助成法ノ適用ヲ受ケシメテ其ノ開發ヲ獎勵シ以テ耕地ノ減少ニ備ヘントス

(二) 新川廢川敷地開發事業

内務省直轄事業タル斐伊川改修工事ニ伴フ新川廢川敷地三百三十町步ハ開墾助成法ノ適用ヲ受ケ縣營ヲ以テ其上流部二百三十町步ハ畑地ニ下流部百町步ヲ田地ニ開發スルト共ニ移住家屋及共同建造物ヲ建設シテ開發地ノ經營ヲ完カラシメ以テ潰地ノ補充ニ資セシメントス

二、燃料國策ニ對スル方策

(一) 開畑事業

開畑可能ノ見込地七千九百町步ニ對シテハ農産資源開發ノ爲ニスル開墾助成金ヲ交付シテ開畑事業ヲ獎勵シ其ノ開發地ニハ甘藷、馬鈴薯等ヲ栽植セシメテ燃料國策ノ遂行ニ資スルト共ニ一面飼料作物、苧麻、茶等ノ増産ニ依リ國際收支ノ改善ヲ圖ラントス

(二) 隱岐島ニ於ケル開畑事業

本土ヲ離ルルコト遠キ隱岐島ハ古來農業ヲ以テ重要産業トナセトモ耕地僅少ニシテ島民ノ食糧ヲモ自給スルコト能ハスシテ年々一萬五千餘石ノ米麥類ヲ移入シ居ルノ現状ナリ而シテ本島特有ノ耕牧輪轉法ニ依ル牧畑耕作ハ本

島農業ニ於テ見逃スヘカラサルモノナリシカ近時荒廢ニ歸シ荆棘ノ繁茂ニ委ネルモノ二千六百町歩ノ多キニ達セリ依テ之カ開發ヲ行ヒ其ノ開發地ニ甘藷、馬鈴薯ノ栽培ヲ獎勵シ以テ農産資源ノ開發ニ資セントス

三、生産力ノ確保擴充ニ對スル方策

(一) 用排水幹線改良事業

本縣ニ於テハ曩ニ神戸川並飯梨川筋農業水利改良事業ヲ施行シ好成績ヲ擧ケタルヲ以テ現ニ施行中ニ屬スル斐伊川沿岸並平田町外六箇農村業水利改良事業ノ完成ヲ速カナラシムルト共ニ昭和十三年度ニ於テ簸川郡出東村外六箇村農業水利改良事業ヲ又昭和十四年度以降ニ於テ佐陀川沿岸農業水利改良事業外八事業地區、事業費四千八百九十三萬圓ノ改良事業ノ實現ヲ期セントス

(二) 農用公共施設新設改良事業

縣下各地ニ普遍的ニ所在スル農用公共施設ハ其ノ施設、構法等完カラスシテ比年各種災害ノ頻發ニ際シ其ノ災禍ヲ蒙リ農業生産力ヲ減殺スルコト多大ナルモノアルニ付之カ新設改良事業ヲ政府ノ方針ニ則リ徹底的ニ獎勵セントス

(三) 各種災害復舊耕地事業

昭和九年風水害外四種災害ノ復舊耕地事業ハ銳意工事ノ進捗ヲ圖リツツアルモ更ニ一段之カ督勵ニ意ヲ致シ豫定年度迄ニ完成セシメントス

四、季節的農業勞力不足ニ對スル方策

今次事變ニ依ル應召軍人及軍需工業勞働者ノ他出等ニ因リ農山村ニ於テハ季節的ニ農業勞力ノ不足ヲ生セルニ付之カ緩和ニ資スル爲左ニ掲クル事業ノ獎勵ヲ爲サントス

(一) 暗渠排水事業

排水不良卑濕ノ田地ハ縣下各地ニ所在シ暗渠排水ノ施行ヲ必要トスル地積ハ昭和九年末現在ニ於テ一萬十町歩ニ達シ之カ改良工事施行ノ要切ナルモノアルモ差當リ企業利益二割五分以上ニ當ル事業地區四百八十町歩ヲ選ビ之カ施行ヲ獎勵シ以テ農業勞力ノ節減ヲ圖ルト共ニ米質ノ改善並增收ヲ圖リ尙裏作トシテ大麥ノ栽植ヲ爲サシメ馬糶國策ノ一端ニ資セシメントス

(二) 區劃整理及混凝土畦畔築造

本縣ノ耕地中山岳地帯ニ屬スル田地ハ其ノ區劃、形狀、狹小、不整ニシテ且所謂棚田ヲ形成シテ上下兩田區ノ標高差ハ六尺ヲ越ユルモノ多ク之カ耕作ニ當リテハ農業勞力ヲ要スルコト大ナルノミナラス其ノ畦畔地積ハ田地ノ約一割ヲ占メ地積的ニ甚タ不經濟ナリ依テ之カ整理ヲ行ヒ以テ農業勞力ノ調整ニ資スルト共ニ耕地地積ノ増加ヲ圖リ生産力ノ確保擴充ニ資セントス又畦畔ノ整理ヲ必要トスルモノモ相當ノ數量ニ達スルニ付是等畦畔ハ可成混凝土畦畔ニ改築セシメテ區劃整理地ト共ニ敘上ノ目的ヲ達セシメントス

(三) 農道ノ新設改良

農道ニ關シテハ其ノ施設ヲ全ク缺キ或ハ既設ノ農道ニシテ配置形狀等適當ナラサルモノ多數ニシテ農業經營上幾多ノ不利不便ヲ忍ヒツツアリ依テ之カ新設改良工事ヲ特ニ指導獎勵シ以テ非常時局下ニ於ケル農業勞力ノ調整ニ備ヘントス

岡山縣

現況

本縣ニ於テハ昭和八年大旱害ヲ受ケ更ニ同九年ノ大災害以來年々水害ヲ被リ殆ト全縣下ニ跨リ耕地ノ流亡、埋沒、工

作物ノ流失破潰ノ慘害ヲ受ケタリト雖政府ノ機宜ヲ得タル救済施設ニ依リ適切ナル復舊計畫ヲ樹立シ事業ノ施行ニ努メタル結果着々進捗シ今ヤ縣下全般ニ亘リ耕地ニ關スル各種ノ工作物ハ復舊ヲ兼ネ改良セラレ水利交通ニ一大革新ヲ來シ又其ノ各種耕地事業ノ進捗ト相俟テ工事前ニ比シ之カ管理ニ勞費ノ節約ト生産ノ増加ヲ計リ得テ時局柄一層ノ效果ヲ擧ケツツアリ現下非常時局ニ際シ農村ニ於テハ多數ノ應召者ヲ出シ勞力不足ノ嫌アリト雖耕地事業ハ銑後生活ノ安定上其ノ實施要望續出ノ状態ナリ今各種耕地事業ニ付其ノ現況ヲ示セハ次ノ如シ

一、耕地整理事業

本縣ノ耕地整理事業ハ近年著シキ普及發達ヲ來シ殊ニ昭和八年ノ大旱害以來之カ救済對策トシテ耕地整理法ニ依リ事業ヲ施行スルモノニ對シ昭和九年度ニ於テ補助助成ノ計畫ヲ樹テ實施ニ努メタル結果組合設立及施行認可申請ヲナスモノ増加シ大ニ實績ヲ擧ケツツアリ今事業實施ノ狀況ヲ示セハ次ノ如シ

年 度	組合設立及施行認可		工 事 完 了		換地處分認可		事 業 完 了	
	地區數	積	地區數	積	地區數	積	地區數	積
昭和十年度迄	七五四	二〇、六八三町	三六七	九、〇六五町	一五三	四、七九七町	一九〇	四、八七七町
同 十一年度	六六	一、〇九〇	三三	七、〇三〇	一五	三、三二〇	三	二六〇
同 十二年度	九六	一、五六〇	二一	九、五〇〇	五	三、九〇〇	一	六〇
同 十三年度	一六	四三三〇	六	六二〇	一	一	一	三〇
計 (五月底迄)	九三四	二二、六七三〇	四六六	九、八七六五	一七三	五、一七六二	一九五	四、九一九八

二、用排水幹線改良事業

本縣ノ耕地ハ概シテ灌排不便ニシテ年々災害ヲ受クルモノ多ク之カ改良ヲ要スル五百町歩以上ノ集團地ハ二十五箇

所、地積三萬五千四百四十九町歩ノ多キニ及ヘリ大正十三年鹽田用水改良事業ニ着手以來現在迄ニ工事ヲ完成シタルモノ七箇所、地積七千二百二十一町歩、工事中ノモノ二箇所、地積四千八百八十六町歩、近ク工事ニ着手ノモノ一箇所、四千八百九町歩ニシテ工事済ノモノハ何レモ顯著ナル成績ヲ擧ケツツアリ以上ノ如クニシテ本事業ハ農村ノ振興上最モ緊要適切ニシテ之カ施行ノ要望續出ノ現況ニアリ

三、暗渠排水事業

本縣ハ地勢上暗渠排水施行豫定地多ク其ノ地積二萬五千六百三町歩ニシテ大正十年度ヨリ縣費補助ヲナシ獎勵ヲ加ヘ實施ニ努メタル結果地區數八千七百七十五、地積三千三百六十三町歩ニ達シ其ノ成績極メテ良好ナリ殊ニ昭和七年度ヨリ國庫助成セラレテ以來施行ノ要望多ク本事業ハ益發展ノ現況ニアリ

四、開墾事業

本縣ニ於ケル山林原野ノ開墾、湖海ノ埋立、干拓等ニ依リ耕地擴張可能地ノ地積ハ開田二萬二千四百七十町歩、開畑一萬一千二百八十町歩、計三萬三千七百五十町歩ノ多キニ達シ開墾助成法發布以來指令ヲ受ケタルモノノ地區數百五十七、地積二千八百七十三町歩、内工事済ノモノ一千八百七十五町歩ニシテ時局匡救事業ニ依リ施行セラレタル開墾ハ地區數一千九百二十一、其ノ地積三百三十三町歩アリ

尙自作農創設開墾事業ノ本年施行豫定地區數三百五、地積七十町歩ヲ實施ノ計畫ニシテ目下農林省ト打合中ナリ又農産資源開發開墾事業ニ對シテハ本年度ニ於テ國庫ヨリ一萬五千二百二十圓ノ助成金ノ配當ヲ受ケ地區數二百、地積六十町歩、工事費三萬七千八百圓ノ事業實施ノ計畫ナリ

五、農用公共施設新設改良事業

農用公共施設ノ新設改良ヲ要スルモノ極メテ多ク現在實施要望箇所數二百九十五、事業費見込額六十三萬餘圓ニ達セリ右ノ内昭和十二年度ニ於テ國庫助成ヲ得テ工事施行シタルモノ九箇所ニシテ事業費二萬四千七百七十六圓ナリ

六、災害防止農業水利開發事業

本縣ノ水田ハ總面積八萬六千餘町歩ニシテ五百町歩以下ノ耕地ニ對スル灌溉施設ノ改良ヲ要スルモノ二萬四千四百七十四町歩ノ多キニ達ス之等ハ灌溉ノ設備不完全ニシテ旱害ノ爲多大ノ減收ヲ蒙リツツアリ依テ昭和九年度ニ於テ旱害對策事業トシテ七千六百七十七町歩ノ水源設備ノ改良計畫ヲ樹立シ以來繼續事業トシテ施行シ着々豫期ノ成績ヲ擧ケツツアリト雖尙一萬六千八百餘町歩ノ用水施設ノ不良地ヲ殘存スルヲ以テ昭和十三年度ニ於テ縣費ヲ以テ新夕ニ災害防止農業水利開發事業ノ計畫ヲ樹立シ之カ改良ヲ期シツツアリ

七、小型揚水機ノ施設

本件ニ對シテハ昭和十二年度ニ於テ三組、施設費ニ對シ九百圓ノ助成金ヲ受ケ年度内ニ施設ヲ了セリ昭和十三年度ニ於テハ一組ノ施設費ニ對シ三百圓ノ助成金ヲ得施行ノ豫定ナリ

八、開墾地移住獎勵

開墾移住ノ爲大正十年度ヨリ昭和十二年度迄ニ移住家屋建築費ニ對シ獎勵金ノ交付ヲナシタルモノ三百九十二戸ニシテ其ノ建築費五十一萬五千四百二十圓、其ノ助成金十一萬八千三百圓ニシテ前記開墾事業ノ進捗ニ伴ヒ移住者益増加ノ状態ナリ

九、災害耕地復舊事業

本縣ハ昭和九年九月ノ大災害以來年々各種ノ災害ヲ被リ其ノ區域殆ト全縣下ニ亘リ其ノ慘狀言語ニ絶スルモノアリタルモ政府ノ助成ヲ受ケ被害耕地復舊計畫ヲ樹立シ施行セシメタル結果何レモ着々進捗シ顯著ナル成績ヲ擧ケツツアリ今各種災害事業ノ實績ヲ示セハ左ノ如シ

事業名	種別	總事業費		事業費		進捗程度	備考
		數量	金額	數量	金額		
昭和九年災害耕地復舊事業	耕地	一、三〇五・二五	二、八七六、一八七・〇〇	一、三三三・三三	一、四六五、六三六・〇〇	〇・五五	昭和十二年度完了
	公共	四、三七一	五、七三六、〇四三・〇〇	二、一九七	四、〇三三、三三二・六	〇・七四	
昭和十年災害耕地復舊事業	耕地	九六・二五	一、五、七九・〇〇	九六・二五	一、一八、八三三・〇〇	〇・六七	昭和十二年度完了
	公共	三、七	五、五、四九七・〇〇	三、七	五、三、三〇〇・〇〇	同	
昭和十一年災害耕地復舊事業	耕地	一、一〇七	二、四、一八二・〇〇	一、一〇七	二、一、一三〇・〇〇	同	昭和十二年度完了
	公共	五二	四、七、四八二・〇〇	五二	四、〇、一六七・〇〇	同	
昭和十一年雪害耕地復舊事業	耕地	二、六、九一	四、三、一九四・〇〇	二、六、九一	四、三、一九四・〇〇	同	昭和十二年度完了
	公共	七二	一、六、一九〇・〇〇	七二	一、六、三九六・六六	同	
昭和十二年水害耕地復舊事業	耕地	一、一七・三五	三、九、二二八・〇〇	一、一七・三五	四、〇、一〇〇・〇〇	〇・一七	昭和十二年度完了
	公共	七、七六	七、七、八〇〇・〇〇	七、七六	八、一、七四八・六六	〇・一七	
計	耕地	一、三〇五・二五	二、八七六、一八七・〇〇	一、三三三・三三	一、四六五、六三六・〇〇	〇・五五	昭和十二年度完了
	公共	一、〇〇四・〇〇	一、〇〇四・〇〇	一、〇〇四・〇〇	一、〇〇四・〇〇	〇・一七	

十、溜池集水地域ト流量ニ關スル試驗

溜池集水地域ノ林層ノ如何ニ依ル流量ニ付テハ完全ナル調査ヲナシタルモノナキヲ以テ昭和十年度ヨリ國庫補助ヲ受ケ御津郡宇垣村地内ニ於テ右試驗設備工事ヲ施行中ノトコロ昭和十二年度ニ於テ大部分ノ工事及施設ヲ了シ一部ノ試驗ヲ實施中ニシテ本年度ヲ以テ全部ノ設備工事ヲ完成シ本格的試驗ヲ實施スル計畫ナリ而シテ適確ナル成績ヲ得ル迄ニハ尙長期ニ亘リ繼續試驗施行ヲ要スルモ本試驗ノ結果ハ農業水利ノ改良ニ資スルコト極メテ大ナルモノアルヲ信ス

今後採ルヘキ方策

以上現況ニ述ヘタルカ如ク耕地ノ擴張改良事業ハ勞力ノ節約ト生産ノ増加ヲ計リ銃後ノ生活安定ヲ期スル重要ナル方策ナルヲ以テ既定ノ各種耕地事業ヲ繼續施行スルノ外此際工事簡易ニ且ツ事業費比較的低廉ニシテ短期間ニ顯著ナル效果ヲ擧ケ得ヘキ暗渠排水、農用公共施設、農道ノ改良、自作農創設開墾、資源開發開墾ノ各事業ヲ實施シ農耕ノ勞費ヲハ減少シ生産ノ増加ヲ計リ非常時局ニ對處スルヲ要スルモノト信ス尙時局ノ爲勞銀及工費用諸材料ハ一般ニ約三割ノ騰貴ヲ來シ且ツ勞力及材料ノ不足ノ嫌アルヲ以テ工事施行ニ際シ縣有土工レールノ無償貸與ト器械ヲ使用セシメ勞費ノ節約ヲナサシメ又材料ノ購入ノ斡旋ヲナシ事業施行上支障ナカラシメントス

廣 島 縣

現 況

一、現在ノ耕地面積

本縣ノ地貌ハ山峯重疊シ平坦地極メテ稀ナリ偶々臺地盆地等其ノ間ニ介在スレトモ其ノ境域狭小ナリ而シテ此ノ間ニ拓カレタル耕地ハ昭和十二年末現在ニ於テ田七萬六千六百十二町步、畑三萬三千四百八十八町步、合計十一萬百

町步ニシテ縣總面積ノ一割三分ニ過キス而シテ同年末農家戸數ハ十八萬二千二百一十二戸ニシテ一戸當耕作地積ハ僅ニ五反九畝歩弱ニシテ全國ノ順位第四十六位ニ當ル之ヲ全國農家一戸當平均一町六畝歩ニ比較スルトキハ約其ノ半數ニシテ轉タ耕地ノ狭小ノ憾ナキ能ハス

二、耕地ノ擴張潰廢ノ狀況

耕地ノ擴張潰廢ノ狀況ヲ見ルニ開墾、地目變換等相當擴張カ行ハルルニ反面時代ノ進運ニ伴ヒ宅地、工場、道路、鐵道等ノ敷地ニ潰ルルモノ多ク昭和十二年以前十箇年間ノ統計ヲ見ルニ平均年々九十八町步ノ減少ヲ來セリ

三、現下ニ於ケル耕地事業

(一) 耕地ノ擴張事業

述上ノ如ク本縣ノ耕地ハ極メテ狭小ニシテ農業經營ノ第一要素タル土地ニ於テ既ニ惠マレス本縣産業ノ大宗タル産米ニ付テ最近五箇年間ノ需給關係ヲ見ルニ産米ニ於テ年平均百四十萬石ノ收穫アリ消費ニ於テ百九十萬餘石ヲ要スルヲ以テ年々五十萬石ノ不足ヲ生シ食糧ノ獨立ヲ爲シ得サルノ狀態ナリ沿海、島嶼ニ在リテハ氣候風土、柑橘其ノ他果樹ノ栽培ニ適合スルモ既耕地乏シク之カ栽培擴張ノ餘地少ク勢ヒ開墾ノ要アリ翻テ見ルニ縣下ニハ尙開墾可能地推算地積三萬町步アリ故ニ開墾事業ノ助長獎勵ニ力ヲ致シツツアリ

(イ) 開墾助成事業

開墾事業ハ大正八年開墾助成法施行以來頓ニ隆盛ヲ來シ現在ニ於テハ助成指令地區數百五十三、開田畑ノ地積一千七百四十九町步ニシテ此ノ内成功シタル開田畑地積ハ一千五百五十町步ナリ尙開墾助成ノ指令ニ至ラサルモ出願中ノモノ十六地區、之ノ開田畑豫定地積百六十七町七反步アリ而シテ右開墾地ニ優良ナル移住者ヲ招致シ移住者ニ適當ナル家屋ヲ建築シ安住セシムルハ開墾事業ノ遂行並經營上極メテ適切ナル事項ナルヲ以テ大正九年度ヨリ農林省ノ施設ニ應シ之カ建築ヲ獎勵シ現在獎勵金交付ノ移住家屋ハ百五十九戸ナリ

(ロ) 青年勤勞報國開墾事業

時局ノ新事態ニ鑑ミ獻身奉公、勤勞愛郷ノ精神ヲ培ヒ併テ耕地ヲ擴張スルノ目的ヲ以テ本年二月十一日ノ紀元節ヲ期シテ青年勤勞報國運動ノ聲明書ヲ縣下ニ發表シ縣下十萬五千人ノ男女青年ニ呼ビ掛ケ其ノ意氣ト氣魄ニ惣ヘ開墾拓土ノ業ニ就カシメ以テ皇漢翼賛ノ大業ニ參畫セシムルモノニシテ大ハ數町歩ノ集團地ヨリ小ハ數反數畝歩ノ開墾事業ヲ行ハシム

(ハ) 未墾地開發自作農創設事業

現下ノ世運ニ鑑ミ農村ノ中堅層タル自作農ノ創設ヲ獎勵スルコトハ緊急ノ事項ナルヲ以テ國策ニ順シ昭和十二年度ヨリ未墾地開發自作農創設事業ヲ獎勵セリ

(ニ) 農産資源開發開墾事業

時局ニ鑑ミ燃料國策竝國際收支ノ改善ヲ圖ル爲燃料原料作物、飼料作物等ノ増産ヲ企畫シ之カ栽培ニ要スル開畑ヲ獎勵スルハ喫緊ノ事項ナルヲ以テ國策ニ順シ之カ獎勵ヲ本年度ニ於テ施行セントス

(二) 耕地改良事業

本縣ハ地勢ノ關係上灌溉用水源ヲ溜池ニ求ムルモノ頗ル多ク又河川ヲ直接用水源ト爲スモノニ在リテモ溪流淺ク旱天連日ニ及ハハ忽チ旱魃ノ害ヲ被ルノ状態ニシテ其ノ見込地積二萬一千町歩ニ達シ排水不良ニシテ農地トシテノ利用價值ヲ減殺セラレツツアルモノノ見込地積一萬六千町歩ニ及ヘリ

本縣ノ耕地改良事業ハ當初區劃整理ニ伴ヒ暗渠排水ヲ重要事業トスルモノ多數ナリシカ其ノ後灌溉排水設備ノ改善、農道ノ改修等ヲ爲スモノ漸次増加シ最近八年々ノ旱害ニ備フル爲用水補給ヲ目的トスル耕地改良事業著シク増加ノ傾向ニアリ

(イ) 耕地整理事業

耕地ノ改良事業ニ在リテハ主トシテ耕地整理事業ニ依リ施行セルモ現在ニ於ケル耕地整理認可地區數ハ一千八百九十四地區ニシテ其ノ地積三萬一千三百八十一町歩ニ及ヒ内工事ノ完了シタルモノ一千九百九十八地區、地積一萬三千六百三十七町歩ニシテ事業終了ノモノ七百五十六地區、地積七千四百七十九町歩ナリ

(ロ) 用排水幹線改良事業

用排水設備ノ改善ヲ圖ル爲用排水幹線改良事業ヲ施行スルハ最モ效果顯著ナルヲ以テ其ノ企業ヲ要望スルモノ多シ而シテ現在本縣ニ於テ工事完了シタルモノ一箇所、受益地積一千三百十三町歩ニシテ現在事業施行ニ係ルモノ三箇所、此ノ受益地積二千五百一町歩ナリ此ノ外調査ヲ了シ目下農林省ニ對シ事業打合中ノモノ一箇所、此ノ受益地積五百二十町歩ナリ

最近調査ノ上事業打合見込ノモノ一箇所、受益地積五百町歩ノモノアリ

(ハ) 暗渠排水事業

本縣ハ排水不良地頗ル多キヲ以テ耕地整理事業ニ依リ田區改正等ト併セ行ハシメ工事費ニ對シ補助金ヲ交付シテ獎勵ニ努メタルモ昭和十一年ニ於テ本事業ニ對スル補助要項ヲ定メ國策ニ順シテ一層之カ助長獎勵ニ盡セリ

(ニ) 小型揚水機設置事業

本縣ニ於テハ人力ニ依リ耕地ノ灌溉ヲ爲スモノ多ク捲釣瓶ニ依ルモノ臺數三千二百四十五臺、此ノ灌溉地積四百六十町歩、踏車ニ依ルモノ臺數三千八百九十九臺、此ノ灌溉地積一千六百六十町歩ニ達シ灌溉ニ多大ノ勞力ヲ要ス故ニ之等ニ對シ小型揚水機ノ共同施設ヲ爲サシメ應召農家勞力不足ヲ補填スルト共ニ用水補給ノ完全ヲ圖ルコトハ現下ノ時局ニ鑑ミ喫緊ノ事項タルヲ以テ國策ニ順シ昭和十二年度ヨリ本事業ヲ獎勵セリ

(三) 災害復舊竝防止事業

(イ) 災害復舊竝防止事業

本縣ニ在リテハ頻々ト水害ヲ被リ之カ復舊ニ當リテハ多大ノ勞資ヲ要ス現在施行中ノ復舊事業ハ昭和十年六、七月ノ水害ニ因ルモノニシテ昭和十一年度ヨリ昭和十三年度ニ至ル四箇年繼續事業ノモノ、昭和十一年六、七月ノ水害ニ因ルモノニシテ昭和十一年度ヨリ昭和十三年度ニ至ル三箇年繼續事業ノモノ、昭和十二年六、七月ノ水害ニ因ルモノニシテ昭和十二年度及昭和十三年度ニ於テ復舊ヲ爲スモノトアリテ何レモ國庫ノ補助ヲ得テ補助金ヲ交付シ又事業ノ指導監督ニ要スル職員ヲ設置シ完全ニシテ且ツ速カナル復舊ヲ爲サシメ銃後生活ノ安定ヲ圖ルト共ニ農産物減收防止ニ備ヘツツアリ

(ロ) 災害防止事業

本縣ハ水害ヲ被ルト同時ニ旱害ヲ被ルモノ多キヲ以テ旱害對策トシテ昭和十一年度ヨリ耕地灌溉用溜池ノ新設並瀦水量増加ニ必要ナル工事ヲ施行スル者ニ對シ補助金ヲ交付シテ之カ助長獎勵ヲ爲セリ、又本縣ニ在リテハ排水不良ノ耕地滲透水甚シキ粗悪田、或ハ耕土寡少ノ爲災害ヲ被ルモノ多キヲ以テ之等不良耕地ノ暗渠排水、床締客土事業ヲ昭和十二年度ヨリ國策ニ順シ補助金ヲ交付シテ獎勵ニ努メツツアリ次ニ災害ヲ防止シ農耕地ノ機能ヲ十分ニ發揮セシムル爲溜池、井堰、水路等ノ農用公共施設ノ新設改良事業ヲ國策ニ順シ昭和十二年度ヨリ補助金ヲ交付シテ獎勵セリ右等施設ニ依リ災害ヲ未然ニ防止シ農産物ノ維持増進ニ盡セリ

今後採ルヘキ方策

現下ノ時局ニ鑑ミ食糧並軍需農産物ノ供給ヲ確保シ更ニ國際收支ノ改善ヲ圖ル爲輸入ヲ防遏シ輸出ノ獎勵ヲ爲スヲ喫緊ノ要務トスルヲ以テ之等農産物ノ生産維持増進ヲ圖ルヲ要シ又世運ニ照シ農地ヲ調整シテ中堅自作農ヲ扶植シ堅實ナル農村ノ構成ヲ爲サシメ農村ノ榮、銃後ノ護リヲ固クスルハ焦眉ノ急務ナリトス、農産資源ノ確保ヲ期シ又銃後農村ノ基礎ヲ固ムルノ施設ハ幾多可有之モ就中農業ノ根幹タル耕地ニ付其ノ擴張改良ヲ爲スヲ以テ第一義ト爲ス次ニ耕地ノ擴張ト耕地ノ改良トニ項ヲ分チ之ヲ述ヘントス

一、資源開發並農地調整ニ依ル耕地ノ擴張

本縣ニ於テハ現況ニ述ヘタル通主要食物タル米ニ於テ縣下ノ需要ヲ滿スニ足ラス又既耕地ハ極メテ狭小ニシテ農家ハ五反百姓ノ域ヲ脱セス然モ耕地ハ逐年漸減ノ一途ヲ辿ルノ状態ニアリ而シテ耕地分布ノ状態ヲ見ルニ自作農家ハ僅カニ全農家ノ三割三分ニシテ自作農家ハ六割四分ヲ占ムルノ状態ナルヲ以テ之カ農地ノ調整ヲ必要トス翻テ見ルニ本縣ニ於テハ尙約三萬町歩ノ開墾可能地ヲ有スルヲ以テ所有方面ヨリ之カ開發ニ努メ廣義國防ノ見地ヨリ食糧ノ自給ニ盡シ又軍需資源ノ開發ニ資シ他面自作農ノ創設ヲ圖ラントス

本縣ニ於テハ地勢ノ關係上大集團開墾適地ニ乏シキモ小區域ノ開墾ニ在リテハ縣下隨所ニ存在シ地方民モ之ノ開墾ヲ熱望セルニ付政府ニ於テモ一段ト之等開墾ニ對スル助成ノ制度ヲ擴充セラレコトヲ望ム

二、農産物維持増進耕地改良事業

(一) 用水施設

本縣ハ地勢ノ關係上大河川少ク而モ河川ハ水量乏シク又下流部ニ於テ伏流水トシテ流下スルモノ多ク從テ用水源ヲ直接河川ニ仰クコト少ク大部分ハ貯水池ニ依ルノ状態ナリ而シテ耕地面積ノ狭小ナル爲極度ノ集約農業ヲ營メルヲ以テ相當量ノ用水ヲ必要トスルニモ拘ラス之等溜池ノ多クハ規模小ニシテ姑息の不備ナル構造ニシテ且ツ灌溉能力ハ不十分ナリ又本縣ニ於テハ撥釣瓶、踏車ニ依リ灌溉セルモノ夥シク多大ノ勞力ヲ要スルノ状態ナルヲ以テ灌溉施設ノ改良又ハ新設ニ依リ用水關係ノ改善ヲ圖ラントス又一般ニ水利關係複雜ナル地域多キヲ以テ之等水利系統ノ統制又ハ是正ヲ目的トスル用水計畫ヲ樹立シ其ノ合理化ヲ圖ルノ必要切ナリ本縣ニ排水不良地積ノ夥シキハ灌溉設備不完全ナルニ基因スルコト多大ナリ故ニ旱害對策施設、農用公共施設、用排水幹線改良事業ヲ一段ト獎勵シ完全ナル耕地トナシ生産ノ維持増進ニ努メントス政府ニ於テモ右ニ對スル助成制度ノ擴充強化ヲ望ム

(二) 排水施設

本縣ノ耕地ハ現況ニ於テ述ヘタル如ク一萬六千町歩ノ排水不良地アリ是等ノ土地ハ排水設備ナキノミナラス用水源乏シキ爲十分ナル排水ヲ爲ノ能ハサル現狀ナリ依テ排水施設ヲ擴充スルト同時ニ新ニ用水設備ヲ施シ一毛作田ヲ二毛作田タラシメ其ノ利用價値ヲ増進シ農業經營ノ能率化ヲ圖リ生産ノ維持増進ヲ爲サシメントス政府ニ於テモ之等助成制度ノ擴充ヲ望ム

以上ノ如ク現下ニ於ケル耕地事業ノ採ルヘキ方策ヲ述ヘタルモ之ヲ要スルニ本縣ノ地勢並耕地其ノ他ノ現況ヨリシテ先ツ開墾事業然モ小集團地ノ開墾事業ノ獎勵ニ力ヲ注キ又溜池、井堰、水路等ノ新設改良事業及暗渠排水事業等ノ小用排水改良事業ノ助長ニ努メ水利關係ノ改善ヲ圖ルヲ以テ最モ時機ニ即シタル方策ナリトス
最後ニ述ヘ度キハ耕地關係職員ノ地方増置ニ關スル事項ナルモ事變下ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ銃後ノ護リヲ固クシ軍需資源ヲ確保シ國際收支ノ改善ヲ圖ル上ニ必要不可缺ノ事業ナルヲ以テ一大國策トシテ之カ施設ノ擴充強化ヲ爲ササルヘカラサルノ秋ニ際シ政府ハ宜シク地方ニ之カ關係職員ヲ増置シ時局ノ要望スル耕地事業ノ發展ニ盡サレンコトヲ望ム

山口縣

現況

一、災害復舊

近年頻々トシテ襲來セル各種災害ニ縣下耕地ノ大半ハ其ノ被害ヲ受クルニ至リシモ其ノ都度政府ノ復舊施設ト督勵ニ依リ克ク之カ復舊ニ力メ其ノ大半ハ既ニ復舊ヲ見ルニ至リシモ事變ノ發展ニ伴フ勞力ノ漸減ト工用材料ノ不圓滑ノ爲不得止雪害及水害復舊工事ノ一部ヲ本年度ニ繰越シ工施行中ナリ

二、耕地ノ改良

時局ノ影響ニ依リ各種工場頓ニ勃興シ勞力ヲ驅テ之ニ集中シツツアル關係上勞銀益昂騰シ加フルニ所要物資ノ需給圓滑ヲ缺クニ至リ用排水事業並一般耕地ノ改良事業ハ施行ニ稍困難ヲ感シツツアリト雖尙關係町村ヨリノ事業實施ノ希望熱烈ナルモノアルノミナラス自家勞力ニ依リ施行シ得ヘキ小設備、暗渠排水及部落單位ニ施行シ得ル災害防止耕地事業、公共施設事業ノ如キニ至リテハ益之カ要望大ナルモノアリ

三、耕地ノ擴張

本縣耕地反別ハ一戸當平均田地六反八畝歩、畑地二反歩、計八反八畝歩ニ過キス而モ平均一箇年間三百町歩ノ耕地ヲ潰滅シツツアルノミナラス昨年來時局ノ影響ヲ受ケテ耕地減少ヲ來セルモノ七十一町歩ニシテ近ク潰滅ヲ豫想セルモノ四百六十町歩ノ多キニ達ス
斯ノ如キ耕地減少ノ傾向ハ轉テ農業經營ノ缺陷ヲ來スヘキ所以ナルヲ以テ之ニ對應スルタメ耕地ノ擴張ニ對シテハ國ノ獎勵ト相俟テ極力督勵ニ努メツツアルモ開墾助成金ノ減額ト資金ノ調達難ハ大地積ニ亘ル開墾ノ施行ヲ困難ナラシメツツアリ而モ自家勞力ヲ利用シ得ル小開墾ノ要望ハ益多キヲ加フル實情ニアルヲ以テ縣ハ小開墾ニ對スル純縣費補助ヲ交付スルト共ニ自作農創成ヲ目的トスル未墾地開墾並資源開發ノ爲ニスル開墾ニ對シテハ國ノ施設ト相俟テ極力之カ獎勵助長ニ力メツツアリ

今後採ルヘキ方策

凡ソ勞力ノ節減ヲ圖リ、土地生産力ヲ向上シ、生活ノ安定ヲ期スルハ耕地事業ノ主要目的ニシテ現下非常時局ニ於テ採ルヘキ方策トシテモ從來ノ對策ト別箇ニ考慮サルヘキモノニ非ス之ヲ基礎トシテ唯強化、擴充ヲ以テ足り新規ニ對策ヲ講スヘキモノアルナシト雖從來指導獎勵シ來レル各種事業ヲ事變下對策トシテ檢討スレハ未タ以テ十分ナリト云フヲ得サルモノアルヲ以テ之等ニ對シテハ事變直接ノ應急對策トシテ愈々擴充、強化シ生産ノ確保ニ資セントス即チ事變下應急對策トシテ採ルヘキ根本方策ハ

一、不足勞力ノ調整、二、生産ノ擴充、三、生活ノ安定ノ三點ニ歸スヘキモノナルヲ以テ國策ニ順應シ左記各項ノ實行ヲ期セントス

一、不足勞力ノ調整

(一) 農道ノ改修、新設ヲ獎勵シ人肩、馬背ニ依存セシ物資ノ運搬ヲ車輛ニ代ヘ婦女子ノ勞力ヲ活用セシメントス
(二) 小型揚水機ノ設備ヲ獎勵シテ用水ヲ充實シ勞力ノ調整ヲ圖ル

二、生産ノ擴充

勞力不足ニ伴フ生産ノ減退ハ必然的結果ニシテ之カ爲採ルヘキ方策種々アルヘキモ

(一) 國防上必要ナル農産資源ノ充實ヲ圖リ

(二) 國民生活必需品ノ供給確保ヲ期ス

コトハ刻下喫緊ノ事項ニシテ實ニ國家興亡ノ岐ルル所以ナルヲ以テ特ニ左記事項ニ對シテ事業ノ促進ヲ期セントス

(一) 農産資源開發ノ爲ニスル開墾ノ獎勵

(二) 過濕田ノ暗渠排水ヲ行ヒ生産能力ヲ向上セシメ兼テ植付、除草、收穫等勞力ノ節減ヲ圖ルト共ニ綠肥栽培ニ

依リ自給肥料ノ造成ヲ期ス

(三) 農用水源ヲ確立スルタメ用水幹線改良事業ヲ施行シ生産ヲ確保シ兼テ水利ノ紛争ヲ根絶シ農業經營ノ不安ヲ

除去ス

三、生活ノ安定

農村ニ於ケル青壯年ノ減少ハ應召ニ依ル勞力ノ不足ト相俟テ益農業經營ノ不安ヲ助長シ加フルニ工場ノ勃興ニ伴フ工業用水ハ農業用水トノ摩擦相刻ヲ來シ水利ノ争奪、管理ノ手不足ハ更ニ經營ノ危險率ヲ増大スルニ至リ農家ノ不安愈々加ハラントスル傾向ニアルヲ以テ左記對策ヲ講シ生活ノ安定ヲ圖ラントス

(一) 災害防止耕地事業ノ獎勵ニ依リ生産ヲ確保シ管理ヲ容易ナラシメ經營上ノ不安ヲナカラシム

(二) 畦畔ヲ整備シ「コンクリート畦畔ノ獎勵」農耕地積ヲ増加シ保水力ヲ昂メ管理上ノ勞力ヲ節シ病蟲害ノ巢窟ヲ根絶スル等經營上ノ不安ヲ除去ス

四、政府ニ對スル要望

以上各施設ハ事變下ニ於ケル最モ喫緊トスル應急事業ナルモ逼迫セル地方財政ト窮乏セル農村ノ状態ヨリシテ實施甚タ容易ナラサルモノアリ

然レトモ刻下農村ノ状態ハ勞力ノ不足、生産力ノ減退ニ依リ漸ク生活ノ不安ヲ訴ヘントスルノ情勢ニアルヲ以テ之カ對策ノ實施ハ焦眉ノ急ニアリ

依テ政府ハ萬難ヲ排シ農業經營ノ根幹タル各種耕地事業ニ對スル國庫補助ノ増額若ハ新タニ助成ノ途ヲ講セラレ事業ノ促進ヲ期セラレンコトヲ望ム

德島縣

現況

本縣ニ於ケル耕地事業ハ近年益好調ニ進ミツツアリ今次事變ニ際會スルモ斯業ニ對スル農村ノ熱意ハ依然高調ヲ迪リ農業者ハ一般ニ耕地事業カ農村更生上愈々重大ナル使命ヲ有スルコトヲ認識スルニ至レリ今主ナル耕地事業ノ現況ニ付述フヘシ

一、農業水利事業

縣營トシテ施行スル農業水利改良事業ハ既ニ竣功セルモノ二箇所、受益面積一千六百十二町步、目下工事中ノモノ二箇所、受益面積二千三百八十四町步、計畫中ノモノ五箇所、關係面積四千三百七町步ニ達スルモ其ノ竣功セルモノ

ノハ何レモ成績頗ル良好ニシテ特ニ潮水防止ヲ目的トスル今切川沿岸農業水利改良事業ノ如キハ竣成後僅カニ一箇年ニシテ稻作増産ノ上ニ顯著ナル功績ヲ擧クルコトヲ得關係農村ノ裨益スル所多大ナルモノアリ

目下工事ニ着手セントスル舊吉野川沿岸農業水利改良工事並板名排水幹線改良工事ハ共ニ極メテ有利ナル事業ニシテ又其ノ起工頗ル急ヲ要スルモ本工事ハ相當多量ノ鐵材ヲ必要トスル關係上時局ノ爲之カ供給困難ニシテ工事進行上多大ノ支障ヲ感シツツアリ

二、開墾事業

本縣ノ開墾事業ハ主トシテ柑橘、筍、栗、柿等特殊作物ノ栽培ヲ目的トシテ行ハレ近年頗ニ殷盛ニ向ヒ農村更生ノ上ニ著大ナル效果ヲ齎シツツアルカ今次時局ニ臨ミ國民精神ノ緊張ヲ加フルニ從ヒ農村ノ力ハ益開墾ニ集注セラレントスル傾向ニアリ現ニ昭和十二年度中開墾助成ニ依リ工事ヲ施行セルモノ地區數二十六、面積三百四十町歩ニシテ助成出願中未指令ノモノ地區數三十八、面積三百七十町歩、目下調査計畫中ニ屬スルモノ地區數五十五、面積一千三百九町歩ニ及ヒ更ニ引續キ調査申請中ナリ

如斯情勢ナルニ拘ラス近年政府ノ開墾助成豫算ハ全ク中絶ノ状態ニシテ事業進捗ノ上ニ大ナル蹉跌ヲ來タサントシ頗ル憂慮シツツアル状態ナリ

尙本縣ハ山間傾斜地ト雖地味ト氣候ニ惠マレ各種農作物ノ栽培ニ適スルカ今次事變ニ伴フ資源開發ノ國策ニ沿フヘキ開墾適地ハ頗ル多ク既ニ縣下各町村ハ之ニ對シ多大ナル期待ヲ有ス

三、地目變換事業

養蠶專業地方ニ於ケル地目變換事業ハ養蠶不況ノ救済ト食糧自給ノ立場ヨリ自然ノ成行トシテ遂次發達シ來タリ年々其ノ出願多キヲ加フ然レトモ近年開墾助成ノ指令容易ナラサル爲動モスレハ企業ノ時期ヲ失スルノ恨アリテ本縣ノ農村更生上頗ル遺憾トスル處ナリ

四、農用公共施設事業

公共施設事業ハ耕地事業ノ上ニ於テ用排水幹線改良事業ト併行シテ最重要ナル事業ニシテ地方農村ノ之ニ對スル待望ハ頗ル切ナルモノアルカ昨年度ヨリ政府助成ノ途ヲ開カレ此所ニ漸ク其ノ端緒ヲ得既ニ一部ノ目的ヲ達シ成績亦極メテ良好ナリ只恨ムラクハ本施設ニ對スル政府豫算ノ極メテ僅少ニシテ目的ノ一端ヲ達スルニ過キサコトヲ遺憾トス

五、暗渠排水、床締、客土事業

暗渠排水事業ハ逐年施行面積ヲ増加シ其ノ成績頗ル良好ナリ而シテ本縣ハ耕地ニ乏シク二毛作盛ナル地方ナルモ猶排水不良ノ爲一毛田トシテ放任セルモノ四千七百町歩ニ達シ將來暗渠排水ヲ必要トスル處頗ル大ナルカ近年獎勵ノ結果一般ニ其ノ效果ヲ認識シ年々出願スルモノ多キヲ加ヘツツアリ

床締事業ハ昭和十一年度ニ於テ本省ヨリ床締機ノ貸與ヲ受ケ縣下三箇所ニ於テ試驗的ニ之ヲ行ヒタル結果其ノ效果ニ確信ヲ得タルヲ以テ昭和十二年度ニ至リ政府助成ノ許ニ縣ニ於テ床締機ヲ購入シ既ニ昨秋三十町歩ヲ實施シ更ニ今期植付迄ニ數十町歩ヲ實施セントス

而シテ本縣ノ溜池地方ニ於テハ用水ノ滲透多クシテ旱魃ヲ被リ之カ補給水ノ爲反當數十圓ヲ費スモノ尠ナカラス又揚水灌漑地方ニ於テハ土質ノ關係ニ因リ用水量カ普通量ノ二倍ニ達スルモノアリ之等無用ノ滲透ヲ防止シテ用水量ノ節約ヲ計ルハ本縣ノ實情ニ於テ極メテ有效適切ナル處置ナルカ縣下當事者モ漸ク床締作業ノ眞價ヲ認メ本事業ニ共鳴セントスル趨勢ナリ

客土事業ハ特殊事情ニ在ル一部地方ニ行ハルトコロナルモ其ノ效果ハ極メテ顯著ニシテ各方面ニ施行セントスル要望多シ

六、農村經濟更生計畫トシテノ耕地事業

本縣ノ農村經濟更生計畫ハ耕地事業ヲ織込マサルモノ稀ニシテ就中開墾ト水利事業ハ全計畫中ノ重要ナル地位ヲ占メ事業費モ頗ル尨大ナル額ニ達セリ之レ本縣農村ノ經濟更生上耕地事業カ如何ニ價値高ク尊重セラレツツアルカヲ知ルニ足ルヘシ而シテ之レカ實施ハ今日迄大體順調ニ進ミツツアルモ其ノ監督指導ハ頗ル周到ナルヲ要シ今後其ノ數ヲ増加スルニ從ヒ現在ノ設備ヲ以テ不足ヲ告ケ事業遂行上大ナル支障ヲ來タス惧アリトス

七、自作農創設ヲ目的トスル開墾事業

本縣ハ耕地面積ニ乏シク又土地高價ニシテ從來完全ナル自作農ヲ創設スルコト困難ナリシカ一面ニ於テ相當未墾地ヲ有スルカ故ニ之カ開發ニ依リテ自作農ヲ創設スルコトハ頗ル機宜ヲ得タルモノニシテ今回政府ノ施設アルヤ本縣ハ其ノ恩惠ニ浴スルモノ極メテ多ク直ニ計畫ヲ樹テテ之カ實施ニ着手セリ未タ事業中ノモノ多クシテ實績ヲ徵スルニ至ラサルモ將來農村救済上大ナル效果ヲ齎スヘシ

八、今次事變カ耕地事業ニ及ホシタル影響

(一) 壯丁應召ニ因ル影響

本縣ハ一戸當耕作面積ノ寡少ナル爲ト特ニ銃後ノ活動盛ナリシ爲壯丁應召ニ因ル農村勞力ノ不足ヲ告グルコト少ク從テ耕地事業ノ上ニ惡影響ヲ齎ラス等ノコトナシ

(二) 軍馬ノ徵發ニ因ル影響

軍馬ノ徵發ニ因リ馬車運搬ノ不自由ヲ感シ從テ工事材料ノ運賃ヲ高騰セシメ又多少工事ノ遲延ヲ餘議ナクセシモノアリシモ事業ノ上ニ大ナル蹉跌ヲ來タスカ如キコトナシ

(三) 燃料油ノ消費統制ニ因ル影響

輕油ノ消費節約ニ因ル「トラツク」ノ運轉縮少ハ工事材料運搬ノ上ニ相當ノ影響アリ石油並重油ノ消費統制ハ本年灌漑期以後ニ於テ揚水機ノ經營ニ相當影響アルヘキヲ豫想セラルルモ未タ其ノ程度ヲ知ル能ハス

(四) 工用材料ノ騰貴ニ因ル影響

工用材料中最大ノ影響ヲ與ヘタルモノハ鐵材ニシテ縣營用排水幹線改良事業ノ如キハ三割程度ノ豫算増額ヲ來タシ尙且材料ノ調達困難ニシテ工事着手ノ遲延スルモノ多シ其ノ他ノ材料中、木材人夫及運搬費ノ高騰ニ伴フ砂、石材ノ騰貴ハ一割乃至二割程度ニ達セリ

(五) 時局ニ關スル農耕潰地ノ影響

時局ニ關スル工場、飛行場、病院其ノ他ニ因ル農耕地ノ潰滅スルモノハ縣下ヲ通シ相當大面積ニ達シ耕地ノ狹小ナル本縣トシテハ頗ル苦痛トスルコロナルカ今回之カ補充ノ爲特ニ開墾助成ノ豫算ヲ計上シ急激ナル農業經營ノ變化ヲ避クルノ途ヲ講セラレタルコトハ寔ニ満足トスルコロニシテ之ニ依リテ銃後農村ノ救済セラルルコト蓋シ甚大ナルヘシ

今後採ルヘキ方策

前記ノ狀況ニ鑑ミ耕地事業トシテ農業組織ノ上ニ於ケル缺陷ヲ補ヒ天惠ノ資源ヲ開發シ依テ銃後農村ノ強化更生ヲ計ラシカ爲左ノ方策ヲ行ハントス

一、開墾ヲ獎勵シテ耕作面積ノ増加ヲ計リ同時ニ資源開發ノ爲ニスル特殊農産物ノ生産ニ依ル農業ノ多角經營ヲ獎メ農村勞力ヲ有效ニ消化シ又食糧ノ自給ヲ資ケ農家經濟ノ更生ヲ計ルヘシ而シテ開墾ハ小農ノ耕地所有面積擴張若ハ自作農創設ノ趣旨ニ沿フコトニ注意スヘシ

二、養蠶地方ニ於ケル桑園ノ一部ヲ開田シテ專業經營ノ弊ヲ矯正シ食糧ノ自給ニ努ムルコト

三、農業水利ノ改良ヲ行ヒ旱害、水害、潮害等ノ災害ヲ除却シ生産ノ増加並生産費ノ遞減ヲ計リ農家經濟ノ安定ヲ期スヘシ

此ノ目的ヲ達スルタメ集團地ノ用排水幹線改良工事ヲ一層進行シ之ニ伴フ小支線及一般耕地ノ用排水改良工事ヲ施

行シ更ニ水利上ノ副施設トモ云フヘキ暗渠排水、耕地ノ床締並客土ヲ夫々適地ニ應シテ施行スルコト

香川縣

現況

本縣ハ農耕地ニ對シ農家戸數多キコト全國第一位ニアリ從テ事變前ニアリテハ相當勞力ノ餘剩ヲ有シ所要物資亦比較的容易ニ求メ得ラレ各種耕地事業ハ順調ニ進展シ來リシカ事變勃發以來勞力頓ニ拂底シ勞銀ハ各種材料ト共ニ著シク昂騰シテ事業進捗上幾多ノ障礙ヲ來シ功程ノ遅延止ムナキ状態ニアリ乍併本縣ハ用水設備ニ於テ甚シキ缺陷ヲ有スルカ故ニ特ニ勞力ノ節減ト生産確保ノ爲各種耕地事業ニ對シ官民一致營々力行ニ努メツツアリ
尙各耕地事業ニ付キ其ノ現況概要ヲ述フレハ左記ノ如シ

一、耕地擴張改良事業

本縣ニ於ケル現在工事中及工事未着手ノ耕地整理地區ハ殆ト全部開墾及用排水改良事業ヲ目的トスルモノニシテ開墾地區ノ内三十四地區、地積三百四十二町五反二畝十九步、事業費豫算四十萬三千九百五十三圓ハ既ニ開墾助成出願済ナルモ未指令ノ状態ニアリ

非常時局ノ影響ヲ受ケ潰地トナリタル耕地尠ナカラス之ニ代フヘク耕地擴張ヲ行ヒ農村經濟ノ安定ト農産資源ノ開發ヲ緊急トスレトモ助成法ノ恩典ニ據ラサレハ事業施行困難ナル狀況ニ在リ助成指令ノ速カナランコトヲ要望スル事切ナルモノアリ

二、縣營用排水改良事業及農用公共施設事業

縣營ヲ以テ用排水改良事業及農用公共施設事業ヲ施行中ノモノ及將來施行セントスルモノ左ノ如シ

現在施行中ノモノ

種別	主要工事	箇所數	受益面積	事業費總額	備考
用排水改良事業	溜池築造 溜池嵩上及改良	一 二	一〇二 六四八町	六九〇,〇〇〇 九〇,〇〇〇	綾川沿岸門入池 龜越池
農用公共施設事業	溜池築造	一	一〇二	(七三,四〇〇) 三四,七九六	中山池

將來施行セントスルモノ

區分	種別	主要工事	箇所數	受益面積	事業費總額	備考
昭和十三年度施行豫定ノモノ	用排水改良事業	溜池築造及水路改良	一	四、八二〇町	一、五五、〇〇〇	香東川沿岸
計畫完了ノモノ	同	同	一	一、三〇〇	六、一〇、〇〇〇	三豐郡中部
目下計畫中ノモノ	同	溜池築造 幹線水路改良	二 一	五〇〇 一、五〇〇	二〇〇,〇〇〇 四〇〇,〇〇〇	大川郡譽水村 綾川下流部、木田郡平井町

右現在施行中ノ各事業ハ何レモ時局ノ影響ヲ受ケ進捗意ノ如クナラス設計變更ヲ餘儀ナクスルノ状態ニアリ
三、移動式小型揚水機施設事業

事變發生以來人力ノミニ依ル灌漑揚水ハ甚タ至難トナリ本施設ヲ要望スルモノ甚タ多ク昭和十三、十四年度施行見込左ノ如シ

	地區數	灌漑地積	唧筒臺數	原動機臺數	備考
昭和十三年度施行見込	(一一) 八三	(一四八・八) 八五二・三	(一一) 八六	(一一) 八七	() 内ハ割當決定シタルモノ
同十四年度以降ニ施行見込	一一三	八三三・〇	一一八	一一八	
計	一九六一	六八五・三	二〇四	二〇五	

四、普通暗渠排水事業並暗渠排水、床締、客土事業

本縣ニ於ケル暗渠排水、床締、客土事業施行豫定箇所ハ施行容易ナルノミナラス其ノ效果著大ナル爲之ヲ要望スルモノ逐次増加セル狀況ニシテ昭和十三年度ニ於テ左記ノ如ク施行ノ豫定ナリ

(一) 普通暗渠排水事業施行豫定

種	別	地積	事業費
暗(普通)渠	排水	一五・〇町	三、八四〇円

(二) 暗渠排水床締、客土事業施行豫定

種	別	地積	事業費
暗渠	排水	二〇・〇町	五、〇六〇円
床締	客土	一三・〇町	一、七八〇

五、自作農創設未墾地開發事業

本縣ニ於ケル農家一戸當耕作反別ハ僅ニ五反九畝歩ニ過キス而モ小作農ハ本邦中最多數ヲ占ムル状態ニアルヲ以テ本事業ヲ希望スルモノ亦甚タ多ク昭和十三年度ニ於ケル施行見込左ノ如シ

昭和十三年度施行見込

種	別	開發地積	事業費	備考
開	畑	三〇・〇町	一八、〇〇〇円	個人開發分
開	田	三・〇町	一、八〇〇	町村開發分
計		三三・〇町	一九、八〇〇	

今後採ルヘキ方策

現下非常時局ニ於ケル本縣耕地事業ノ現況ハ前述ノ如キ狀況ニアルヲ以テ之ニ對應シ今後採ルヘキ方策左ノ如シ

一、旱害防止對策ノ確立

本縣ハ降雨少ク用水不足ニ因ル被害巨大ナルヲ以テ旱害防止計畫ノ實施ハ最モ緊急重要ノ事業トシテ用排水改良事業並農用公共施設事業ニヨリ其ノ萬全ヲ期セントス

二、開墾事業ノ獎勵

(一) 本縣ハ農家一戸當耕作反別全國ノ最下位ニアリ依テ農村經濟ノ基礎ヲ確立シ非常時ノ農村生活安定ノ完璧ヲ期スル爲ノ開墾助成事業及自作農創設未墾地開發事業ノ促進ニ努メントス

(二) 本縣ハ農産資源開發適地多キカ故ニ國策ニ順應シ一層之レカ獎勵ニ努メントス

三、耕地及灌溉設備ノ改良

農村勞力ノ補給ト増産ノ爲移動式小型揚水機ノ設置、指導獎勵並暗渠排水、床締、客土事業ノ施行ヲ普及セシメントス

四、事業經營ノ監督ニ關スル件

耕地整理事業ノ經營ノ良否ハ直接銑後農村經濟ニ影響スル處甚大ナルニ依リ指導監督ノ萬全ヲ期セントス

愛媛縣

現況

本縣ニ於テ昭和九年度及昭和十年度風水害復舊事業ノ内昭和十二年度分事業量全額ニ於テ四十一萬一千六百圓ナルモ

進捗狀況順調ニシテ年度末ヲ以テ完了セリ用排水改良事業ハ立花村外三箇村用排水改良事業モ本年三月末完了シ目下
 工事中ノモノハ南伊豫村外三箇村用排水改良事業及北條町外二箇村用排水改良事業、氷見町外一箇村用排水改良事
 業、銅山川用排水改良事業ノ四地區ニシテ何レモ順調ナル進捗ヲ見ツツアリ
 開墾助成地區ニアリテハ最近頓ニ減少シ工事中ノモノ三地區ニ過キサレモ開墾ヲ出願スルモノ續出シ之カ調査ノ爲目
 下多忙ヲ極メツツアリ

普通耕地整理及暗渠排水等ハ従前ト大差ナキモ從來災害対策事業等耕地整理法ニ依ラスシテ施行セルモノ多カリシ爲
 幾分減少ノ徴アリタルモ此等ノ事業完成ニ達シタルヲ以テ普通耕地整理事業ノ企畫勃興ノ徴アリ
 今後採ルヘキ方策

本縣ニ於ケル水田農業ハ古クヨリ集約ニ經營セラレ從テ此等水田ニ附屬スル溜池、用排水路等ノ附屬設備ハ相當限ナ
 ク行互ルト雖何レモ幼稚不完全ナル設備ニシテ一度旱天ニ遭遇センカ地勢上各河川共受水面積狭小ニシテ用水源枯渴
 シ忽チ被害ヲ蒙リ且ツ豪雨出水ノ際ハ堤防ノ決潰或ハ山岳ノ崩壊ニ依リ被害ノ範圍大面積ニ波及スル虞アルモノ尠ナ
 カラス又本縣ノ地勢上五百町歩以上ノ集團の耕地帶數少ク用排水幹線改良事業ニ該當セサル五百町歩未滿ノモノ各地
 ニ散在スルヲ以テ之等ニ對スル用排水事業ノ施設ヲ適當ナル助成制度ノ許ニ改良ヲ行ハシムルコトハ本縣全體トシテ
 極メテ緊要ノ事項ト認メラル現在數地區ニ於テ施行シツツアル用排水幹線改良事業及五、六箇所ノ豫定地區ノ事業ヲ
 促進セシムルト同時ニ小用排水事業ニ對シテモ政府ノ適當ナル助成ヲ得將來ノ災害ヲ未然ニ防止スルコト肝要ナリ
 時局ノ重大性ニ鑑ミ此ノ際需給ノ特ニ増大スル農産物ニ付積極的ニ増産ヲ企圖スルト共ニ一般食糧農産物増殖ノ確立
 ヲ期スル爲耕地ノ擴張ヲ促スコトハ眞ニ緊切ノ事柄ナリ而シテ本縣農村事情ト農業經營トノ實情ハ山地部ニ在リテハ
 山村ノ存立上必然的ニ小規模ノ開墾熾烈ニシテ島嶼部及沿岸部ニ在リテハ特殊農産物栽培ノ銓後農村振興ニ及ホス影
 響ニ刺戟セラレ開墾事業ハ急激ニ勃興セントシ加之今回新ニ宇和島市ニ國營酒精工場ノ建設ヲ見ントシ之カ原料増産

ノ爲益開墾事業ハ縣内一般ノ要望スル處トナルニ鑑ミ今後斯業ノ急速ナル實現ヲ期スル爲適當ナル助成方針ヲ確立シ
 獎勵セントス

高知縣

現況

支那事變勃發ニ依リ農村勞力ニ急激ナル變化ヲ來シ爲ニ縣下耕地事業ニ付テモ異常ノ影響ヲ免レス是カ遂行ニ關シ
 障害ナキヤヲ尠ナカラス憂慮サレタルモ縣民ハ政府ノ方針ニ基キ戰時體制下ニ處スル國民ノ覺悟ヲ固クシ隣保共
 助、勤勞奉仕ノ精神ヲ發揚シ農村勞力ノ補給充實ニ努メタル結果耕地事業ニ於テモ概シテ之カ圓滑ナル施行ヲ見ル
 ニ至レリ

農民ノ緊張ハ更ニ進テ勞力消費ノ内容ニ付キ新ナル檢討ヲ加ヘ勤勞ノ合理化ヲ計リ依テ得タル餘剩勞力ヲ他ノ重要
 ナル事業ニ轉換シ以テ國策遂行ニ貢獻セントスルノ意氣ニ燃ユルニ至レリ

是カ第一次の手段トシテ從來徒ニ消費サレツツアル勞力ノ節約ヲ計ルト共ニ耕地改善ニ依テ來ル增收ヲ期スル目的
 ヲ以テ暗渠排水、用排水幹線改良及農用公共施設ノ施行ヲ要望シ又最近政府カ勞力合理化ノ手段トシテ計畫セル小
 型揚水機施設助成ノ如キハ時局柄最モ機宜ニ適シタル事業ニシテ農村ニ於テ之カ施設ヲ計畫セルモノ多ク更ニ又銚
 後産業ノ擴充ヲ目的トスル開墾助成法ニ依ル開墾事業並資源開發開墾及自作農創設開墾等ノ事業ハ政府ノ獎勵ト相
 俟テ其ノ計畫ヲ企圖スルモノ日ヲ追テ増加スルノ現況ナリ

今後採ルヘキ方策

一、政府ハ他ノ農業關係團體ト協力シテ滿、支及外地ヲ考慮ニ入レタル帝國農業ノ根本的方針ヲ確立シ耕地事業實施

ノ計畫ヲ樹立スルノ要アリ

- 二、時局ニ鑑ミ耕地ノ重要性ヲ強調シ一層耕地愛護ノ精神ヲ振起スルノ方途ヲ講スルノ要アルコト
- 三、耕地關係事業ノ施行ニ要スル機械利用並資金ノ融通等ヲ一層徹底シ之カ助成ノ完璧ヲ期スルコト
- 四、農業水利法ヲ制定シ水ノ利用ニ付合理的統制ヲ圖リ耕地ノ擴充及生産力ノ充實ニ資スルコト
- 五、縣ノ採ルヘキ方法

農民ノ時局ニ對スル認識ト此美風ヲ善導シ以テ國策ノ圓滑ナル遂行ニ資スル爲之カ指導ニ、計畫ニ、監督ニ些ノ遺憾ナキヲ期シ進テ政府ニ向テ左記事業ニ對スル助成ノ徹底ヲ要望セントス

(一) 耕地擴張事業

本縣ハ氣候溫暖ニシテ農業上各種ノ天惠尠ナカラサルモ耕地ノ面積僅少ニシテ平均耕作反別田畑ヲ通シ九反歩ニ過キス且米作收量反當平均僅ニ一石八斗内外ヲ出テサル状態ニシテ毎年縣外ヨリ移入ヲ餘儀ナクサルモノ實ニ十九萬餘石ニ達スルノ狀況ナリ

是カ對策トシテ耕地ノ擴張開發ニ力ヲ致シ縣下食糧問題ノ解決ニ資シ大ニ開墾事業ヲ獎勵シ以テ燃料飼料等増産ニ貢獻セントス

(二) 耕地改良事業

天惠の條件ニ惠マレタル本縣ニ於テ米作反當收量ノ僅少ヲ來ス主要ナル原因ハ最近ノ調査ニ依レハ次ノ如シ

原	因	減	收	面	積
用水不足ニ依リ	減收ヲ來スモノ				七、一七五町
排水不良ニ依リ	減收ヲ來スモノ				六、六二〇

地下水高キニ依リ	減收ヲ來スモノ				一、六二〇
水害頻發ニ依リ	減收ヲ來スモノ				七、六八一
計					二三、〇九六

右ノ如クニシテ一萬五千餘町歩ハ殆ト常時減收ヲ餘儀ナクサレ尙七千六百餘町歩ハ屢々災害ニ苛ナマルルノ状態ナリ

是レカ缺陷ヲ是正シ勞力節約並反當收量ノ増加ヲ計ル爲縣ハ用排水幹線改良、暗渠排水、農用公共施設事業ノ促進ヲ計リ以テ非常時局ニ備ヘ縣下產業ノ伸展ニ資セントス

福岡縣

現況

一、耕地整理事業

耕地整理施行ノ認可ヲ爲シタルモノ地區數一千五百七十五、地積四萬三千五百九十餘町歩ニシテ事業費豫算三千九百五十四萬餘圓ヲ算シ工事完了セルモノ三萬二千八百餘町歩、組合解散又ハ事業完了セルモノ地區數七百九十五、地積一萬六千六百餘町歩ニ達セリ

二、開墾助成事業

開墾助成事業ハ開墾助成法ノ承認ヲ受ケタルモノ三百三十一、地積五千三百餘町歩ニシテ既ニ成功セルモノ四千四百餘町歩ニ及ヘリ此ノ外助成出願シテ其ノ承認ニ至ラサルモノ六十七、地積一千町餘歩、事業費百八十餘萬圓ニ達ス尙出願準備中ノモノ三十二、地積五百七町歩アリ

三、小園地開墾事業

福岡縣

耕地ヲ擴充シ又ハ潰廢耕地ヲ補足シ、經濟更生ニ資セントスルモノ等五町步未滿ノ小團地開墾ヲ必要トスルニ鑑ミ昭和十二年度ニ於テ開畑百町步ヲ施行セシメ毎年度約百町步ヲ期シ開墾セシムル豫定ナリ

四、暗渠排水事業
暗渠排水工事ハ明治四十三年以來約一千町步ヲ施行セシメタルカ現在本縣ニ於ケル田地十一萬二千三百町步中濕田約一割就中二毛作不能ノモノ二千七百餘町步ナリ最近ニ於テハ昭和七年時局匡救農業土木事業開始以來濕田改良工事ヲ施行セシメツツアルニ其ノ實績頗ル良好ニシテ昭和十三年度ニ於ケル五十町步ヲ合スルトキハ施行地積五百町步ヲ算セリ

五、用排水幹線改良事業
用排水幹線改良事業ニシテ現ニ國庫補助ヲ受ケ工事中ノモノ六箇所、關係地積七千八百九十餘町步、事業費總額百三十六萬餘圓ニ達シ目下國庫補助金交付ニ關シ打合中ノモノ三箇所、事業費百二十三萬圓ナリ

六、鑛業被害地復舊事業
石炭採掘ニ伴ヒ土地陷落セルモノ又ハ鑛毒水ニ依ル被害耕地實ニ七千七百餘町步ニ及ヘリ昭和七年ヨリ三箇年ニ亘リ時局匡救農業土木事業トシテ復舊整理ヲ行ヒ其ノ後引續キ毎年四十町步ヲ施行セシメツツアルモ其ノ實績ハ被害地ニ對シ九牛ノ一毛ニモ過キ目下審議調査中ノ賠償規程ノ制定及國庫補助金交付ノ施設ヲ速ニ實現セシメラルルノ要アリ

七、農用公共施設新設改良事業
縣下田地十一萬二千餘町步ノ用、排水設備中其ノ工作物ノ腐朽、粗惡等ノ爲灌溉、排水ニ支障ヲ來シツツアルモノ尠ナカラス之カ改良新設ヲ必要トスルモノ實ニ一千百餘萬圓ヲ算ス
昨昭和十二年度中ニ實施セルモノ十二箇所、事業費三萬二千餘圓、關係地積九百九十餘町步ナリ之等ノ耕地ハ全ク

早、水害ヲ除去シ安シテ農業經營ニ從事シ精神的ニ受クル好感亦莫大ナリ

八、客土、床締事業並小型揚水機設置
客土、床締事業ヲ必要トスルモノ二百八十餘町步、事業費十萬五千餘圓、小型揚水機ノ設置ヲ要スルモノ三百五十餘臺ニ及ヘリ
昨昭和十二年度中ニ實施セルモノ

客土事業	四町餘反步、其ノ事業費	一千五百餘圓
床締事業	十町餘反步、其ノ事業費	七百餘圓
小型揚水機	十三組、其ノ事業費	七千八百餘圓

ニシテ其ノ成績極メテ良好ナリ

九、自作農創設開墾事業
昭和十二年度自作農地開發豫定地積八個人施行二百九十餘町步、本年度二百九十一箇所、地積百四十九町步ニ達シ此ノ外市町村其ノ他團體施行豫定四箇所、百十町步ナリ

一〇、農産資源開發開墾事業
本年度農産資源開發開墾施行豫定地積四百町步ニシテ此ノ種開墾ヲ希望スル者頗ル多シ
今採後ルヘキ方策
事變下ニ於ケル耕地事業ハ物資ノ騰貴ト應召軍人並軍需及其ノ他工場、鑛山等ニ就勞スル者多キヲ加フルニ伴ヒ一般ニ人夫賃昂騰シ且農村勞働力減少等ニ依リ事業ノ企畫經營容易ナラス加ヘテ低利資金ノ供給少額ナル爲資金ノ調達財務計畫ニ及ホス影響尠シトセス

本縣ニ於ケル耕地ハ十四萬三千二百餘町步ニシテ河川、道路ノ改修築、工場、宅地ノ敷地其ノ他石炭採掘ニ依ル土地

陷落等ノ爲潰廢セルモノ頗ル廣大ニシテ耕地ノ擴張改良ヲ圖リツツアリト雖既往十箇年間ニ於テ每年平均二百九町餘歩ヲ減シ更ニ事變下ニ於ケル軍事關係其ノ他諸工場ノ擴張新設ニ依リ潰廢スルモノ頗ル多キヲ加ヘツツアリ米穀ハ平年八十數萬石ノ不足ヲ訴ヘ人口増加ニ伴ヒ其ノ數ハ年毎ニ増大スル實情ニアリ

サナキタニ現下ノ長期戰ニ對應スルニハ耕地ヲ擴張改良シテ米麥、軍需工業原料及貿易關係農產物ノ増加ヲ圖リ軍需品ノ充足、輸入ノ防遏、輸出ノ増進ニ依リ國際經濟ノ改善ニ資スルノ要喫緊ナルノ秋ニ方リ政府ハ此種事業ノ助成豫算ヲ多額ニ計上シテ事業者ノ負擔ヲ輕減セシメ以テ事業ノ促進ヲ計ルノ要切實ニ大ナリ

銃後ノ農山漁家ヲ見ルニ多數ノ應召將兵ト徵發馬匹ヲ出シ又軍需工業其ノ他ニ其ノ子弟カ轉出シ個々ノ應召等ニ依リ農山漁家ニ於テハ勞働力缺乏セリ而モ銃後農山漁村ニ於ケル第一ノ問題ハ生産力ノ確保及増進ヲ必要トスルニ鑑ミ茲ニ本縣ニ於テハ農產物増産耕地擴張改良五箇年計畫ヲ樹テ軌條的ニ計畫ノ實施ヲ促サントス

佐賀縣

現況

縣下ニ於ケル現下ノ耕地事業ヲ見ルニ當リテ過去五箇年間ニ於ケル事業ノ平均ト昭和十三年度ニ於ケル事業トヲ比較スレハ左ノ如ク各事業ニ依リテ各増減ヲ示セリ

耕地整理事業費決算額 開墾助成事業費決算額 暗渠排水補助事業施行額 災害復舊其ノ他救濟事業	五箇年間平均 (自昭和七年度 至昭和十一年度)	昭和十二年度	比較増減
	六〇八、四四二 五五〇、五一九 八、七〇四 三〇六、〇三一	三九五、六七八 三七〇、五九六 一八、五七〇 五一二、二六四	三五%減 三三%減 一一%増 六七%増

用排水幹線改良事業決算額	計	一九九、五〇三 一、四九六、六一三	五六%増
	一二七、九四七 一、六〇一、六四三		

右ノ表ニ依レハ昭和十二年度ニ於テハ非常時局ノタメニ受ケタル影響ハ認メ難キモ近年ノ趨勢トシテ耕地整理及開墾事業ハ減少セルニ反シ用排水事業及暗渠排水災害復舊其ノ他ノ救濟事業等ノ増加ヲ示セルハ助成費ヲ増減シタル政府ノ方針ニ因ルトハ雖其ノ事業ノ性質ニ自ラ異ニスル處アルヲ發見スル即チ前者、耕地整理及開墾助成事業ハ耕地自體ノ造成及改良ヲ主ナル目的トシ土地所有者ノ利益ニ重キヲ置ク事業ト謂フ事ヲ得ヘク後者即チ排水事業及水害復舊事業等ハ灌溉水利設備ノ改良又ハ復舊ヲナスモノニシテ耕作者ノ利便ニ重キヲ置ク諸事業ト謂フヘシ

蓋シ我國明治以來ノ自由經濟主義ハ耕地事業ニ於テモ地主ノ利益タル事業ノ促進ヲ圖リタルモ資力ニ乏シキ耕作者ノ水利ニ對シテハ寧阻害サレテ未タ其ノ利用完全ナルモノ僅少ナリ

近時石炭ノ採掘量激増ニ伴ヒテ坑道亂掘ノ爲用水源ヲ枯渴セシメ或ハ地盤ノ陥没等ニ依リ耕地ノ潰廢スル箇所多ク其ノ數實ニ二百八十五町歩ニ達セントスル現況ナリ一面縣ニ於テハ燃料國策ニ從ヒテ酒精原料タル甘藷ノ栽培ヲ獎勵シツツアルモ本縣ニ於ケル畑地ハ總耕地面積ニ對シテ僅カ二十五%ニ過キササルヲ以テ之等資源作物ノタメ畑地開墾ノ必要ヲ痛感ス

今後採ルヘキ方策

現下ノ非常時局ニ於テ國家經濟力ノ消長ハ長期抗戰ニ對スル重大要件トサルル秋ニ當リ農村ノ生産力ヲ維持セシメ社會各般ノ原動力ヲラシムルニ當リテハ前記ノ潰廢耕地ノ復舊或ハ之ニ換フヘキ耕地ノ補充ニ努ムルト共ニ酒精原料タル甘藷又ハ飼料、其ノ他輸出入國際收支ノ改善ヲ圖ルヘキ作付面積ヲ尙一千町歩増加セシムル目標ニシテ其ノ内七百町歩ヲ今後五箇年間ニ開墾セシメントスル計畫ナリ尙現況ニ於テ述ヘタル如ク本縣ノ水利施設及制度ハ舊慣ヲ踏襲シ

之カ改良ノ上ハ耕作ノ安定ハモトヨリ生産ノ増加ヲ圖リ得ヘキモ尠ナシトセサルヲ以テ用排水事業ノ整備ト水利運用上ノ制度確立ヲ望テ止マサル處トス

長崎縣

現況

現下非常時局ニ於テ耕地事業カ如何ニ重要ナルカハ今更論スルヲ要セサル處ナリ然レハ事業ノ現況果シテ如何ト言フニ今次事變ヲ契機ニ一層之カ認識ヲ深クシタリト言フヲ得ヘク即チ國民精神總動員運動ノ主旨ヲ體シ市町村ヲ單位トシ青壯年層ヲ以テ組織スル自強奉仕團ヲ結成セシメ之カ對照事業ヲ耕地關係事業トシタル等其ノ一例ニ過キサルモ動モスレハ勞力配分意ニ任セサルニ克ク各種事業進捗シ成績顯著ナルヲ觀ルヲ得ヘシ

次ニ事業ノ全般ニ亘ル出願件數ニ於テモ著シキ増加ヲ見ツツアルノ状態ナリ今項ヲ逐フテ之カ概要ヲ述ヘントス
一、耕地整理事業

昭和十三年三月末ニ於ケル認可地區數一千五百八十、面積一萬四千五百六十五町餘步、事業費豫算一千五百四十三萬餘圓、内工事終了シタルモノ、地區數六百五、面積四千六百八十五町餘步事業完了シタルモノ地區數百五十八、面積一千三百三十七町餘步ナリ而シテ右地區中ニハ開墾助成事業又ハ旱水害事業ニシテ耕地整理法ニヨリ施行セルモノヲ包含シ之等特殊ノモノヲ除ク一般普通耕地整理事業即チ一町步以上ノ區劃整理、小開墾、小用排水、小設備等ノ事業量極テ多キモ補助豫算等ノ關係ニ制限セラレ大部分之カ採擇ニ困難ヲ來シツツアル現狀ナリ

二、開墾助成事業

本縣開墾事業中左表ニ示ス如ク如ク開田事業カ開畑事業ニ比シ多キヲ見ルハ農山村ノ生活ノ安定ヲ期センニハ先ツ米作ニ於テ縣内需給ノ調整ヲ計ルノ要アルヲ窮知シ得ヘク次ニ開畑事業ニアリテハ柑橘、枇杷、茶、百合根等縣特

產品ノ相繼新市場開拓ト燃料對策、國際收支ノ改善等重要國策ニ副フ各種農產物ノ増殖獎勵ハ益經營ヲ有利化シ頓ニ本事業ノ勃興ヲ見ルニ至レリ

事業現況一覽表 (昭和十二年末)

區分	地區數	地積	同		事業費
			田	畑	
事業終了	1011	1,016,085.5	640,193	555,833	3,491,131.6
工事終了	23	496,506	354,298	132,336	2,151,731.7
出願中	8	96,814	59,714	5,600	109,110.00
調査終了出願準備中	28	187,333	70,915	26,916	442,151.00
調査中	5	1,498,691.0	91,486	57,103	4,156,653.5
計	1075	3,197,496.5	2,115,888	1,191,909	11,251,777.8

三、用排水幹線改良事業

現下時局ニ際會シ物價勞銀ノ昂騰勞力不足ノ影響ナシトセサルモ銃後國民ノ責務ヲ一層完フスルノ氣魄ヲ以テ各種團體等競フテ就勞シ或ハ國防獻金ノ軍國美談ヲ生ミタルカ如ク事業ハ極メテ堅實ナル歩ミヲ續ケツツアリ而シテ既ニ用水幹線ノ事業完了セルモノ六箇所、關係面積一千六百六町五反步、事業費五十萬三千圓、目下事業中ノモノ一箇所、關係面積五百六十町步、事業費十四萬八千圓、排水幹線一箇所、關係面積七百四十七町步、事業費二十八萬五千圓、昭和十三年度分トシテ申請中ノモノ排水幹線一箇所、關係面積八百六十町步、事業費八萬圓、今後調査見込ノモノ用水幹線二箇所ヲ存ス尙五百町步、未滿ノ小用排水事業ニアリテハ尙相當數ニ上ルモノアリ

四、災害復舊事業

昭和九年以來本年ニ亘リ旱害、風水害等ノ災害相亞テ起リ之カ復舊ニ付テハ國ノ施設ニ則リ工事ノ萬全ヲ期シ督勵

ニハ特ニ意ヲ用ヒタル結果年度内ニ何レモ豫定ノ事業ヲ終了セル加之ス後年度ニ屬スル一部ヲモ完了スルヲ得タリ
左ニ進捗狀況ヲ表示ス

事業種別	昭和十二年度決算高	進捗狀況
旱害應急事業	三二、六六七 ^四	完了
昭和十一年水害復舊事業	一七八、八五一	同
同 十二年水害復舊事業	六一、七二〇	同
計	二七三、二三八	

五、農用公共施設新設改良事業

本施設ハ特ニ本縣ノ如キ地勢地貌ニ於テ極メテ有効適切ナルモノニシテ現下時局ニ於テ特ニ其ノ緊要性ヲ痛感スルモノナリ即チ曩ニ申請セルモノノミニテモ箇所數三百四十餘、其ノ事業費九十八萬圓、此外更ニ九十萬圓ニ達スルモノアリ以上ニ對シ昭和十二年度ニ於テ施行セルモノ八箇所、二萬六千圓ニ過キササル狀態ナリ

六、暗渠排水、床締、客土事業

本事業亦施行ノ效果良好ニシテ逐年其ノ希望多數ニ上ルモ配當豫算ノ關係上特ニ地區ヲ嚴選實施中ナリ最近ニ於ケル實施狀況ヲ見ルニ出願數六十四、地區面積五百三町步、事業費二十四萬六千七百餘圓ナリ昭和十二年度施行地區數十三、面積二十八町一反餘步、事業費一萬二千八百圓ニシテ之等地區ハ裏作トシテ普通作ノ外蔬菜栽培ヲ以テ相當巨額ノ收益ヲ擧ケ農家經濟ニ寄與スル處大ナルモノアリ

七、移動式小型揚水機施設

昭和十二年度ニ於テ本事業施設公布セラルルヤ地形、水利ノ關係上利用地域ハ一部ニ限ラルルモノアルモ其ノ反響ハ特ニ大ナルモノアリ然ルニ電力料金或ハ設備ノ關係又ハ揚程操作等ノ關係上電動機使用困難ニシテ渦卷ポンプヨ

今後採ルヘキ方策

一、改良事業トシテ今後採ルヘキ方策

改良事業トシテ從來實施シ來レル處ハ何レモ農村振興上寄與セル處多大ナルモ更ニ將來特ニ本縣ノ執ルヘキ方策ヲ述フレハ左ノ如シ

(一) 用排水幹線改良事業

改良事業中農村振興上大ノ效果ヲ齎ス本事業ハ將來ニ於テモ未タ其ノ必要ヲ認ムル箇所尠ナカラス順ヲ逐フテ實施ノ機運アルモノヨリ調査計畫セントス

(二) 暗渠排水、床締客土事業

從來施行セル實例ニ徴シ其ノ效果ノ著大ナルニ鑑ミ近來其ノ希望各地ニ起リ申請モ相當件數ニ上レリ此際國庫ノ補助ト相俟チテ施行ノ獎勵指導ヲ行ハントス

(三) 農用公共施設新設改良事業

現況ニ於テ述ヘタルカ如ク要望事業量ニ對シ實施極メテ少キモ其ノ成績見ルヘキモノアリ依テ國ノ施設ト相俟テ順次擴充強化ニ努メントス
此内農道ニ就テハ農業組織ノ改善ニ伴ヒ必然的ニ其ノ要望熾烈ナルモ現下ノ狀勢ヨリシテ急速ニ本事業トシテ施行ノ見込薄ノ感アルニヨリ縣ハ本年度ニ於テ特ニ農道改良事業ニ對スル補助豫算ヲ計上シ之カ助長發達ニ努メントス

二、擴張事業トシテ採ルヘキ方策

(一) 開墾助成事業

擴張事業中ノ根幹ヲ爲ス本事業ニ付テハ調査計畫ノ周到ヲ期シ從來動モスレハ經營難ニ陥リ易カリシ種類ノ事業ニ付テハ特ニ再檢討ヲ加ヘ萬全ヲ期セントス

(二) 自作農地開發助成事業

本事業ハ極メテ適切ナル方策ナルヲ以テ施行ノ要望アルモ取扱上ノ繁雜ニ禍セラレサルヤノ感ナシトセス依テ更ニ之等ニ檢討ヲ加ヘ圓滑ナル遂行ヲ期セントス

(三) 農産資源開發助成事業

時局對策トシテ極メテ機宜ノ施設ニシテ其ノ希望地積九百五十餘町歩、事業費七十七萬圓ナルカ之ニ對シ僅ニ本年度施行ヲ認メラレタルモノ四分弱ニ過キササルヲ以テ特ニ嚴達施行セシムルコトトス

三、其ノ他各般ニ對スル事項

(一) 事業ノ企畫ニ當リテハ特ニ人的要素ニ重點ヲ置クコト

(二) 基本調査ヲ完成シ綜合的の見地ヨリ積極的指導方針ヲ樹立シ事業ノ達成ヲ期ス

(三) 經營困難地區ニ對シテハ更ニ之カ原因等ニ再檢討ヲ加ヘ救濟方策ヲ確立ス

(四) 現下時局ニ際シ耕種作業ニ付共同經營ノ勸奨ニ努ム、特ニ經營困難地區ニ於テ爲サシメタシ

熊本縣

國力ノ充實ヲ計リ以テ長期戰ニ對應スルニハ不斷ノ努力ヲ以テ主要食糧其ノ他農産物ノ生産擴充ニ努メサルヘカラサルハ論ヲ俟タサルトコロナリ而シテ之カ擴充ノ根本方策タル耕地事業ノ益縣下各地ニ勃興ノ氣運ニアルハ重大時局下

ニ於テ洵ニ喜フヘキ狀況ニアリ

現況

一、用排水幹線改良事業

用排水幹線改良事業ハ本縣ニ於ケル最モ重要且緊急ヲ要スヘキ事業ニシテ昭和四年井芹川坪井川排水幹線改良事業ニ其ノ端ヲ發シ爾來年々之カ施行ヲ見ルニ至レリ其ノ概況左ノ如シ

事業名	種別	受益面積	年	度	事業費	關係區域
井芹川坪井川排水幹線改良事業	排水	一、一六四町	自昭和十三年	至昭和十五年	一、六八九、五八〇	熊本市
流藻川排水幹線改良事業	同	一、三七〇	自同	至同	七三〇、〇〇〇	八代郡
白川下流掛用水幹線改良事業	用水	一、一四二	自同	至同	四五〇、〇〇〇	飽託郡
鏡川排水幹線改良事業	排水	七二七	自同	至同	三一五、六〇〇	玉名郡
迫間用水幹線改良事業	用水	一、〇七一	自同	至同	一七三、五〇八	同
幸野溝用水幹線改良事業	同	一、一九八	自同	至同	一一八、〇〇〇	球磨郡
萩尾溜池掛用水幹線改良事業	同	九一三	自同	至同	三八六、〇一〇	下益城郡
大箱川沿岸排水改良事業	排水	一、九四五	自同	至同	三三三、九〇〇	八代郡
郡築新地排水改良事業	同	八三六	自同	至同	三九八、〇〇〇	同
幸野溝下流部用水改良事業	用水	一、一九八	自同	至同	六〇、〇〇〇	球磨郡

天明新川沿岸内田落排水改良事業	排水	七五一	自昭和十三年 至同十四年度	一〇三、〇〇〇	飽託郡
郡築新地用水改良事業	用水	一、〇九四	自同十三年 至同十四年度	一三五、七五〇	八代郡
計		一三、四〇九		四、八九三、三四八	

而シテ其ノ成績良好ニシテ事業完成ノ曉ニハ其ノ效果洵ニ甚大ナルモノアルヘシ尙客年十二月通常縣會ニ於テ新ニ天明新川沿岸、内田落排水並郡築新地用水ノ二改良事業ヲ施行スルコトセリ尙本事業ノ施行ヲ必要ト認ムモノ地區數十七、關係面積二萬一千町步、事業費五百餘萬圓ヲ算シ日關係地元ニ於テ事業實施ノ希望極メテ熱烈ニシテ之カ實現ノ一日モ速ナラムコトヲ希望スルノ狀況ニアリ

二、耕地整理事業

耕地整理事業ニ關シテハ本年三月末現在ニ於テ設立認可地區數五百九十、面積一萬九千三百四十四町步ヲ計上スルノ狀況ニシテ其ノ内容ヲ調査スルニ區劃ノ整理ヲ主トスル所謂一般耕地整理事業ニアリテハ各種ノ事情ニ依リ一時停頓ノ狀態ニアルモ小用排水路、小設備等所謂公共的施設ノ改良、新設ヲ目的トスル事業施行ノ要望多キヲ以テ縣ハ昭和十三年度ヨリ新ニ小用排水、小設備費補助費ノ縣費ヲ相當計上シ此等ノ要望ニ副フコトトセリ

三、暗渠排水並床締客土事業

暗渠排水事業ハ既ニ約三千町步ノ施行ヲ了シ概シテ良好ノ成績ヲ舉ケツツアリ然レトモ縣下水田面積中排水不良ノ爲ニ毛作ヲ行ハサル面積約七千町步ニ暗渠排水工事ヲ施行セシメ過濕地ノ改良ヲ計ルト共ニ地方局部的鑛害、鹽害(例ヘハ玉名郡北部、阿蘇山麓ノ鑛害、有明不知火海岸ノ鹽害)ヲ防止セントスル事業相當施行セラレントスルノ狀況ニアリ

四、開墾事業

本縣ニ於ケル開墾見込地ハ約三萬町步ヲ算シ殊ニ干拓豫定地ニ於テ相當廣範圍ノ面積ニ達スルモ近時各種ノ事情ニ依リ比較的大規模ノ開墾事業ハ一時停頓ノ狀況ニアリ然レトモ農山漁村殊ニ山漁村ニ於ケル主要農産物増殖並農村ニ於ケル特殊作物(例ヘハ飽託、葦北、宇土郡ニ於ケル果樹栽培)等ヲ目的トスル比較的小面積ノ開墾事業ヲ計畫スルモノ多ク殊ニ特記スヘキハ燃料「アルコール」甘藷ノ増産、飼料作物、苧麻、茶ノ増産ヲ目的トスル所謂農産資源開發開墾希望面積ハ昭和十三年度ニ於テ五百六十八町步、事業費五十七萬八千圓ニ達スルノ狀況ニシテ事業益勃興ノ氣運ニアリ

今後採ルヘキ方策

- 一、本縣ノ平坦部耕地ノ大部分ハ潮受堤防ヲ以テ防護セラレ居ルモ其ノ構造貧弱ニシテ缺潰ノ危險性多キ箇所多數ニ上ルヲ以テ此等缺潰ノ災害ヲ未然ニ防止スル事業ノ施行ハ最モ急務ト認メラルルヲ以テ縣財政其ノ他各種事情ヲ考慮シ用排水幹線改良事業並農用公共施設改良事業ヲ急速ニ施行セントス
- 二、開墾事業ニ關シテハ現下ノ狀況ニ鑑ミ特種作物栽培ヲ目的トスル比較的小規模開墾ノ普及徹底ヲ計ラントス就中燃料「アルコール」原料タル甘藷栽培等ニ付テハ極メテ好適地ニシテ之カ増産上小開墾事業ハ最モ必要ニ迫ラレ居ルヲ以テ本事業ニ付テハ特ニ其ノ獎勵ニ努メ國策ニ順應セントス
- 三、開墾實施ニ際シテ成ル可ク農閑期ニ於テ男女青年團員等ヲ就勞セシメ以テ資源ノ愛護、産業ノ發展ニ資シ併テ勤勞修行ニヨリ心身ヲ鍛鍊シ報國ノ實ヲ擧ケントス

四、最近三箇年間ノ本縣耕地潰廢狀況ヲ調査スルニ年々多少増加ノ狀勢ニアルモ近時主トシテ時局ノ影響ニ依ル施設並各種工場建設ノ爲數百町歩ノ耕地(主トシテ畑)潰廢シ又ハ近ク潰廢セントスルノ狀況ニシテ從テ之ニ代ルヘキ新耕地ヲ必要トスル農家戸數モ相當數ニ上ル見込ナルヲ以テ極力之カ補充ニ努メントス

五、時變下ノ農村ハ人員ノ應召、馬匹ノ徵發、軍需工業ノ動員等ニ依リ田植時ニ於テハ益勞働者ノ不足ヲ告クルノ狀勢ニアルヲ以テ移動小型揚水機ノ共同施設ヲ普及セシムルハ勿論用水ノ統制ヲ計リ以テ勞働者不足ノ緩和ニ努メントス

大分縣

現況

一、本縣ニ於ケル耕地事業ハ明治三十四年以來指導獎勵ニ努メタル結果逐次發展シ昭和十三年四月末現在耕地整理認可面積一萬五千七百二十町歩、地區數六百九十箇所ニシテ耕地擴張見込地面積三萬九千町歩ニ對比シ約四割ノ施行ニ過キス前途尙遠達ナリ今事業ノ進捗狀況ヲ示セハ左ノ如シ

區	面積	區數	
		積	地
組合設立施行認可	一五、七二〇町	六九〇	三六五
工事完了	六、七五四	三三八	一一二
換地完了	六、二〇六	一、八一六	
事業完了	一、八一六		

二、用排水幹線改良事業ハ昭和八年荒瀬井堰用水改良事業開始以來漸次發展シ既ニ事業完了セルモノ五箇所、受益面積五千九十四町歩、目下工事中ニ屬スルモノ一箇所、面積一千六百六十六町歩ニシテ事業完了地區ノ成績良好ナル爲

之カ事業ノ施行ヲ要望スルモノ續出シ昭和十三年度着手見込地區トシテ本省ニ報告打合ノモノ六箇所、面積九千九百七十六町歩ノ多キニ達シ尙企業計畫中ノモノ數地區アリ

三、開墾助成事業ハ助成法施行以來逐年進展シ昭和十三年四月末現在ニ於ケル助成出願面積三千六百九十四町歩、地區數百四十三箇所ニシテ其ノ成績良好ナルモ不測ノ障害其ノ他ノ事情ニヨリ經營困難ニ陥レルモノアリ之等ニ對シテハ特ニ十分ナル指導監督ヲ加ヘ其ノ更生ニ努メツツアリ近時東部海岸地方ハ柑橘ニ適スルヲ以テ之カ柑橘畑ノ開墾事業ヲ企圖スルモノ多ク又事變勃發以來軍需工業用地、飛行場用地又ハ軍用地等トシテ潰地トナル耕地面積六百餘町歩ノ多キニ達シ之カ銃後農村ヲ脅威スル處甚大ナルモノアリ之カ潰地ニ代ハルヘキ耕地ノ造成ヲ圖ラントスル助成事業恒ニ増加ノ狀況ナリ

四、近年各種災害ノ頻發ニ鑑ミ之カ災害防止ノ爲危險性アル溜池、井堰、水路、堤塘等ノ改良ヲ施行セントスルモノ及銃後ニ於ケル農業勞力不足調整ノ爲小型揚水機ヲ設置セントスル地區多ク其ノ他暗渠排水、床締、客土等ノ耕地事業逐年勃興ノ狀況ナリ

五、本縣農業水利ハ複雑多岐ヲ極メ之カ統制並根本的改善ノ要アルモノ多キヲ以テ此ノ内宇佐郡ノ中央部ヲ貫流スル驛館川ハ其ノ灌溉面積五千町歩ニ達シ從來用水不足ノ爲農產物ノ被害甚大ニシテ加フルニ本川ハ各種水利錯綜シ之ニ關スル紛議逐年増加スルノ現狀ニ鑑ミ各種水利ノ統制ヲ行ヒ其ノ調和ヲ圖ルト共ニ用水ノ過不足ヲ適當ニ按配シ産業開發上ノ資ニ供スル目的ノ爲昭和十三年度ヨリ三箇年繼續ヲ以テ農業水利統制調査ヲ開始セリ

今後採ルヘキ方策

時局ノ重大性ニ鑑ミ銃後農業生産ノ確保充實ヲ圖ルト共ニ資源ヲ開發シテ國力ノ進展ヲ期スルハ最モ急務トスル處ナリ耕地ノ擴張改良事業ハ農村振興上極メテ緊切ナル事項ニシテ特ニ本縣ノ如キ農家ニ戸當耕作面積ノ著シク狭小ナルニ加フルニ軍用地ノ爲大面積ノ耕地潰地ヲ見ツツアル現時ニ於テハ農家經營ノ安定ノ上其ノ必要ヲ痛感スルヲ以テ既

定計畫ニ依ル耕地事業ニ付テハ從來ノ方針ニ則リ斯業ノ進展ヲ圖ルト共ニ特ニ時局對策耕地事業五箇年計畫ヲ別紙ノ通樹立シ之ニ基キ縣經濟ノ許ス限リ設備ヲ擴充シ事業施行ノ豫定ナレハ政府ニ於テハ之等ニ關スル各種助成施設ヲ擴充強化シ非常時局ニ對處スル銃後耕地事業ノ獎勵ニ一段ノ御留意アラントヲ望ム

耕地事業五箇年計畫

一、耕地改良事業

本縣ノ耕地ハ九萬二千町歩ニシテ灌溉排水等ノ改良ヲ要スルモノ二萬町歩ヲ算シ此ノ中最モ急施ヲ必要トスルモノ五千町歩ニ對シ昭和十三年度ヨリ五箇年ヲ以テ改良工事ヲ行ハントス

種別	年度				
	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度
用排水改良事業	五〇〇町	五五〇町	六〇〇町	六〇〇町	六五〇町
暗渠排水床締客土事業	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
農用公共施設事業	三〇〇	二五〇	二〇〇	二〇〇	一五〇
耕地整理事業	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

一、開墾事業

本縣耕地ハ農家一戸當僅ニ七反四畝歩ニシテ全國平均ニ比シ一反九畝歩ノ低下ヲ示シ且ツ毎年耕地ノ潰廢スルモノ平均五百町歩ニ達スル狀態ナルヲ以テ相當耕地ノ擴張ヲ必要トス
尙時局ニ鑑ミ燃料酒精ノ原料タル農產物及飼料作物、苧麻、茶等ノ増産ハ國策ニ順應シ喫緊ノ要務ナルヲ以テ縣内開畑見込地一萬一千二百町歩中有利ナルモノ二千町歩ヲ選ヒ昭和十三年度ヨリ五箇年ヲ以テ開墾ヲ行ハントス

種目	年度					計
	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度	
甘蔗	六四町	一五〇町	一五〇町	一五〇町	一五〇町	六六四町
玉蜀黍	五〇	一一五	一一五	一一〇	一一〇	五〇〇
苧麻	五〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	四五〇
其他	三六	八五	八五	九〇	九〇	三八六
計	二〇〇	四五〇	四五〇	四五〇	四五〇	二、〇〇〇

宮崎縣

現況

本縣ハ土地廣潤且豐饒資源豐富ナルニ係ラス徒ラニ埋藏サレ縣勢不振ノ情況ニ在リ資源ノ開發ハ縣勢振展上喫緊ノ要務ナルヲ以テ今回ノ事變ヲ契機トシ勤勞倍加運動ヲ提唱シ各種產業ノ伸長ニ向テ強調實行中ナリシモ之カ普及徹底ヲ期スル爲國民精神總動員運動ノ趣旨ニ立脚シ且ツ本縣振興ノ根本義ニ鑑ミ祖國振興隊ヲ結成セシメ勤勞倍加運動ノ先驅タラシメントセリ

祖國振興隊ノ趣旨ハ「宏遠ナル肇國作業ノ大精神ニ生クル吾等日向青年ハ一意縣勢ノ振起ヲ志シ茲ニ祖國振興隊結成シ資源開發愛護ニ務メ以テ勤勞倍加ノ先驅タラントス」
次ニ信條ハ

- 一、我等ハ皇祖發祥ノ聖地ニ生レ天業翼贊ノ皇民ノ裔タルニ感激ス
- 一、我等ハ盡忠報國ノ精神ニ滿チ義勇奉公ノ赤誠ニ燃ユ
- 一、我等ハ勤勞ヲ倍加シ誓テ祖國振興ノ柱石タラン

編成ハ學校隊(男女中等學校、小學校)男女青年隊(青年學校、青年團)一般隊(銀行、會社、工場、鑛山等)ニシテ開墾、植林、埋立、改修、砂防、築磯、投石、磯掃除等ノ作業ヲナスモノトス

現在迄既ニ結成セラレタルモノ學校隊二百八十六、青年隊二百三十九、一般隊三十九、計五百六十四、隊員數十一萬三千七百五十六人ヲ算シ開墾面積百十六町步、造林一千六十四町步ノ成績ヲ示ス

耕地整理組合ニ於テモ工事中ノモノハ勿論工事了後ノ維持管理、經營タルトヲ問ハス振興線ヲ結成シ神武大帝ノ天業翼贊ノ精軸作興ト産業振興トノ歸一統合ヲ圖リ殊ニ勞力不足セル現下非常時局ニ際シ生産確保増進セシメントシ目下準備中ニ屬ス

祖國振興隊運動並勤勞倍加運動ノ趣旨全縣下ニ普及徹底セルト潰地、替地、軍需並輸出入農産物ノ増殖ヲ計ル爲耕地事業ヲ企畫スル者頗ル多ク調査設計ヲ申請セルモノ地區數八十四、面積九百五十一町步ニ達スル狀態ナリ

今後採ルヘキ方策

非常時局ニ於テ採ルヘキ事項多クアラムモ本縣ノ現狀ニ鑑ミ左記各項ノ實施ヲ急務トス

一、事變關係ニ因ル潰地ノ替地開墾ヲ急速ニ實施スルコト

本縣ニ於ケル事變關係ニ依ル潰地ハ約八百町步ノ見込ニシテ耕地ヲ失ヒ移轉ノ止ムナキモノ、其ノ一部又ハ大部分ヲ失ヒテ農家經營困難トナリ或ハ不可能トナリタル農家不尠ヲ以テ是等ニ對シテハ急速ニ開墾ヲ獎勵シ生活安定ヲ圖ル必要アリト認ム

二、農産資源ニ關スル開墾ヲ實施スルコト

軍需關係並輸出入關係苧麻、酒精原料甘藷、茶種、茶等ノ作物栽培ノ増殖ハ事變下喫緊ノ要務ナルヲ以テ殊ニ開發ノ餘地不尠本縣ニ於テハ極力開墾ヲ獎勵スル事肝要ナリ

三、應召ニ依ル勞力不足ヲ生シタル耕地整理組合ノ工事促進及生産ノ増加ヲ計ルコト

本縣ニ於テハ耕地整理祖國振興隊ヲ結成セシメ開墾其ノ他耕地ノ維持管理並經營等ニ付協力一致隣保共助勤勞ヲ倍加スルコトニ依リ勞力ノ不足ヲ補ヒ工事ノ促進並生産ノ増加ヲ圖ラントス

鹿兒島縣

現況

由來本縣ハ氣候溫暖ニシテ天惠ニ富ミ農産額ハ生産總額ノ約半額ヲ占ムルト雖農家一戸當耕作反別ハ漸ク八反四畝歩ニシテ全國ノ其ニ比シ七割七分ニ當リ而モ本縣耕地ノ特殊性トシテ考フヘキハ水田ニ比シ畑地ハ約二倍ノ地積ヲ有スルノ狀況ニ在リ然ルニ畑地ノ經營ハ水田ニ比シ勞力ヲ要シ最近畑地利用ノ復雜化スルニ及ヒ特ニ現下非常時局ニ際シテハ勞力ノ不足ヲ訴フル事多ク爲ニ之カ節約ヲ計ルハ生産費ノ遞減ト共ニ最モ必須ノ事項トサルニ到レリ即現下非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況トシテ

一、勞力不足ニ伴ヒ農業經營ノ合理化ヲ圖ルヘキ耕地事業

從來本縣ニテ施行サレシ耕地事業ハ所謂普通耕地整理事業ニシテ既ニ四萬四千三百町步ノ施行認可ヲ得工事了セシモノ二萬九千六百八十町步ニ達スルモ是等ハ主トシテ水田ニ限ラレ本縣耕地ノ六割七分ヲ占ムル畑地ハ依然トシテ舊態ヲ改メス之カ爲畑地經營ノ所要勞力ハ相當多量ヲ要セシカ現下非常時局ニ遭遇シ勞力ノ緩和ヲ計ルハ最モ重要ナル事項トサルニ至リ特ニ農道ノ完備ヲ主トスル畑地整理ヲ企畫スルノ傾向ヲ有ス

二、水力發電事業ニ伴フ耕地擴張事業

惟フニ本縣ハ舊藩時代ヨリ琉球方面トノ交易上港灣ノ施設並縣内主要道路如キ一般土木事業ハ小規模乍ラ相當見ルヘキモノアリシモ農産業發達ノ資タル小河川ノ改良利用ハ殆ト等閑ニ附セラレシ觀アリ然ルニ今次非常時局ニ際シ軍需方面其ノ他一般工場ニ於ケル動力トシテ水利事業ノ發展ハ顯著ニシテ是ノ間ニ介在スル農業水利事業ハ發電水

利ト提携シ相當有利ナル條件ヲ以テ從來ノ懸案ヲ解決スルノ機運ヲ醸成シ集團的ノ開田工場ヲ敢行シ得ルノ情勢ニ嚮ヒツツアリ

三、無水アルコト其ノ他ノ時局向農產品ノ資源開發ノ爲ニ行フ開墾事業

既述ノ如ク本縣ハ水田ニ比シ畑地ハ相當面積ヲ有シ之カ利用ハ大部分ハ普通作物タル陸稻、甘藷、粟、麥等ニ限ラレ就中甘藷ハ其ノ生産額ニ於テ蓋シ全國ニ冠タルモノアリシカ從來之カ消化ハ農家ノ食糧ヲ主トシ最近燒酎、澱粉ノ原料トシ幾分他府縣ヘノ移出モアリシカ時局ニヨリ燃料國策トシテ酒精原料ニ用ヒラルル事トナリ從來ノ供給量ノミヲ以テシテハ是ノ方面ノ需要ヲ充ス能ハス依テ耕種法ノ改善ニヨリ反當增收ヲ圖ルハ勿論ナルモ他面未墾地ノ開拓ニヨリ生産擴充ヲ圖リ尙甘藷ト同様「ラミー」、茶ノ如キ時局特用作物ノ増産ニ努ムル事トナリ今ヤ開墾事業ハ各郡各町村ヲ通シ普遍的ニ着工ノ段取リニ移ラントス

四、工場敷地其ノ他ニヨリ耕地ノ潰地補充トシテ行フ耕地事業

前述ノ如ク本縣耕地ハ割合ニ狭小ナルカ工場、道路其ノ他農業用以外ノ爲ニ潰廢セラルルモノノ毎年平均四百三十町四反歩ナルカ而モ本縣一箇年ノ人口増加ハ實ニ一萬二千人ヲ算シ之等ニ對應スル耕地ノ擴張ハ大正八年以來助成法ニヨルモノノミヲ以テスレハ年ニ約四百十二町歩ニシテ前記潰廢地積ニ充タサルノ狀況ニアリ

而モ本縣ハ内地ノ最南端ニ位シ軍事上重要ナル地點ニアリシカ今次事變ニ遭遇シ相當集團セル耕地ヲ軍用地其ノ他ニ充當スルコトトナリ從テ是等耕地ノ潰地補充ノ爲ノ開墾ヲ企畫スルニ至レリ

五、農業ヘ轉向ノ爲ノ耕地事業

從來本縣ノ沿岸地帯耕地ハ主トシテ半漁半農ノ形ニ於テ利用サレシカ最近沿岸漁業ノ不振ニ加ヘ今期事變ニヨリ出漁不能ヲ來シ漸時農業ニ轉向セントスル傾向濃厚トナリ之カ爲適當ナル耕地ヲ開拓スルノ耕地事業局的ニ誘致セラルルニ至レリ

今後採ルヘキ方策

非常時局ニ於ケル耕地事業ノ現況前記ノ如クナルヲ以テ從來ノ方針ヲ踏襲スルノ外特ニ左記ノ各項ニ重點ヲ置キ今後進ムヘキ方策ニ資セントス

- 一、勞力並畜力ノ合理化、生産費ノ遞減ヲ圖ルノ耕地事業ヲ促進スルコト
- 右ハ主トシテ既耕地ノ改良ノ爲暗渠排水、床締客土、小設備、農用公共施設ノ完備ヲ期セントス
- 二、時局ニ即應スル生産擴充ノ爲特ニ未墾地ノ開發ニ努ムルコト
- 從來ノ開墾助成ノ外潰地補充地ノ造成並小開墾、自作農創成ノ爲ノ開墾ニヨリ農産資源開發ヲ助成セントス
- 三、町村經濟更生計畫中ノ耕地事業ニ對シテハ努メテ助成ノ途ヲ講シ其ノ實績ヲ擧ケシムルコト
- 從來ノ調査設計ハ尙不十分ノ點アルヲ以テ之カ徹底ヲ期シ實施ニ當リテハ可成助成ニヨリ計畫ノ遂行ヲナサントス
- 四、前各項ニ亘ル時局向耕地事業ノ遂行ヲ期スル爲國庫助成ノ豫算ヲ増加計上サルルコト

沖繩縣

現況

本縣ニ於ケル耕地面積ハ昭和十一年度末調査ニ依レハ

田	六、四九二町歩
畑	五三、八七四町歩
計	六〇、三六六町歩

ニシテ國土總地積二十四萬六百十七町歩ノ二割五分ニ當ルモ農家戸數ハ實ニ總戸數ノ七割九分ヲ占メ九萬二千餘戸ニシテ一戸當耕地面積僅ニ六反五畝歩ニ過キス而モ五反歩以下ノ寡小農五十五%ヲ占ムル狀況ナリ

加之本島北部ヲ除キテハ山岳河川ト稱スヘキモノナク各島共海岸線一帯ニ珊瑚礁隆起シ排水極メテ不良ナルニ加ヘ用
水源ヲ缺クヲ以テ旱害又甚シク右耕地ノ不良不足ト連年ニ亘ル暴風雨ニ依ル耕地ノ破壊ハ本縣疲弊ノ一大原因ヲナス
モノナリ

而シテ今次事變關係ノ應召其ノ他ニ依ル農村勞力ノ不足ハ昭和十二年度調査ニ依レハ海外移民ヲ合セテ約二萬五千人
ニ及フモ耕地事業ハ其ノ效果直ニ收益ニ現ルル點ト本縣ハ勞力不足ノ影響甚シキ農繁期カ他ノ府縣ト異ナリ冬季ノ短
期間ニ限ラレ農閑期ト見ラルル期間相當長キ關係上此ノ期間ヲ選ヒ大體工事ヲ施行セルヲ以テ勞力不足ト何等矛盾ヲ
見ス益其ノ必要ヲ叫ハレツツアリ

而モ事變ニ依ル時局認識ハ共同精神ノ喚起トナリ公共施設ニ對スル愛護ノ念ヲ深メタル結果事業施行ニ當リテハ男女
青年團、在郷軍人等諸團體ノ勞力奉仕盛トナリ工事施行ノ成績亦頗ル顯著ナルモノアリ尙縣下全般ニ亘リ耕地ノ區劃
整理施行面積ハ約二千四百五十町歩ニ及ヒ事變下勞力不足ニ對スル畜力、機械、器具利用ニ貢獻スル處甚大ニシテ道
路ノ改良新設ト共ニ其ノ要望益盛ナリ

左ニ現在ニ於ケル施行狀況ヲ述ヘントス
一、普通耕地整理

本縣耕地整理ハ大正五年始メテ實施セラレ爾來各種ノ小耕地事業ヲ施行セシメ現在ニ至レリ

地區數 三一地區

地積 一、二〇〇町步

補助金 二二、四二三圓

内田ノ區劃整理ヲ施行セルハ僅ニ七百二十町歩ニ過キサルモ實績ニ鑑ミ施行希望者益多キモノアリ

二、開墾助成事業

縣内開墾見込面積二萬九千三百五十二町歩ニ及ヒ現在迄ノトコロ

地區數 三五地區

地積 一、七五二町步(開田 七三町步)
助成金 一、〇五二、四六三圓 (開田 六七九町步)

ヲ施行セシメ現在ニ地區施行中ナルモ現下非常時局ノ影響ヲ受ケ希望者續出シ居ル狀態ナリ

三、暗渠排水事業(自昭和七年度
至昭和十二年度)

地區數 一二地區

地積 四六町步

補助金 四、九二八圓

從來過濕地ノ水稻ハ收量甚タ少ニシテ一期作ノミ可能ナル在來種ナリシモノカ施行後ハ收量大ナル改良種ヲ植栽シ
得而モ二期作可能トナレルヲ以テ希望者益多シ

四、災害復舊耕地事業

由來水災害ハ本縣ノ痛ヲナスモノニシテ連年ニ亘ル其ノ被害ハ實ニ莫大ニ上リ今次事變下特ニ銃後ノ對策トシテ耕
地復舊事業ハ一日モ忽ニナシ得サルモノナリ
最近ノ水災害ニ對スル復舊事業左ノ如シ
昭和十一年夏秋季ノ災害ニ對スルモノハ昭和十一、十二、十三年度ニ亘リ復舊スル豫定ニシテ昭和十二年度迄ニ

種別	地區數	關係地積數	量補助金
耕地復舊	八	九・七町	二、四〇四圓

公共施設復舊 計	一一五 一二三	一、二四二町 一、一五二町	二九、一二四町 五三箇所	一一五、七七七 一一八、一八一
-------------	------------	------------------	-----------------	--------------------

昭和十二年災害ニ對スルモノハ同年度並昭和十三年度ニ於テ復舊セントシ昭和十二年度ニ於テ

種別	地區數	關係地積	數量	補助金
耕地復舊	六	六・七	六町	二、二六一
公共施設復舊	三四	九六六・六	八、八一一所	四二、五六九
計	四〇	九七三・三	六一箇所	四四、八三〇

五、農用公共施設改良事業

昭和十二年度ニ於テ

地區數 三地區

地積 二〇八町步

補助金 一三、五一三圓

ヲ施行セシメタリ

六、暗渠排水床縮及客土事業

昭和十二年度ニ於テ

地區數 四地區

地積 一五町步

補助金 一、五三六圓

暗渠排水

客土 二 六 八六四

ヲ施行實績顯著ナリ

七、土地改良事業

沖繩縣振興計畫ノ根幹ヲナスモノニシテ耕地ノ改良一萬六千四百五十町步、開墾一萬四百六十町步ヲ十五箇年間ニ施行スル計畫ニテ昭和九年度ヨリ着手シ昭和十二年度迄ノ實績左ノ如シ

耕地改良

地區數 一五地區 內工事完了 八地區

地積 一、二三八町步

補助金 三六一、四〇七圓

開墾

地區數 二地區

地積 八五町步(開墾)

補助金 二八、六八四圓

右ニ對スル移住戸數 一二戸 獎勵金 六、二二〇圓

開墾基本工事(幹線道路)

延長 五、〇四五米(橋梁三箇所)

工事費 六五、〇九〇圓

今後採ルヘキ方策

本縣積年ノ疲弊ノ重大素因ハ現況記載ノ如ク耕地ノ不良並不足及各種災害ニ在リ耕地事業ハ實ニ本縣産業振興ノ根幹

ナリト稱セラレ來レルモ特ニ現下非常時局ノ影響ニ依リ農産資源ノ確保ト農村生活ノ維持ハ喫緊ノ要務ナルヲ以テ益
斯業ノ擴充進展ヲ助長セントスルモ就中左ノ事業ニ力ヲ注ク方針ナリ

一、土地改良事業

前述ノ如ク沖繩縣振興計畫ニ依ル土地改良事業ハ本縣耕地事業ノ大宗ヲナスモ其ノ施行量未タ微々タリ而モ現下非
常時局下ニ於ケル必要物資タル甘藷、苧麻等ハ特ニ本縣ニ於テ最適ノモノニシテ是等ノ增收ヲ圖リ一ハ國策ニ副ヒ
傍々銃後ノ農村安定ニ資スルハ一ニ本計畫ノ遂行ニアルヲ以テ益其ノ進捗ヲ圖リ集團的耕地ノ擴張改良ヲ期セント
ス

二、災害復舊耕地事業

本縣ハ著名ナル颱風發生地ニシテ連年之ニ依ル被害莫大ニシテ農家經濟ヲ脅カセル實情ニアルヲ以テ現在迄ノ被害
ヲ速ニ復舊セシムルト共ニ將來起ルヘキ被害ニ對シテモ遲滞ナク復舊更生セシメ農業經營ノ安定ヲ保タシムルモノ
トス

三、中小開墾事業

土地改良事業開墾ハ主ニ先島ニ於ケル集團地ヲ目的トスルモ右ノ外縣下全般ニ亘リ中小開墾適地ヲ有スルヲ以テ非
常時局ニ對應シ甘藷等ノ増産ヲ期シ又一面耕地擴張ニ依リ過小農ヲ救済スル爲開墾助成、農産資源開發開墾助成及
自作農創設開墾助成等ノ適用ヲ受ケ開拓ヲ實施セシメントス

四、農用公共施設改良新設事業

災害ヲ未然ニ防止スヘキ農用公共施設ニシテ大規模ノ土地改良事業ニ含マレサルモノ相當アルヲ以テ速ニ之カ改良
又ハ新設工事ヲ實施災害ニ對處セントス

五、區劃整理

本縣耕地ハ農道、小用排水路ヲ一般ニ缺クヲ以テ區劃整理ニ依ル是等ノ改廢、設置ハ焦眉ノ急ナルモ就中水田ニ
於テ特ニ其ノ必要認メラル然ルニ其ノ面積六千三百六十一町歩ノ内區劃整理ヲ施行セルハ僅ニ七百二十町歩ニ過キ
サル状態ニアルヲ以テ殘餘ノ整理ノ普及獎勵ヲ圖ラントス

決議

現下非常時局ニ對應シテ耕地事業上今後採ルヘキ方策トシテハ今次事變ノ重大性ニ鑑ミ特ニ農産資源ノ擴充ト銃後農
山漁村民ノ生活ノ安定ニ重點ヲ置キ中央地方相協力シテ用排水幹線改良事業、農用公共施設新設改良事業、暗渠排水
及床締客土事業竝自作農創設、未墾地開發事業等從來ノ施設ニ係ル各種耕地事業ニ付テハ一層之カ促進ヲ圖ルハ勿論
銃後對策トシテ新ニ施設セラレタル移動式小型揚水機ノ共同施設並失地對策及資源開發開墾助成事業ヲ極力促進シテ
以テ農産資源ノ確保、増進ト國際收支ノ強化改善ヲ圖ルヘキ時變下ノ國策ニ順應スルト共ニ更ニ將來ハ過小農經營ノ
耕作地補給ニ對スル開墾助成ノ途ヲ開キ又集團地開發開墾事業ヲ擴充シテ農民就中下層農民ノ生活ノ安定ヲ期シ尙交
通運搬ノ便ト勞力節約ノ目的ヲ以テ農道ノ新設改修ヲ行フト同時ニ河水ノ統制計畫ヲ速ニ樹立スルト共ニ之カ計畫ノ
實施ヲ促進シ以テ農村振興ノ徹底ト銃後農村ノ使命ヲ完フスルニ遺憾ナカラシメントス而シテ事業ノ施行ニ關シテハ
特ニ左記事項ニ留意シ事業ノ目的達成ノ萬全ヲ期セムトス

一、應召竝各種軍需工業等ニ吸收セラレタル勞力ノ不足ニ對シテハ地方青年團其ノ他各種團體ノ奮起ヲ促シ隣保共助
勤勞奉仕ノ精神ヲ高揚シテ勞力補給ノ途ヲ講スルト共ニ努メテ畜力及機械力ノ利用ヲ圖リ勞力ノ節約ニ留意スルコ
ト

二、農業ニ要スル物資中鐵鋼、石油其ノ他戰時資材ニ關スルモノニ付テハ極力之カ使用ヲ回避シ又ハ之ヲ節約シテ代

用品ノ充當ニ努メ萬止ムヲ得サルモノニ付テハ豫メ折衝ヲ重ネテ之カ供給ノ圓滑ヲ圖ルニ留意スルコト

協議事項決議

第一 事變下耕地事業ニ關スル所要物資ノ需給調整ニ付考慮ス ヘキ事項

今次事變ハ長期ニ亘ルヲ豫想セサルヘカラサルヲ以テ農産物生産ノ源泉タル耕地ニ對シテハ今ニ於テ其ノ計畫ヲ樹立シ軍需品ノ供出ハ勿論平時以上ニ農業生産物ヲ増加シ以テ銃後ノ護ヲ全フセサルヘカラス而シテ耕地事業ニハ各種ノ資材ヲ必要トスルカ故ニ其ノ需給ヲ圓滑ニセサルヘカラス就中目下政府ニ於テ統制シツツアル燃料及鐵鋼材ノ使用ニ付テハ國策ニ順應シ極力其ノ代用品ヲ使用スヘキト雖差當リ左記物資配當ニ當リテハ農林當局ニ於テ極力努力セラレタシ

記

- 一、農業土木工事中必然的ニ使用セサルヘカラサル鐵鋼材
 - 二、農業用唧筒運轉ニ使用スル重油
 - 三、農業用唧筒動力機製造ニ使用スル資材
- 右ニ付農林省ハ全國的ニ其ノ使用量ヲ調査シ關係各省ト協議ノ上其ノ配當量ハ農林省ヨリ通達セラレタシ

第二 農村振興上耕地ニ關スル諸施設ノ綜合統制ニ關シ考慮ス ヘキ事項

- 一、農村振興上耕地ニ關スル諸施設ハ農村土木計畫トシテ之ヲ綜合統制スルヲ最モ適當ナルモノト認メラルルヲ以テ至急ニ關スル調査並實施ノ制度ヲ確立セラレタシ而シテ差當リ明年度ヨリ新規事業トシテ農業土木計畫町村ヲ指定シ基本調査ニ關スル施設ヲナスト共ニ事業實施ニ關シテハ現在農林省ニ於ケル各種助成施設ト相俟チテ新ニ助成ノ方途ヲ樹立シ以テ事業ノ達成ヲ適確ナラシメラレタシ
- 二、中央ニ於ケル耕地ニ關スル機構ヲ改正シ新ニ耕地局ヲ設ケ耕地ニ關スル一切ノ事務ヲ主管シ以テ地方事務ノ統制ヲ圖ルト共ニ日滿支經濟ノ進展ニ對應スル耕地政策ノ實現ニ努メラレタシ
- 三、中央地方ノ耕地ニ關スル職員ハ常ニ之ヲ交替シ中央地方ノ事務ノ連絡刷新ニ努メラレタシ

第三 耕地整理事業ノ財務監督上特ニ考慮ヲ要スル事項

- 耕地整理事業ノ財務監督ニ付テハ從來極力勵行ヲ圖リツツアリト雖地區數ノ増加ニ伴ヒ到底其ノ完全ヲ期シ難キモ財務ノ實績如何ハ事業ノ遂行上ハ勿論之カ農村經濟ニ及ホス影響甚大ナルヲ以テ左ノ事項ヲ實行セラレンコトヲ望ム
- 一、事業ノ創設當時並計畫變更ニ際シテハ確固タル財務計畫ヲ樹テシメ認可ノ際十分之ヲ審査スルコト
 - 二、起債認可ノ際ハ財務監督ノ立場ヨリ内容ヲ精査シ起債金額償還年限ヲ指導スルコト
 - 三、工事中又ハ助成期間中ノ財務監督ハ勿論ナルモ工事完了又ハ助成期間終了後ト雖十分之カ監督ヲ勵行スルコト
 - 四、毎年度ノ豫算決算ニ付嚴重ナル検査ヲ行フコト
 - 五、組合(又ハ地區)ノ財務取扱者ノ養成ヲナスコト
 - 六、農林省ヨリ隨時係官ヲ派遣セラレ實地監督ヲ行ハレタキコト
 - 七、農林省ニ財務監督官ヲ設置セラルルコト
 - 八、地方ニ財務指導官ヲ設置シ之レニ對シ國庫ヨリ補助金ヲ交付セラレタキコト

- 九、事業者ニ於テ財務整備ノ職員ヲ置ク場合ハ國庫補助ノ途ヲ講セラレタキコト
- 十、事業者ヲシテ毎年一回以上自己監査ノ方法ヲ講セシムルコト

第四 河水統制調査、計畫竝之ニ基ク事業ノ施行ニ關シ考慮スヘキ事項

河水ノ統制ハ水源ノ開發及各種水利治水ノ關係調整等ヲ實現スルヲ目的トスルヲ以テ現下最モ緊急ノ要事トスルモノナリ依テ國ハ速ニ調査ノ進捗ヲ計ルト同時ニ十分ナル經費ヲ計上シ計畫事業ノ達成ヲ期スルコト
右ノ外調査計畫竝之ニ基ク事業施行ニ關シ考慮スヘキ事項左ノ如シ

一、調査

- (一) 河水統制調査ハ國ニ於テ之ヲ行フヲ原則トス
國ハ調査ニ要スル經費ヲ十分ニ計上シ調査ノ徹底ヲ期スルコト
- (二) 道府縣ハ國ノ河水統制調査ニ協力スルコト
道府縣ハ前項協力ニ必要ナル經費ヲ計上スルコト此場合國ハ道府縣ノ經費ニ對シ十分ナル國庫補助ヲ行フコト
- (三) 調査事項中特ニ地方廳ノ分擔協力ニ俟ツヲ適當トスルモノ左ノ如シ
 - (イ) 河川ノ性狀及流域調査
 - (ロ) 氣象調査
 - (ハ) 經濟調査
 - (ニ) 灌漑排水ニ關スル調査
 - (ホ) 其ノ他地方廳ノ監督管理ニ關スル事項

二、計畫

- (一) 河水統制ノ計畫ハ國ニ於テ之ヲ行フヲ原則トスレトモ計畫中地方廳ノ監督管理ニ屬スル事項ニ付テハ地方廳ノ意見ヲ徵シ其ノ他必要ニ應ジテ地方廳主任官ヲシテ參與セシムルコト
- 三、河水統制計畫ニ基ク事業ノ施行
 - (一) 計畫事業ハ國營又ハ縣營トスルコト
 - (二) 縣營事業ニ對シテハ其ノ經費ニ對シ五割以上ノ國庫補助ヲ爲スコト
 - (三) 計畫事業費國庫助成ニ關シ制度ヲ設クルコト
 - (四) 既ニ地方ニ於テ實施ノ機運熟セルモノハ本計畫事業トシテ速ニ實現セシムルコト
 - (五) 河水統制計畫樹立ノ上ハ速ニ之カ實施ニ關スル法令ヲ定ムルコト

第五 開墾助成事業ノ監督ニ關スル事項

本事業ノ監督ニ關シテハ豫テ遺憾ナキヲ期シツツアル處ナルモ今後一層其ノ徹底ニ努ムルハ勿論ナルモ特ニ左ノ事項ニ對シ留意スル必要アリト認ム

- 一、工事ノ進捗狀況著シク良好ナラサルモノ又ハ工事遂行ノ見込ナシト認ムルモノニ付テハ其ノ實狀ヲ具シ本省ニ協議ノ上速ニ適當ノ處理ヲ爲スコト
- 二、工事ノ進捗思ハシカラサル地區ニ對シテハ府縣ヨリ申請アリタル場合ハ本省ヨリ速ニ係官ヲ派遣シ之カ原因及今後ノ打開策ニ付詳細調査ノ上縣ト協力シ積極的ニ援助ノ方法ヲ講セラレタキコト
- 三、設計變更又ハ助成金ノ請求或ハ事業ノ停止若ハ廢止等ノ手續ニ付テハ之カ遲滯ナキヲ期スルコト
- 四、物價騰貴等ニ起因シ原設計ニテハ進捗不可能ナル事業ニ對シテハ速ニ適當ナル計畫變更ヲ爲ス等之カ遂行ニ努ム

- ルコトトシ止ムヲ得ス豫算ノ増額ヲ必要トスルモノニ在リテハ特ニ政府ニ於テモ考慮セラレタキコト
- 五、指導ニ關スル設備費ヲ府縣ニ於テ計上シタルトキハ國費ヲ以テ其ノ二分ノ一以上ヲ補助セラレタキコト
- 六、開墾監督費ヲ増額配當セラレタキコト

第六 自作農地開發助成事業ノ促進ニ關スル事項

- 本事業ノ促進方法トシテ左ノ事項ニ付本省ニ於テ考慮セラレタキコト
- 一、府縣ニ交付セララルル助成金ハ精算補助ニ依ラス豫算補助トセラレタキコト
 - 二、本開墾助成事業指導ニ當ラシムル爲國費ヲ以テ府縣耕地課ニ專任指導職員ヲ設置セララルル外府縣ニ於テ之カ職員設置ノ際ハ國費ニヨリ其ノ二分ノ一以上ノ補助金ヲ交付セラレタキコト
 - 三、個人又ハ數人ノ小作人共同シテ土地ヲ買収シ集團的ニ移住開墾ヲ行フ場合ニ於テ移住家屋其ノ他經營上必要ナル施設ニ對シテモ助成ノ途ヲ講セラレタキコト

第七 時局ニ對應スヘキ開墾地移住及經營ニ關シ採ルヘキ事項

- 開墾地移住獎勵施設ハ開墾地ノ經營ト唇齒輔車ノ關係ニアリテ最モ緊要ノモノナリ然ルニ政府ハ昭和十年度以降甚シク豫算ヲ減額セル爲開墾地ノ經營ニ多大ノ支障ヲ來シ開墾事業ノ進捗ヲ阻害スルコト甚大ニシテ豫定ノ事業ヲ遂行スルコト能ハサル地方尠カラス或ハ獎勵金受付ヲ見込ミテ移住セル者ハ家屋ノ建築資金ヲ高利ニテ借入其ノ負債ニ苦シミツツアリ加フルニ近年時局ノ影響ヲ受ケ一層移住獎勵施設ノ急務ヲ要望シツツアル狀況ナリ仍テ政府ハ地方ノ實情ヲ十分調査シ豫算ヲ相當増額シ本施設ヲ積極的ニ活用セラレ尙右ノ各項ニツキ留意アラムコトヲ望ム
- 一、開墾地移住計畫ト政府ノ移住獎勵施設ト相伴フ様スルコト

- 二、時局ノ施設ニ因ル農産資源ノ開發及潰地ニ代ル開墾事業ニ伴フ移住獎勵金ヲ十分計上スルコト
- 三、開墾地ノ經營ハ特種ノ技能ヲ要シ開墾事業ノ成否ニ關スルコト大ナリ依テ政府ニ於テ實地指導ノ施設ヲナスコト
- 四、開墾地移住家屋建築及農業經營資金ノ低利借入制度ヲ設クルコト
- 五、復員ノ際歸還兵士ノ開墾地移住希望者ニ對シテハ特ニ移住斡旋並獎勵金ノ交付ニツキ考慮スルコト

地方提出協議事項及決議

第一 耕地整理ニ關スル事項

青森縣

地方耕地整理調査費豫算ニ對シ高率ノ國庫補助セララルト同時ニ工事費特ニ小設備ノ新設改良事業補助ニ對シテモ國庫補助金交付セラレ事業ノ獎勵ニ遺憾ナキヲ期セラレタシ

理由 地方財政近年頓ニ逼迫シ居ルヲ以テナリ

(適切ナル希望ト認メ採擇)

岩手縣

耕地整理財務ニ關スル指導監督專任職員ヲ國費ヲ以テ地方ニ設置セラレタシ

(適切ナル希望ト認メ採擇)

福島縣

内訓第十項ノ換地處分認可報告ニ際シ組合ノ工區ヲ數區ニ分チタル場合百町步未滿ノ區ニ對シテハ組合カ百町步未滿ノ場合ト同様確定圖ノ添附ヲ省略セラレタシ

地方提出協議事項及決議